取扱説明書

NX702

ワイド7型VGA 地上デジタルTV/DVD/SD
AVライトナビゲーション

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に
必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、
後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

このたびはお買い求めいただきありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくためのご注意を記述しておりますので必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

●本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。
あらかじめご了承ください。
●本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

本機を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報 及び 著作権保護の為、本機に保存されたすべてのデータの消去(初期化)を行ってください。

本書に記載されているマークの意味

MEMO　お願い

• よく使う用語やわかりにくい用語の意味を説明しています。
• 操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことを説明しています。
• 本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

リモコン操作

• 本書では主に操作パネルによる操作手順を記載しています。リモコンによる操作手順等につきましては、当該マーク欄内に記載し、操作パネルとリモコンの操作手順を区別しています。

ナビゲーションシステムについて

GPSナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS(Global Positioning System:全地球測位システム)によって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内(ルート誘導)をするものです。

本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し(国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算)、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。

ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。

なお、一方通行·右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため(変更の場合を含めて)、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。

その際は、恐れ入りますが実際の道路標識などにしたがっていただきますようにお願い申し上げます。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

● 取扱説明書:本書
• 主にオーディオ／ビジュアルの操作について説明しています。

● ナビゲーション操作ガイド
• ナビゲーション操作について説明しています。

● 本機取付説明書
• お買い求め後、本機を車に取り付ける方がお読みください。

● TVアンテナ取付説明書
• お買い求め後、TVアンテナを車に取り付ける方がお読みください。

※ 本機に接続される機器(ユニット)ごとに取付·取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

• 取扱説明書は、弊社Webサイトからもご覧いただけます。
http://www.clarion.com/
• 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために

安全上のご注意　必ずお守りください

運転者や周囲の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

⚠ 警 告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注 意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

⚠（注意）	注意しなければならない「注意」の内容です。
（禁止）	してはいけない「禁止」の内容です。
（実行）	必ず行なっていただく「実行」の内容です。

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。

正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

■ ご使用になるときの注意事項

⚠ 警 告

（禁止）

- **走行中、運転者はナビゲーションの地図を見ない**
  前方不注意による交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で使用してください。
- **走行中、運転者による操作をしない**
  前方不注意による交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で使用してください。
- **走行中、運転者は画像を見ない**
  前方不注意による交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で使用してください。
- **分解や改造をしない**
  分解、改造、コードの被服を切って他の機器の電源をとることは絶対におやめください。事故、火災、感電、故障の原因となります。
- **カード類※は 乳幼児の手の届く所に置かない**
  ※SDカード/ micro SDカード/ mini B-CASカード
  誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください
- **故障や異常のまま使用しない**
  画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります
- **機器内部に水や異物を入れない**
  万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。必ずお買い求めの販売店に相談してください。
- **本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない**
  本製品には全ての病院、消防署、警察署などの情報が含まれている訳ではありません。また実際の情報と異なる場合があり、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。
- **雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触れない**
  落雷による感電のおそれがあります。

（実行）

- **運転者がテレビやビデオ、ナビゲーションの地図を観るときは、必ず安全な場所に停車させる**
  安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。
- **ナビゲーションによるルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う**
  ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規則に反する場合があり、交通事故の原因となります。
- **DC12V⊖アース車で使用する**
  DC24V車(大型トラックや、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用し、交換は専門技術者に依頼する**
  規定容量以上のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

⚠注意

(禁止)

● **車載以外に使用しない**
けがや感電の原因となることがあります。

● **ディスク挿入口に異物を入れない**
火災や感電の原因となることがあります。

● **開いた操作パネルの上にものを置かない**
操作パネルや液晶表示部が、破損・変形し故障の原因となります。
また、飲み物がこぼれることによる発煙や発火、感電、故障の原因となります。

● **操作パネルの可動部や、ディスク挿入口に手や指を入れない**
操作パネルの開閉時に手や指をはさみこむと、けがの原因となります。

● **本体・操作パネルを、たたくなど強い衝撃を与えない**
操作パネルや液晶表示部が、破損・変形し故障の原因となります。

● **タッチパネルに保護シートなどを貼らない**
タッチパネルの反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。

(実行)

● **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

● **電源を切るときは、音量を最小にする**
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

● **取り付け・取り外しや配線は専門技術者に依頼する**
誤った取り付けや配線をすると、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。
お買い求めの販売店に依頼してください。

● **接続コードの取り付け、取り外しは、エンジンを切って作業する**
エンジンをかけた状態で作業すると、故障や誤作動の原因となります。

(注意)

● **モニターの立ち上げ収納が、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください**
運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

● **医用電気機器などへの影響を確認してください**
本機は、無線機能を搭載しています。
心臓ペースメーカー、その他医用電子機器をご使用になる場合は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ず確認ください。

● **バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください**
エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください

● **使用中やエンジンを切った直後に本機のケースに触れないでください**
本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンを切った直後に、本機のケースに触れないでください。

■ リモコンについての注意事項

⚠警告

(禁止)

● **加熱・分解したり、火・水の中に入れない**
電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となることがあります。

● **電池は、金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯しない、保管しない**
電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となります。

(実行)

● **リモコン内に電池を入れるときは、極性(⊕極と⊖極)に注意し、指示どおりに入れる**
指示どおりに入れないと電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となることがあります。

● **電池の交換は、指定された電池、もしくは同等品の電池と交換する**
正しく交換しないと電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となることがあります。

● **電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で充分洗う**
失明のおそれがありますので、直ちに医師の診断を受けてください。

● **電池の液が皮膚や衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す**
皮膚に障害をおこすおそれがありますので、直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

(禁止)

● **電池は、乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

● **電池は、充電しない**
電池の破裂により、けがの原因になることがあります。

● **強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない**
電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となることがあります。

● **液もれ、変色、変形など異常なまま使用しない**
電池の発熱や破裂により、火災やけがの原因となります。

(実行)

● **使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する**
リチウム電池には過塩素酸塩が含まれています。使用済みの電池を廃棄する際は、お住まいの国や地域で定められた、政府規制および環境関連の公的機関のルールに従ってください。

● **直射日光のあたる場所、高温・高湿の場所では保管しない**
電池の発熱や破裂により、火災やけがの原因となります。

使用上のご注意

安全運転への配慮

安全運転への配慮から、ナビゲーション･テレビは停車させていないと、一部の操作ができないようになっています。

ナビゲーション･テレビなどの映像が表示されるのは、停車中だけです。映像をご覧になるときは、必ず、車を停車させてお楽しみください。走行中は、音声のみを聴くことができます。

保証についてのご注意(免責事項について)

- 保証を受ける際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証の際には、付属品を回収させていただく場合がございます。
- 本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証いたしておりません。
- 次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
- お取り扱い上の不注意(取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど)
- 不当な修理や改造･分解による故障および損傷
- 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
- ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷
- 正常な使用方法でも消耗部品が自然消耗、磨耗、劣化した場合およびピックアップレンズなどの清掃などは保証の対象外となります。

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。

正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

ナビゲーションについて

- 購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測位するまで5分 ～ 15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測位するまで2分 ～ 3分程度かかることがあります。
- 上空に障害物がない道、または周辺に高いビルがない(GPSが受信できる)道で、約5分間、法定内のスピードで定速走行を行ってください。
- GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- 検索機能から表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を表したものです。そのまま目的地を設定した場合、まれに施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。予めご了承の上、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- ルート(経路)計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっても、計算できない場合があります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

mini B-CASカードについて

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるためにmini B-CASカードが必要です。使用許諾契約約款をよくお読みのうえ、次のことをお守りください。
- mini B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードの接触(金属)端子面は触らないでください。接触端子面に触れるとカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードを磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください
- mini B-CASカードは、分解加工は行なわないでください。
- mini B-CASカードは、カード挿入口に正しく挿入してください。
- ご使用中に、mini B-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタル放送が視聴できなくなる場合がございます。
- 破損、紛失などmini B-CASカードの再発行には手数料がかかります。
- 試乗車※など、不特定、または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
  ※ 試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

本機に付属のmini B-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。

ID番号は大切な番号です。(株)ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。

- ID番号を忘れてしまったときは、「mini B-CASカード情報を確認する」(25ページ)の手順にて確認してください。

mini B-CASカードに関するお問合せ先について

本機に付属のmini B-CASカードについてのお問い合わせや、カードを紛失された場合は、下記の連絡へお問合せください。

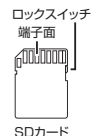
連絡先　:株式会社ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ

カスタマーセンター

電話番号:0570-000-250

受付時間:AM10:00 ～PM8:00(年中無休)

SDカード／micro SDカードについて

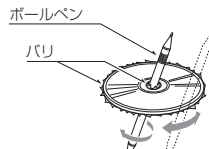
- 書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SDカードを本機から抜いたり、エンジンを切ったりしないでください。
- SDカードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告･注意指示もあわせてお読みください。
- SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー･ベンジンなどの有機溶剤で、SDカードを拭かないでください。
- SDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。

- SDカードの最適化は行わないでください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録･消去ができなくなります。

操作（液晶）パネルについて

- 操作パネルが正常に動作する温度は0℃～60℃です。
- 飲み物や傘に付着した雨水などの液体がかからないようにしてください。機器内部の電子部品が損傷する場合があります。
- 分解や改造を行わないでください。故障の原因となる場合があります。
- 操作パネルに衝撃を加えると、破損や変形、または他の故障の原因となる場合があります。
- ディスプレイ部にたばこの火がふれないようにしてください。
- 問題が生じた場合、お買い求めの販売店にご相談ください。
- リモコン受光部が直射日光にさらされていると、リモコンが動作しない場合があります。
- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶パネル部に小さな黒点や輝点が出ることがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。
- 液晶パネルが汚れた場合は、「操作（液晶）パネルのお手入」（10ページ）のご覧ください。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤動作の原因となることがあります。

ディスクの取扱い

■取り扱い上のご注意

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンで文字などを記入しないでください。
- セロハンテープなどの糊がはみ出したり、はがした痕があったりするディスクは使用しないでください。そのままDVDプレイヤーに入れると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因となります。
- 大きな傷、歪み、ひびなどがあるディスクは使用しないでください。そのようなディスクは誤動作や故障の原因となります。
- 保存ケースからディスクを取り出す際は、ケースの中央部分を押し下げ、注意深くディスクの両ふちを持ちながらディスクを浮かせて取り出してください。
- 市販のディスク保護シートやスタビライザーを付けたディスクなどは使用しないでください。ディスクの損傷や内部機器の故障の原因となります。
- ディスク用クリーナーを使用した場合は、再生の前にディスクをよく乾かしてください。

■保管時のご注意

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くには保管しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所には保管しないでください。
- 暖房の熱が直接あたる場所には保管しないでください。

USBメモリーについて

- USBメモリーが正しく動作するためには「USB mass storage class」と認識される必要があります。一部のモデルは正しく動作しない場合があります。何らかの理由で保存データが消失、または損傷した場合でも、弊社は何ら責任を負うものではないことをご了承ください。
- USBメモリーをご使用になる前にパソコンなどにデータのバックアップを保存されることをおすすめします。
- 以下の状況でUSBメモリーをご使用になると、データファイルが破損する場合があります。

  データの読み込み/書き込み中にUSBメモリーの接続を解除した場合、または電源をオフにした場合

  静電気または電磁的なノイズの影響を受けた場合

リモコンについて

- リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。
- リモコン受信部に直射日光が当たっていると、操作ができない場合があります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。
- リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所には放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。
- リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。
- 電池が液漏した場合は、リモコンをきれいにふき取り、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池は、CR2025（3V）リチウム電池（1個）をご使用ください。
- リモコンを車内の床に落とさないでください。ブレーキまたはアクセルペダルの下にはさまと、運転操作の妨げとなり、交通事故の原因となることがあります。
- 電池を取り扱う際に、金属製の道具を使わないでください。
- 電池と金属製のものを一緒に保管しないでください。

Bluetooth機器について

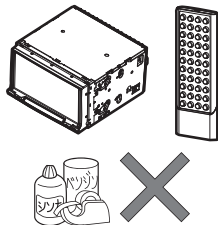
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店、または弊社相談窓口までお問い合わせください。

お手入れについて

本機やCD･DVDのディスク類、TVアンテナ等のお手入れについて説明します。

■本機・リモコンのお手入

- 本機･リモコンをお手入れするときは、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどを使用すると、変質したり、塗料がはがれたりする原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

■操作（液晶）パネルのお手入

- 液晶パネル部はホコリがつきやすいので、ときどき、やわらかい布でふいてください。表面が傷つきやすいので、硬いものでこすらないでください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- タッチパネルに保護シートを貼らないでください。誤動作する場合があります。

■ディスクのお手入

- 指紋やほこりがついた場合は、ディスクの中央から外周に向けて、やわらかい布でふいてください。
- ディスクのお手入れに、市販のクリーナー、静電気防止スプレー、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。

■テレビアンテナのお手入

- フロントウィンドウ(室内側)をお手入れする際は、アンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- お手入れの際は、アンテナケーブル･フイルムアンテナを引っかけないようにご注意ください。また、アンプ部に水滴等水分がかからないようにしてください。

本機でご使用できるメディアについて

本機で再生できるオーディオ･ビデオメディア

本機で再生できるオーディオ･ビデオメディアは以下の通りです。

■DVD

市販されているDVDです。

本機で再生できるディスク、使用できないディスク/アクセサリーは、「ディスクについて」(26ページ)をご覧ください。

DVD-RディスクなどにMP3/WMA形式の音楽ファイルやMP4/DivX形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でDVDをお楽しみいただくには、「DVDを観る」(27ページ)をご覧ください。

■CD

市販されているCDです。

本機で再生できるディスク、使用できないディスク/アクセサリーは、「ディスクについて」(26ページ)をご覧ください。

CD-RディスクなどにMP3/WMA形式の音楽ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でCDをお楽しみいただくには、「CDを聴く」(33ページ)をご覧ください。

■USBメモリー

ご使用できるUSB条件

- USB1.1/2.0
- MSC(USB mass storage class) 対応品

※ 上記に準拠していないUSB 機器は接続しないでください。正しく再生できません。
また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって正しく再生できない場合もあります。

USBメモリーにMP3/WMA形式の音楽ファイルやMPEG4形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。本機でUSBメモリーをお楽しみいただくには、「USBメモリーを再生する」(43ページ)をご覧ください。

■SDカード

ご使用できるSDカード類

- SDカード
- SDHCカード(32GB以下)
- miniSDカード※
- microSDカード※

※ 専用のアダプターが必要です。そのまま入れた場合、取り出せなくなったり、故障の原因となりますので、必ず専用アダプターをご使用ください。

SDカードにMP3/WMA形式の音楽ファイルやMPEG4形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。本機でSDカードをお楽しみいただくには、「SDカードで観る･聴く」(38ページ)をご覧ください。

本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式

■本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式

本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式は下表で○がついたものだけです。

分類	ファイル 形式			メディア			
	ファイル拡張子	音声形式	映像形式	CD※	DVD	USB	SD
オーディオ	.mp3	MP3	–	○	○	○	○
	.wma	WMA	–	○	○	○	○
ビデオ	.avi	MP3	DivX 3.11/4/5/6	○	○	○	×
	.mp4	AAC	MPEG4 visual	○	○	○	○
			MPEG4 AVC	×	×	×	○
	.m4v	AAC	MPEG4 visual MPEG4 AVC	×	×	×	○
	.mpg	MP3	MPEG1	○	○	○	×
			MPEG2	○	○	○	○
	.3gp	AAC AMR	MPEG4 visual H.263	×	×	×	○
	.divx	MP3	DivX 3.11/4/5/6/7	○	○	○	×

○:再生できます　×:再生できません

※ CDで再生出来るファイルは、ビットレートが1.5Mbps以下のファイルです。

■ 本機で再生できるファイル拡張子

●.mp3ファイル
- フォーマット　:MPEG1/2 Audio layer 3
- ビットレート　:8 k ～ 320 Kbps
- サンプリング周波数　:8/12/16 /22.05/ 24/32/44.1/48 KHz
- ジョイントステレオ対応
- ID3タグ　:Title, Artist, Album

●.wmaファイル
- フォーマット　:Windows media Audio Standard L3 profile
- ビットレート　:32 k ～ 320 Kbps
- サンプリング周波数　:32/44.1/48 KHz
- WMA-Tag
  - SD　: Title、Artist、Album
  - Disc/USB : Title、Artist
- DRM/Professional/Lossless/Voice 非対応

●.aviファイル (Disc/USB)
- フォーマット　:Divx 3.11/4/5/6
- ピクチャサイズ　:720 × 480
- ビデオビットレート　:最大 6 Mbps
- 音声フォーマット　:MP3
- 音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.mp4ファイル (Disc/USB)
- フォーマット　:MPEG4 Visual
- プロファイル&レベル　:Simple @L1
- ピクチャサイズ　:720 × 480
- ビデオビットレート　:最大 6 Mbps
- 音声フォーマット　:AAC
- 音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.mp4ファイル (SD)
- フォーマット　:MPEG4 AVC/H.264, MPEG4 Visual
- プロファイル&レベル　:Baseline @1.3 Simple @L1
- ピクチャサイズ　:480 × 272
- ビデオビットレート　:最大 3 Mbps
- 音声フォーマット　:AAC
- 音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.m4vファイル (SD)
- フォーマット　:MPEG4 AVC/H.264, MPEG4 Visual
- プロファイル&レベル　:Baseline @1.3 Simple @L1
- ピクチャサイズ　:480 × 272
- ビデオビットレート　最大 3 Mbps
- 音声フォーマット　:AAC
- 音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.mpgファイル (Disc/USB)
- フォーマット　:MPEG1,MPEG2
- ピクチャサイズ　:720 × 480
- ビデオビットレート　:最大 3 Mbps (Mpeg1), 6 Mbps(Mpeg2)
- 音声フォーマット　:MP3
- 音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

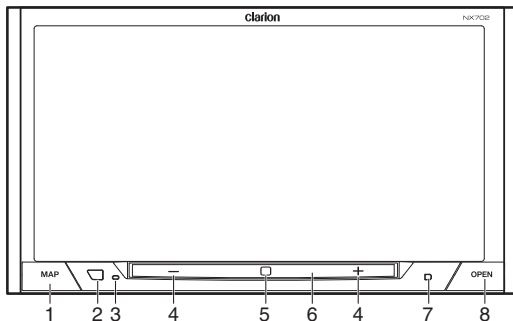
●.mpgファイル (SD)
- フォーマット　:MPEG2
- ピクチャサイズ　:480 × 272
- ビデオビットレート　:6 Mbps
- 音声フォーマット　:MP3
- 音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

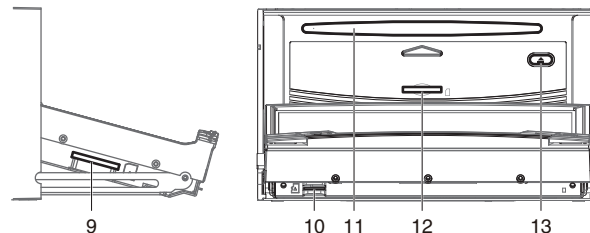
●.3gpファイル (SD)
- フォーマット　:MPEG4 Visual, H.263
- プロファイル&レベル　:Simple,Baseline
- ピクチャサイズ　:480 × 272
- ビデオビットレート　:最大 3 Mbps
- 音声フォーマット　:AAC, AMR
- 音声サンプリング周波数 :8/16/32/44.1/48 KHz

●.divxファイル (Disc/USB)
- フォーマット　:Divx 3.11/4/5/6/7
- ピクチャサイズ　:720 × 480
- ビデオビットレート　:最大 6 Mbps
- 音声フォーマット　:MP3
- 音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

※ 以上のファイル形式は再生できる事をすべて保証するものではありません。

※ ご使用になられたコーディックによっては再生できないファイルもあります。

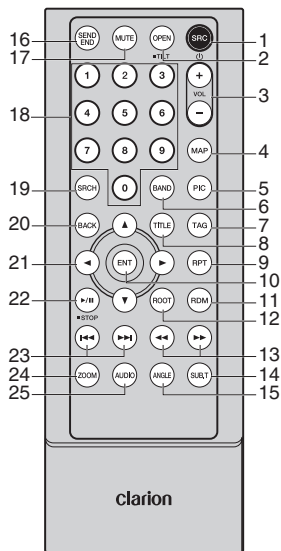
操作パネル

名称	機能の説明
1. [MAP■PWR] ボタン	電源をON/OFFします。(17ページ) • イグニッションがONのときに押すと、システムの電源が入ります。 • 電源が入っているときに押し続けると、システムの電源が切れます。 ナビゲーションモードに切り替えます。(17ページ) • 電源が入っているときに押すと、ナビゲーションモードになります。
2. リモコン受光部	同梱のリモコンから信号を受信します。
3. マイクホール	内蔵マイクロホン用の通気穴です。(51ページ)
4. [-] キー / [+] キー	タッチすると音量が小さくまたは大きくなります。(18ページ)
5. [MENU■ALL] キー	メインメニュー画面、ショートカットメニュー画面を表示します。 • タッチするとショートカットメニュー画面を表示します。(16ページ) • タッチし続けるとメインメニュー画面を表示します。(15ページ)
6. センサーコントロール	[MENU■ALL] キー、[-] キー、[+] キーをタッチする場所です。
7. リセットボタン	押すと元の設定を読み込みます。 MEMO • リセットボタンを押すと、メモリーに保存されているラジオ局の周波数やタイトルなどが消去されます。
8. [OPEN] ボタン	操作パネルを開閉します。(17ページ) • 押すと操作パネルが下にスライドします。 • 押し続けると操作パネルが一定の角度にスライドし開きます。

[OPEN] ボタンを押すと、操作パネルが下にスライドします。

名称	機能の説明
9. SDカード挿入口	SDカードを挿入します。(38ページ)
10. 地図SDカード挿入口	地図SDカード(地図情報の書き込まれた専用のmicroSDカード)が格納されています。プログラムの更新や地図更新を行う際に、カードの抜き差しを行います。その他の操作時は、抜き差ししないでください。
11. ディスク挿入口	ディスク(DVD/CD)を挿入します。(26ページ)
12. mini B-CASカード挿入口	mini B-CASカードを挿入します。(22ページ)
13. [⏏] イジェクトボタン	挿入されているディスクをイジェクトします。(27ページ)

■ センサーコントロールキーの使い方

図解	操作	機能
	[MENU■ALL] キーをタッチし、[-] キーへスライドします。	ミュートする
	[+] キーをタッチします。	音量を上げる (1目盛り)
	[-] キーをタッチします。	音量を下げる (1目盛り)
	[MENU■ALL] キーをタッチし続けます。	メインメニュー画面を表示する
	[MENU■ALL] キーをタッチします。	ショートカットメニュー画面を表示する

本機の操作

リモートコントロール(リモコン)

1.　[SRC] ボタン
- メインメニュー画面で、次のソースに選択状態が移動します。
- 本機の電源がオフの状態から、電源をオンにします。
- 本機の電源がオンの状態で押し続けると、システムが終了します。

2.　[OPEN] ボタン
- 押す:操作パネルが下にスライドして開きます。もう一度押すと閉じます。
- 押し続ける:操作パネルが一定の角度にスライドし開きます。操作パネルがフルオープンの時は閉じます。

3.　[+] (プラス)、[-] (マイナス)ボタン
- 音量を調整します。

4.　[MAP] ボタン
- ナビゲーションモードとオーディオモードを切り替えます。

5.　[PIC] ボタン
- 画質を調整します。

6.　[BAND] ボタン
- 受信バンドを切り替えます。

7.　[TAG] ボタン
- 本機では使用しません。

8.　[TITLE] ボタン
- DVDのタイトルメニューを表示します。

9.　[RPT] ボタン
- DVD再生モードで押すと、チャプター/タイトルのリピート再生やリピート再生の終了をします。
- CD再生モードで押すと、トラックのリピート再生やリピート再生の終了をします。
- ディスク上のMP3/WMAや動画ファイルの再生モードで押すと、トラックやフォルダのリピート再生やリピート再生の終了をします。
- USBメモリ上のMP3/WMAや動画ファイルの再生モードで押すと、トラックやフォルダのリピート再生やリピート再生の終了をします。

10. [ENT] ボタン
- 10キー入力画面での入力データを確定する場合、または選択中の項目を確定する場合に押します。

11. [RDM] ボタン
- DVD再生モードで押すと、チャプター/タイトルのランダム再生やランダム再生の終了をします。
- CD再生モードで押すと、トラックのランダム再生やランダム再生の終了をします。
- ディスク上のMP3/WMAや動画ファイルの再生モードで押すと、トラックやフォルダのランダム再生やランダム再生の終了をします。
- USBメモリ上のMP3/WMAや動画ファイルの再生モードで押すと、トラックやフォルダのランダム再生やランダム再生の終了をします。

12. [ROOT] ボタン
- DVDのルートメニューを表示します。

13. [◀◀]、[▶▶] ボタン
- ラジオモードで押すと、前の/次の放送局を手動で選局します。
- 早送り/早戻しで検索を行う場合に押します。押すたびに、速度が変更されます。

14. [SUB.T] ボタン
- DVDの再生中に次のサブタイトル(字幕言語)に切り替えます。
- テレビモードで字幕のON/OFFを切り替えます。

15.　[ANGLE] ボタン
- DVDの再生中に違うアングルに切り替えます(この機能に対応していないDVDもあります)。

16. [SEND/END] ボタン
- 掛ってきた電話を受けます。
- 通話中の電話を切ります。

17. [MUTE] ボタン
- スピーカーの消音、または消音の解除をします。
- 画面右下に表示されるは、スピーカーが消音状態であることをあらわします。

18. [0 - 9] ボタン
- 放送局を選局する場合に10キーとして使用します。
- トラックを選択する場合にトラック一覧画面で使用します。
- DVDのチャプター番号/タイトル番号を入力する場合に10キー入力画面で使用します。

19. [SRCH] ボタン
- DVD再生中にチャプター/タイトルの10キーによる検索画面を表示します。
- テレビモードで中継局サーチを開始します。

20. [BACK] ボタン
- メインメニュー画面を終了します。

21. [▲]、[▼]、[◀]、[▶] ボタン
- メインメニュー画面または各種設定画面で、ボタンの選択状態が移動します。
- メインメニュー画面では、ソースの選択や設定の変更をします。
- テレビモードでは、選局やボリュームの調整をします。

22. [▶ / ❚❚] / [■] ボタン
- ビデオやオーディオメディアの再生や一時停止をします。
- ビデオやオーディオメディアを停止する場合には、押し続けます。

23. [❙◀◀]、[▶▶❙] ボタン
- ラジオモードで押すと、登録されている前の/次の放送局に切替ます。
- ラジオモードやテレビモードで押し続けると、前の/次の放送局にシーク選局します。
- DVDビデオモードで押すと、前の/次のチャプターを選択できます。
- CDモード、DVDオーディオモード、USBビデオ/オーディオモード、Bluetoothモードで押すと、前の/次のトラックを選択できます。

24. [ZOOM] ボタン
- DVDの再生中にターンやズームインを行う場合に押します。3倍までズームインが行えます(この機能に対応していないDVDディスクもあります)。
- テレビモードで登録チャンネルをUP/DOWNします。

25. [AUDIO] ボタン
- DVDの再生中/テレビモードでオーディオチャンネルを切り替えます。

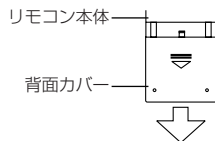
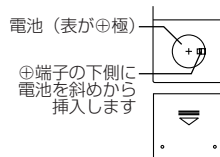
リモコンを使う

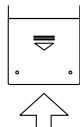
■リモコンを使用する

リモコンは、操作パネルのリモコン受光部に向けて操作してください。

最初に使用するときは、トレイから出ているフィルムを引き抜いてください。

■電池を交換する

1. リモコンの背面カバーをスライドさせて取り外します

2. プラス⊕極とマイナス⊖極を正しく合わせて、電池を挿入します

- 古い電池を取り出し、取り出した電池と同じ向きで新しいリチウム電池(CR2025)を入れてください。
- 電池トレイが正しい向き(極性)に挿入されていることを確認ください。

3. 背面カバーを閉じます

リモコン使用上の注意事項

リモコンのご使用に際しては、「リモコンについての注意事項」(7ページ)、「使用上のご注意」(8ページ)および本書に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。

MEMO

- 直射日光の下ではリモコンの操作が適切に行えない場合があります。
- リモコンを高温下や直射日光のあたる所で保管しないでください。
- リモコンは、直射日光があたると、正しく動作しなくなることがあります。
- リモコンを車内の床に落とさないでください。ブレーキまたはアクセルペダルの下にはさまることがあります。

⚠注意

- 電池は、お子さまの手の届かないところに保管してください。
  電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。
- 電池(電池パックまたは取り付け済み電池)には、直射日光や、火のような過度の熱を与えないでください。
- CR2025(3V)リチウム電池(1個)をご使用ください。
- リモコンを1ヶ月以上使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を正しく交換しないと爆発の危険があります。交換する際は、同じもしくは同等タイプの電池のみを使用してください。
- 電池を取り扱う際に、金属製の道具を使わないでください。
- 電池と金属製のものを一緒に保管しないでください。
- 電池が漏れた場合、リモコンをきれいにふき取り、新しい電池を取り付けてください。
- 使用済みの電池を廃棄する際は、お住まいの国や地域で定められた、政府規制および環境関連の公的機関のルールに従ってください。

ハードボタンとタッチキーについて

本体に付いているハードボタン、画面を指先で触れるだけで操作できる操作パネル上およびセンサーコントロール上のキーに関して本書では以下のように表記しています。

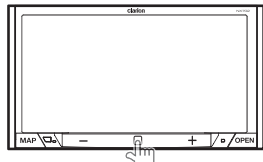
本書の操作説明上の名称	
1. ハードボタン	2. キー（操作パネル画面上）
3. アイコン（操作パネル画面上）	4. センサーコントロールキー

本書の記載			操作
操作箇所	対象	操作記述	
操作の対象となる箇所を指マークが示します	ハードボタン	**押す**	押してすぐに離します。
	操作パネル(キー、アイコン) センサーコントロールキー	**タッチする**	タッチしてすぐに離します。
	ハードボタン	**押し続ける**	• 状態が変化するまで押し続けます。 押し続ける時間は、およそ2秒以上が目安です。 • 画面表示などが切り替わった時に離します。
	操作パネル(キー、アイコン) センサーコントロールキー	**タッチし続ける**	• 状態が変化するまでタッチし続けます。 タッチし続ける時間は、およそ2秒以上が目安です。 • 画面表示などが切り替わった時に離します。

本機の操作

メインメニュー画面について

■メインメニュー画面の表示

操作パネルの[MENU■ALL] キーをタッチして、メインメニュー画面を表示します。

画面のアイコンをタッチすると、ラジオモード、テレビモード、電話モードなど、対応するモードに切り替わります。

■画面のアイコンと各モード画面の表示

画面下部の左の[–]をタッチすると、次のアイコンが表示されます。

アイコンをタッチすると、それに対応したモード画面が表示されます。

[FM/AM]

ラジオモードを表示します。

[ナビゲーション]

ナビゲーションモードを表示します。

[電話]

電話モードを表示します。

[Disc]

ディスクモードを表示します。挿入しているディスクを再生します。

[iPod]

iPodモードを表示します。

[USB]

USBモードを表示します。

画面下部の右の[–]をタッチすると、次のアイコンが表示されます。

[SD]

SDモードを表示します。

[Bluetooth Audio]

Bluetoothオーディオモードを表示します。

[テレビ]

テレビモードを表示します。

[AUX]

AUXモードを表示します。

[カメラ]

カメラモードを表示します。

[音声オフ]

音声オフモードを表示します。

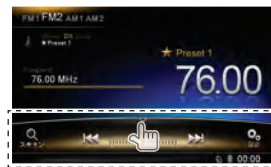
■操作バー画面の表示

1. 各モード画面で、操作バー開キーをタッチすると、操作バー画面が表示されます

[ ] : 操作バー開キー

MEMO

動画再生(テレビ、DVD、SDカード、USBなど)のときは、画面をタッチすると、操作バー画面が表示されます。

2. 操作バー画面で、操作バー閉キーをタッチすると、元の画面に戻ります

[ ] : 操作バー閉キー

MEMO

操作バー画面を表示してから10秒間、画面をタッチしないと、元の画面に戻ります。

■カスタム設定

画面下部の [Custom](カスタム) キーをタッチすると、カスタム設定メニューが表示されます。

[設定]

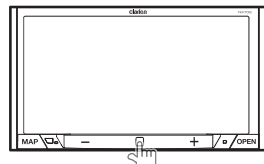
このアイコンをタッチすると、システム設定メニューに切り替わります。(55ページ)

[Beat EQ]

このアイコンをタッチすると、イコライザー設定メニューに切り替わります。[Custom] キー ▶ [設定] アイコン ▶ [サウンド] キー ▶ [Best EQ] 項目からも表示できます。(56ページ)

[ショートカット]

このアイコンをタッチすると、ショートカット設定メニューに切り替わります。目的のアイコンを、有効になるまで2秒以上押し続けてから、下の方へドラッグします。名前が下部に表示されます。

- 画面の中心を押したまま左または右にドラッグすると、さらにアイコンが表示されます。
- 合計5つのショートカットを作成できます。
- [MENU■ALL] キーをタッチすると、ショートカットメニュー画面が表示されます。

[壁紙]

このアイコンをタッチすると、壁紙設定メニューに切り替わります。[Custom] キー ▶ [設定] アイコン ▶ [全般] キー ▶ [壁紙] 項目からも表示できます。(55ページ)

[表示オフ]

このアイコンをタッチするとモニターがオフになります。

モニターをオンにするには、モニターをもう1度タッチします。

基本操作

電源のON/OFF

■電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」、または「ON」にすると、電源がONになります。

1. エンジンをかけます

本機に電源が入ります。

[MAP] ボタンを押すと、オープニング画面が表示された後、現在地地図またはオーディオ画面が表示されます。

MEMO

- 次回、本機を起動したときは現在地地図画面、またはオーディオ画面からはじまります。
- 盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示される場合があります。(57ページ)

■電源を切る

イグニッションキーを「ACC」から「OFF」にすると、電源がOFFになります。

1. エンジンを切ります

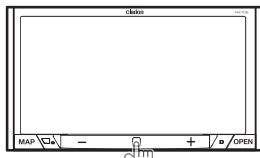
本機の電源が切れます。

⚠注 意

電源を切るときは、音量を最小にしてください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。

画面のON/OFF

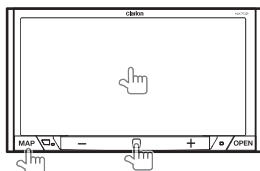
■画面を非表示にする

1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

2. [Custom] キー ▶ [表示オフ] アイコンの順にタッチします

画面が非表示なります。

■画面を表示する

1. 画面を非表示にした状態で、画面または[MENU■ALL] キーをタッチするか、[MAP] ボタンまたは[OPEN] ボタンを押します

画面が表示されます。

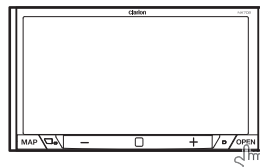
MEMO

表示オフの状態でエンジンを切っても、次にエンジンをかけたときは地図画面またはオーディオ画面等が表示されます。

操作パネルの開閉

⚠警 告

- ディスク、SDカード、B-CASカードがイジェクトしている状態で操作パネルを閉じないでください。完全に装着されていない状態で操作パネルを閉じると、操作パネルに引っかかり破損する恐れがありますので必ずお守りください。
- 操作パネルの開閉時に手や指を可動部に入れないでください。指がはさみこまれ、怪我をする恐れがあります。

1. [OPEN] ボタンを押します

操作パネルが開きます。

MEMO

[OPEN] ボタンを押し続けると、操作パネルが一定の角度にスライドし開きます。

2. 操作パネルを閉じるには、もう一度[OPEN] ボタンを押します

リモコン操作

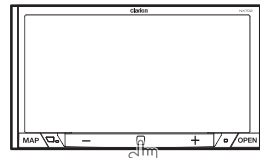
- [OPEN] ボタンを押すと操作パネルが開きます。もう一度押すと、閉じます。
- [OPEN] ボタンを押し続けると操作パネルが一定の角度にスライドし開きます。

MEMO

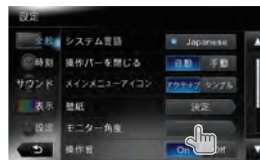
- カメラの映像を表示している場合は、操作パネルを開けません。
- 操作パネルが開いた状態で、ディスクを挿入すると自動で操作パネルが閉じ、ディスクの再生を開始します。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルを見やすい角度に調整できます。調整できる角度は0 ～ 30度(約5度刻みの6段階)の範囲です。

1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

2. [Custom] キー ▶ [設定] アイコンの順にタッチします

3. [全般] キー ▶ [モニター角度] 項目で角度の段階をタッチします

操作パネルが選択した角度に開きます。

4. [設定] キーをタッチします

選択した角度に設定されます。

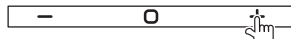
リモコン操作

[OPEN] ボタンを押し続けると操作パネルの角度を調整できます。

音量を調整する

センサーコントロールで音量を調整します。

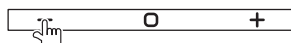
■音量を大きくする

1. [+] キーをタッチします

音量が大きくなります。

リモコン操作

[+] ボタンを押すと音量が大きくなります。

■音量を小さくする

1. [-] キーをタッチします

音量が小さくなります。

リモコン操作

[-] ボタンを押すと音量が小さくなります。

表示画面を切り替える

■メニューのスクロール

本機の操作はフリックオペレーションを採用しています。

1. 画面上をタッチします

2. 左/右にスライドします

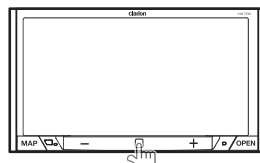
メインメニュー画面の前ページ、次ページに切り替わります。

MEMO

操作パネル上の2つの[-] キーをタッチしてもページが切り替わります。

時計を表示する

設定画面の「時刻」において、時計表示に関する設定が可能です。(55ページ)

1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

1. [Custom] キー ▶ [設定] アイコンの順にタッチします

2. [時刻] キーをタッチし、目的の設定を行います

■GPS時間同期

[On] キーをタッチすると、時刻をGPSと同期し、時刻の設定が無効になります。

初期設定は[On]です。

■時刻

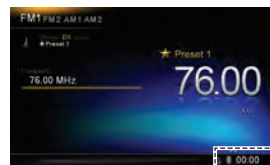
[時刻] 項目の右のキーをタッチすると時刻設定メニューが表示されます。[▲] キーまたは[▼] キーをタッチして時間または分を選択します。[決定] キーをタッチして確定するか[戻る] キーをタッチして保存せずに終了します。

■24時間表示

[On] キーをタッチすると24時間表示形式が選択されます。[Off] キーをタッチすると12時間表示形式が選択されます。

初期設定は[On]です。

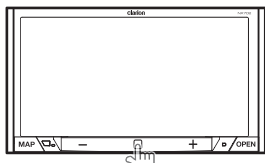
■時計表示部

時計は、各モード画面の右下および操作バー画面の右下に表示されます。

時計表示部

時計表示部

ラジオを聴く

ラジオを選択する

1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

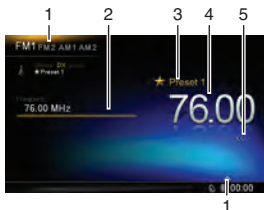
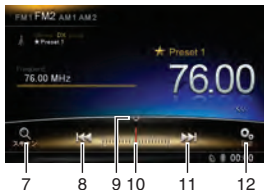
2. [FM/AM] アイコンをタッチします

ラジオモード画面が表示されます。

MEMO

[FM/AM] アイコンが現在のメインメニュー画面にない場合、画面下部の [–] キーをタッチするか、画面を左右にフリックして他のアイコンを表示させます。

ラジオメニューについて

画面右下の操作バー開キー(^)をタッチすると、操作バーのラジオメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. FM1/FM2/AM1/AM2キー
   ラジオバンド表示および切り替え
2. 情報エリア
3. プリセット番号
4. 現在のラジオ局の周波数
5. プリセットリスト表示キー
6. 操作バー開キー

7. スキャンキー
   プリセットスキャン
8. 高い周波数へのチューニングキー
   タッチ:高い周波数へ手動チューニング
   タッチし続ける:高い周波数へ自動チューニング
9. 操作バー閉キー
10. 周波数バー
11. 低い周波数へのチューニングキー
    タッチ:低い周波数へ手動チューニング
    タッチし続ける:自動チューニング
12. 設定キー
    設定メニューへ切替

13. Modeキー
    受信感度の切り替え
14. オートストアキー
15. 戻るキー
    メインのラジオメニューへ戻る

ラジオメニューを使う

ラジオメニューの操作方法について説明します。

■ラジオバンドの選択

FM1、FM2、AM1、AM2の4つのラジオバンドがあります。

それぞれのラジオバンドは、ラジオ局を6局までプリセットできます。

1. [FM1/FM2/AM1/AM2] キーをタッチし、ラジオバンドを選択します

   タッチするたびに、ラジオ受信バンドが次のように変更されます：

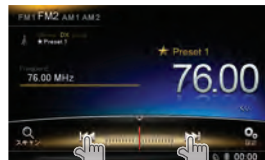
   FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1…

リモコン操作

[BAND] ボタンを押すとラジオバンドが切り替わります。

■ステップ選局

周波数は段階的に変えて選局します。

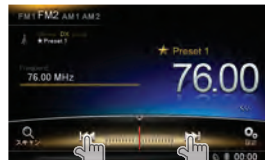
1. ラジオメニューの[⏮]または[⏭] キーをタッチします

より高い、またはより低い周波数に1ステップずつ変化し、選局します。

リモコン操作

[◀◀]または[▶▶]ボタンを押すとステップ選局ができます。

■シーク選局

自動で周波数を切り替え選局します。

1. ラジオメニューの[⏮]または[⏭] キーをタッチし続けます

より高い、またはより低い周波数へ自動で切り替えラジオ局を探します。

停止するには、上記の操作をもう1度繰り返す

本機の操作

か、他のラジオ機能のキーをタッチしてください。

リモコン操作

[⏮]または[⏭] ボタンを押すとシーク選局ができます。

MEMO

ラジオ局を受信すると、シークを停止してラジオ局の放送が始まります。

■プリセット選局

プリセットスキャンで、現在のメモリーに保存されているラジオ局を順番に受信します。この機能は、メモリー内にある目的のラジオ局を検索します。

1. ラジオメニューの [スキャン] キーをタッチします

プリセットされているラジオ局を順番に受信します。

2. 目的のラジオ局にチューニングされたら、[Stop] キーをタッチします

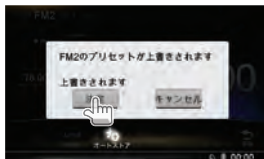
そのラジオ局を受信した状態で止まります。

■オートストア(自動保存)

十分な信号強度があるラジオ局を探知し、FM2またはAM2のラジオバンドに自動保存する機能です。

1. ラジオメニューの[設定] キー ▶ [オートストア] キーの順にタッチします

確認画面が表示されます。

2. 保存先の間違いがないことを確認し、[決定] キーをタッチします

ラジオ局のスキャンが開始され、探知したラジオ局を選択したラジオバンドに登録、保存します。

MEMO

- オートストアを停止するには、他のラジオ機能のキーをタッチします。
- オートストアを行うと、以前保存したラジオ局は上書きされます。
- 本機にはFM1、FM2、AM1、AM2という4つのバンドがあります。FM2とAM2はオートストア機能を使用して保存できます。各バンドは、ラジオ局を6局保存でき、NX702では合計24局保存できます。

■手動ストア

ラジオ局を手動で保存します。

1. [FM1/FM2/AM1/AM2]をタッチして、保存したいラジオバンドを選択します

リモコン操作

[BAND] ボタンを押しラジオバンドが選択します。

2. ステップ選局(19ページ)/シーク選局(19ページ)/プリセット選局(20ページ)などを使用して、保存したい放送局を選局します

3. 画面の右の現在の選局表示または[ ] キーをタッチします

プリセット局リストが表示されます。

4. 保存したいプリセットキーを、タッチし続けます

選局した放送局の周波数がタッチしたプリセットに保存されます。

■プリセットしたラジオ局を呼び出す

1. 画面の右端にある[ ] キーをタッチします

プリセット局リストが表示されます。

2. プリセットされたラジオ局をタッチします

選択した周波数にセットされます。

MEMO

画面の中央近くの[ ] キーをタッチしてプリセット局リストを非表示にします。

■シーク感度切替

シークの停止感度を切り替えることで、受信信号の強弱に応じたラジオ局が受信できます。

1. ラジオメニューの [設定] キーをタッチします

操作メニューが設定項目になります

2. [Mode] キーをタッチし、[Local](強い電波のみ受信)または[DX](弱い電波も受信)を選択します

MEMO

[Local] にすると、受信できるラジオ局の数が、減少します。

テレビを観る

本機では、地上デジタル放送のテレビをお楽しみいただけます。

⚠警告

- 運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

MEMO

- 地上デジタル放送を受信するには、受信用アンテナが必要です。
- 本機は地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えられます。(24ページ)
- 地上デジタル放送受信時に(主に弱電界)画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。
- テレビの映像はリアモニターで観ることはできません。

アナログ放送終了後の周波数リパックについて

2011年7月24日の地上アナログ放送停波後から、周波数の再編(周波数リパック)が実施されています。

地上デジタル放送については現在13ch ～ 62chが割り当てられていますが、2011年7月24日以降、13ch ～ 52chの割り当てに変更になります。53ch以上の放送は、地上デジタル放送のチャンネルが切り替わることで視聴ができなくなるため、本機でチャンネルスキャンする必要があります(22ページ)。なお周波数の切り替え時期は地域によって異なります。

なお、2011年3月11日の東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県においては、法令上の期限である2011年7月24日までに地上デジタル放送の受信環境の整備が間に合わないと見込まれたため、当該地域における地上アナログ放送の周波数の使用の期限を2012年3月31日までとしていますので、これら地域におけるリパックは、2012年4月1日から1年以内に実施する予定です。
周波数リパックの情報に関しては下記のURLをご覧ください。

- デジサポのホームページ

http://digisuppo.jp/repack/

- 総務省の資料

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/pdf/090403_02_bt.pdf

テレビを観る前に

テレビを視聴するために必要なmini B-CASカードについて説明します。

■mini B-CASカードについて

mini B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。

地上デジタル放送では、このmini B-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。

地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にmini B-CASカードを入れてください。

MEMO

mini B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。

■mini B-CASカード使用上の注意事項

mini B-CASカードのご使用に際しては、使用上の注意事項「mini B-CASカードについて」(8ページ)をご覧になり正しくお使いください。

■mini B-CASカードを台紙から取る

mini B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。

mini B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

MEMO

- mini B-CASカードに関する内容の問い合わせや、カードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。

  株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250（AM10：00～PM8：00）（年中無休）

- お問い合わせ時にmini B-CASカードのID（識別）番号が必要となる場合があります。

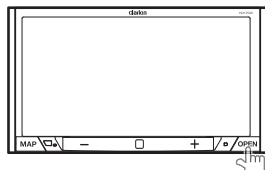
  あらかじめカードのID番号は控えておいてください。（25ページ）

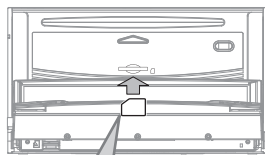
■mini B-CASカードのセット

MEMO

- mini B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。
- 故障の原因となりますので、カード挿入口にmini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 車から離れるときは、必ず操作パネルを閉じてください。

1. エンジンを切ります

2. [OPEN] ボタンを押します

操作パネルが下にスライドします。

3. 金属端子面を下にして、miniB-CASカードをカード挿入口に挿入します

⚠注 意

- **mini B-CASカードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。（「カチッ」と音がするまで差し込みます。）**
- **「カチッ」と音がする位置まで差し込まないで使用すると正常に動作しなくなったり、操作パネルを閉じるときに、mini B-CASカードとぶつかり破損する恐れがあります。必ずお守りください。**

4. [OPEN] ボタンを押します

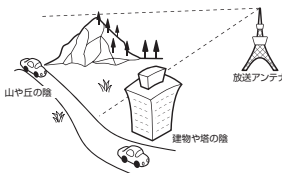
操作パネルが閉じます。

MEMO

- mini B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。
- mini B-CASカードを抜く場合は、カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。（指先でカチッと音がするまで押して離します。その後、指先でカードをしっかりつまんで手前に抜き取ります。）

■テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- 車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- 電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。

はじめてテレビを観るときは

はじめて地上デジタル放送を選択したときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶させるため、チャンネルスキャンを行ってください。

■チャンネルスキャン

1. [MENU■ALL] キーをタッチします

メインメニュー画面が表示されます。

2. [テレビ] アイコンをタッチします

3. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

4. [設定] キーをタッチします

5. [チャンネルスキャン] キーをタッチします

チャンネルスキャン決定のポップアップ画面が表示されます。

6. [決定] キーをタッチします

チャンネルスキャンが開始され、受信できる放送局を探して登録されます。

終了するまでしばらくお待ちください。

チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

MEMO

「チャンネルスキャン」機能を使って受信可能なチャンネルを手動でストアし直すことができます。

チャンネルリストを表示する

チャンネルスキャン終了後、本機のチャンネルリスト（選局ポジション：1～12）には、受信可能なチャンネルが設定されます。

設定されるリストは、チャンネルスキャンを実施した地域（お住まいの地域）に対応した放送局名となります。

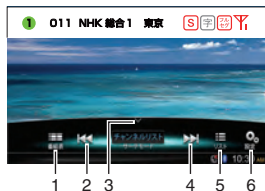
東京の例		大阪の例	
1	NHK総合･東京	1	NHK総合･大阪
2	NHK教育･東京	2	NHK教育･大阪
3	放送なし（割り当てなし）	3	放送なし（割り当てなし）
4	日本テレビ	4	MBS毎日放送
5	テレビ朝日	5	放送なし（割り当てなし）
6	TBS	6	ABCテレビ
7	テレビ東京	7	テレビ大阪
8	フジテレビ	8	関西テレビ
9	東京MXテレビ	9	放送なし（割り当てなし）
10	放送なし（割り当てなし）	10	読売テレビ
11	放送なし（割り当てなし）	11	放送なし（割り当てなし）
12	放送大学	12	放送なし（割り当てなし）

上記は、受信状態の一例です。お住まいの地域や、スキャン時の電波の強弱などの諸条件によって、受信結果が異なる場合があります。

MEMO

- チャンネルスキャンを実施した地域によっては、複数の各地域向け放送局の電波が受信出来る場合があります。
- 割り当てる選局ポジションが同じ、複数の局を受信した場合、1局のみが指定のチャンネルに設定されます。
- そのほかの放送局は、割り当てのない空きチャンネルに自動的に振り当てられます。
- その場合で、1～12まで、すべて割り当てられていた場合、13以降に割り当てられます。

テレビメニューについて

テレビモードで画面をタッチすると、操作バーのテレビメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. 番組表キー
2. チャンネルダウンキー
3. 操作バー閉キー
4. チャンネルアップキー
5. リストキー
   チャンネルリストを表示します。
6. 設定キー
   設定メニューへ切り替え

7. 主/副音声の切替キー
8. 字幕切替キー
9. 受信モード切替キー
10. チャンネルスキャンキー
11. 設定メニュー切替キー
12. 戻るキー
    メインのテレビメニューへ戻る

13. 設定メニュー切替キー
14. 中継局サーチキー
15. クイックサーチキー
16. 出荷状態に戻すキー
17. チューナー情報キー
18. 戻るキー
    メインのテレビメニューへ戻る

チャンネル番号を表示する

テレビ受信中、画面をタッチすると、受信中のチャンネル番号や、受信モード等が画面上部に表示します。

1. リモコンの番号
2. 放送局、マルチ編成番組番号
3. 放送局名
4. 音声放送モードの表示
   S：ステレオ放送
   M：モノラル放送
   多：音声多重放送
   主：主音声
   副：副音声
5. 字幕放送モード、字幕表示モード
   字（灰色）：字幕放送無し
   字（黒色）：字幕放送あり、字幕設定OFF
   字（赤色）：字幕放送あり、字幕設定ON
6. 受信モードの表示
7. 受信電波の強度表示

テレビの選局をする

現在観ている画面から、ほかのチャンネルに切り替えられます。

■チャンネルリストから選局する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [リスト] キーをタッチします

3. 表示されたチャンネルリストから受信したい放送局をタッチし、チャンネルリスト右のテレビイラストをタッチします

選局したチャンネルを受信します。

■チャンネル番号を入力して選局する

リモコン操作

チャンネルを直接入力して選局するには、リモコンで操作します。操作方法は以下のとおりです。

1. リモコンの[1]から[0]のボタンを使用して1chから12chまでの局を選択します

■サーチキーで選局する

1. [|◀◀]または[▶▶|] キーをタッチします

チャンネルスキャンで登録されたチャンネルのアップまたはダウン選局を行います

MEMO

マルチ編成の放送があった場合は、サーチキーのアップダウンでのみ選局できます。

■マルチ編成の番組選局について

地上デジタル放送では、一つのチャンネルで、2種類又は3種類の番組が放送されている事があります。

チャンネルリストからチャンネルを選局するとサブ1の番組が選局されます。サブ2またはサブ3の番組を選択するには、テレビメニューで[▶▶|] キーをタッチすることでサブチャンネルが切り替わり選局できます。

■受信可能な中継局を探す

走行中に受信電波が悪くなった場合など、中継局を探して切り替えることができます。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [▶] キーをタッチします

次ページのメニューが表示されます。

4. [クイックサーチ] キーをタッチします

走行エリア内で、受信状態の良い中継局を探索し切り替えます。

異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局を自動で探し出して受信できます。(24ページ)

■中継局を自動で探す

受信電波が弱く映りが悪いときなど、受信状況に応じて最適な中継局を自動的にサーチする、しないを設定します。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [▶] キーをタッチします

次ページのメニューが表示されます。

4. [中継局サーチ] キーをタッチし項目を選択します

OFF：

放送局の自動サーチを行いません。

自動：

約15秒間連続して受信なしと判断すると中継局サーチを開始します。

MEMO

- 中継局サーチ

受信中の放送局が複数のチャンネル(中継局)を使って放送している場合、受信状態の最適なチャンネルを探して観ることができます。移動などにより、受信している番組が見づらくなった時などにご使用ください。

- 初期設定は[OFF]です。
- [OFF]設定の場合でも、[クイックサーチ]をタッチすることにより強制的に中継局サーチを開始することができます。

テレビの便利な機能を利用する

■番組表を見る

現在受信中の番組表を表示します。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [番組表] キーをタッチします

現在受信中チャンネルの番組表一覧が表示されます。

3. [UP]または[DOWN] キーで番組表をスクロールして詳細内容を見たい番組をタッチします

詳細情報が表示されます

4. 確認後は[戻る] キーをタッチします

MEMO

- 番組表を表示中は、音声がでません。
- 走行中は、本操作を行えません。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送でフルセグとワンセグ共通の各種設定･編集ができます。

■ワンセグ／フルセグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、フルセグ放送受信時に電波が弱くなった場合、フルセグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。

「自動」に設定中は、フルセグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

また、ワンセグ／フルセグのみ受信することもできます。

MEMO

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合やフルセグで視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合には、自動的に切り替わりません。
- 放送局によっては、フルセグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [受信モード] キーをタッチして項目を選択します

自動：

フルセグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

フルセグ：

フルセグ放送を受信します。

ワンセグ：

ワンセグ放送を受信します。

MEMO

- 初期設定は[自動]です。
- [フルセグ]に設定中、電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、画像が映らなくなります。

■二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1. 画面をタッチします

   テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [音声] キーをタッチして項目を選択します

   [主音声]、[副音声]から選択します。

MEMO

- 初期設定は[主音声]です。
- 副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

■字幕表示を切り替える

字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。

本機では第一言語のみ表示できます。

1. 画面をタッチします

   テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [字幕] キーをタッチして項目を選択します

   [ON]、[OFF]から選択します。

MEMO

初期設定は[OFF](非表示)です。

■mini B-CASカード情報を確認する

1. 画面をタッチします

   テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [▶] キーをタッチします

   次ページのメニューが表示されます。

4. [チューナー情報] キーをタッチします

   mini B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

   同時にチューナーのバージョン番号も表示されます。

■テレビの設定情報を初期化する

1. 画面をタッチします

   テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [▶] キーをタッチします

   次ページのメニューが表示されます。

4. [出荷状態に戻す] キーをタッチします

5. [決定] キーをタッチします

   設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。

MEMO

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。
- 出荷状態に戻したときは、必ずチャンネルスキャンを行ってください。

■テレビの画質を調整する

リモコン操作

テレビの画質調整は、リモコンで操作します。操作方法は以下のとおりです。

1. [PIC] ボタンを押します

   画質調整のポップアップ画面が表示されます。

2. [▲]または[▼] ボタンを押し、ディマー、明るさ、コントラスト、色の濃さを選択します

3. [▶]または[◀]ボタンを押し調整します

   選択した項目の値を変更します。

4. [PIC] ボタンを押します

   調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

Discについて

ディスクについて

■再生できるディスクとファイル

本機では、以下のマークのある市販ディスクとメディアファイルを再生できます。

再生できるディスク		
DVDビデオ	音楽CD	CDテキスト

再生できるメディアファイル		
DivX	MP3/WMA	MP4

■再生できるCD

- ●市販の音楽CD
- ●市販のCD-TEXT
- ●CD-R, CD-RW, CD-ROM
  - • ファイナライズ処理してあるディスクのみ再生可能
  - • MP3/WMAのファイル
- ●CD-Extra

  オーディオセッションのみ再生可能。

  CD Extraディスクとは、1セッション目がAudioセッション、2セッション目がDataセッションの計2セッションが記録されているディスクです。

  Dataセッションが2セッション以上記録されている個人が作成したディスクは再生できません。
- ●HDCD

  通常の音楽CDの音質
- ●Super Audio CD

  CD層のみ再生可能

■再生できるDVD

- ●市販のDVDビデオ

  リージョン番号が「ALL」「2」「2を含む」のディスクが再生できます。

MEMO

リージョン番号について

DVDディスクとDVDプレイヤーには、発売地域ごとにリージョン番号が割り当てられています。日本で再生できる番号は、「ALL」と「2」です（または、「2」を含むもの）。

- ●DVD-R, DVD-RW
- ●DVD+R, DVD+RW
- ●DVD-R DL, DVD+R DL
- ●DVD-ROM

  但し、以下のディスクは再生できません
  - • ファイナライズ処理されていないディスク
  - • CPRM方式でデジタル録画されたディスク
  - • バックライト方式で録画されたディスク
  - • ご家庭でハイビジョン録画したディスク

MEMO

- • ファイナライズされていない「DVD-R, DVD-RW」「DVD+R, DVD+RW」「DVD-R DL, DVD+R DL」「CD-R, CD-RW, CD-ROM」ディスクは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフト、レコーダーのマニュアルをご覧ください。
- • 「DVD-R, DVD-RW」「DVD+R, DVD+RW」「DVD-R DL, DVD+R DL」「 CD-R, CD-RW, CD-ROM 」ディスクは記録状態によって再生できない場合があります。
- • ノンストップで記録された音楽CD/CD-TEXTの場合、曲間でミュートされることがあります。
- • 傷がついているディスク、ソリが大きいディスクは、再生できない場合もあります。

■再生できないCD

- ●オーバーランCD
- ●8cm CD
- ●コピーガード付きCD
- ●DTS CD
- ●ビデオCD
- ●MIX MODE CD
- ●CCCD
- ●フォトCD
- ●デュアルディスク

■再生できないDVD

- ●DVDオーディオ
- ●DVD-RAM

■使用できないディスク/アクセサリー

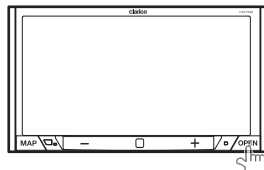
以下の注意に記載されているディスク/アクセサリーは、ディスクが取り出せなくなる恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

⚠注意

- • 下記のディスクは取り出せなくなる恐れがありますのでご使用しないでください。
  - • 8cm CD
  - • 8cm CD アダプター
  - • 異型ディスク（カード型・ハート型など）
  - • デュアルディスク（Dual Disc）
  - • ラベル、テープ、保護シートなどを貼り付けたディスク
  - • 保護シートを装着したディスク

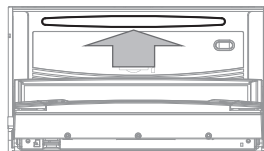
ディスクの挿入と取り出し

■ディスクの挿入

1. [OPEN] ボタンを押します

操作パネルが下にスライドします

リモコン操作

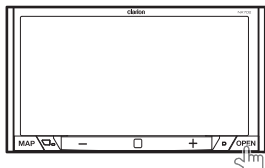
[OPEN] ボタンを押すと操作パネルが下にスライドします。

2. ディスクラベル面を上にして、ディスク挿入口の中央に挿入します

ディスクがロードされ、自動的に再生されます。

⚠注意

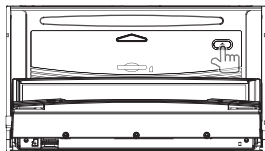
- • 安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。
- • ディスク挿入口に異物を入れないでください。
- • ディスクが挿入しにくい場合は、本機の中にすでに他のディスクが入っている可能性があります。または、本機が故障している可能性があります。
- • 一部のDVDは、想定以上の大きな音量で収録されているものがあります。音量は、再生開始後に、小さな音量から徐々にあげてください。

■ディスクの取り出し

1. [OPEN] ボタンを押します

操作パネルが下にスライドします。

リモコン操作

[OPEN] ボタンを押すと操作パネルが下にスライドします。

2. [▲] ボタンを押します

本体に電源が入っていない場合でもディスクがイジェクトされます。

ディスクを取り出すと、ラジオモード画面に切り替わります。

取り出したディスクを15秒間そのままにしておくと、自動的にディスクが挿入口に引き込まれます（オートリロード）。この場合、画面はラジオモード画面のままとなります。

MEMO

- オートリロード前に無理にディスクを押し込むと、ディスク表面に傷がつく場合があります。
- ディスクが損傷しないよう、ディスクが排出されてから取り出すようにしてください。

DVDを観る

本機は、DVDの高画質･高音質を再現できます。また、以下のDVD機能に対応しています。

MEMO

- 以下に説明するマルチ音声言語、サブタイトル、アングルなどは、DVDによって異なります。
- 詳しくは、DVDの説明書をご覧ください。
- 一部のディスク機能は本書の説明とは異なる動作となる場合があります。

■マルチ音声言語機能

DVDは、1本の映画の中に最大8つの言語を収録できますので、お好みの言語で映画を見ることができます。

- ディスクに記録されている音声数は、以下のようなアイコンで示されます。

■マルチアングル機能

DVDに複数のアングル（角度）で撮影された映画が収録されている場合、お好みのアングルで映画を見ることができます。

- ディスクに記録されているアングル数は、以下のようなアイコンで示されます。

■サブタイトル（字幕言語）機能

DVDは、1本の映画の中に最大32ヶ国語の字幕言語を収録できますので、お好みの字幕言語で映画を見ることができます。

- ディスクに記録されている字幕言語数は、以下のようなアイコンで示されます。

マルチストーリー機能

DVDに複数のストーリーが収録されている場合、お好みのストーリーを楽しむことができます。操作方法はディスクによって異なります。再生時に表示されるストーリー選択方法に従って操作をしてください。

DVDを再生する

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し(26ページ)」をご覧ください。

1. ディスク挿入口にDVDを入れます

   自動的にDVDモード画面になり再生が始まります。

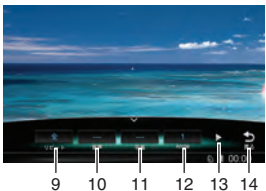
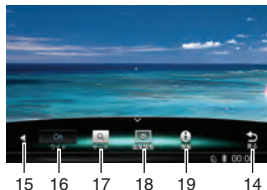
2. ディスクがすでに入っている場合は、メインメニュー画面の[Disc] アイコンをタッチすると、DVDモードになり再生が始まります。

⚠警告

- 運転者がDVDの映像を見る時は、必ず安全な場所に停車させてください。。
- 安全のため本機は停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は音声のみお楽しみください。

DVDメニューについて

DVD再生時に画面をタッチすると、操作バーのDVDメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. プレイ/ポーズキー
2. DVDタイトルメニュー表示にカーソル表示
3. 前のトラック/早戻しキー
   タッチ:前のトラックへ
   タッチし続ける:早戻し
4. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
5. 操作バー閉キー
6. 次のトラック/早送りキー
   タッチ:次のトラックへ
   タッチし続ける:早送り
7. DVDタイトルメニュー
8. 設定キー
   設定メニューへ切り替え

9. リピート再生切替キー
10.音声言語切替キー
11.字幕言語切替キー
12.アングル切替キー
13.設定メニュー切替キー
14.戻るキー
   メインのDVDメニューへ戻る

15.設定メニュー切替キー
16.ワイドスクリーン切替キー
17.チャプター/タイトルダイレクト検索キー
18.画質調整キー
19.情報キー

DVDメニューを使う

DVDメニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/II] ボタンを押すと一時停止します。[▶/II] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■チャプターをスキップする（検索）

1. 再生中に[I◀◀]または[▶▶I] キーをタッチします
   タッチした回数分、チャプターが前方向に/後方向にスキップされ、再生が開始されます。

リモコン操作

再生中に[I◀◀]または[▶▶I] ボタンを押すとタッチした回数分、チャプターが前方向に/後方向にスキップし再生します。

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[I◀◀]または[▶▶I] キーをタッチし続けます
   早送り/早戻しが開始します。

リモコン操作

再生中に[◀◀]または[▶▶]ボタンを押すと、早送り/早戻しします。

MEMO

- タッチし続けている間に再生速度は2倍から4倍、8倍、20倍になります。
- タッチをやめると、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻しを行っている間は、無音となります。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■再生を停止する

リモコン操作

再生の停止は、リモコンで操作します。操作方法は以下のとおりです。

1. リモコンの[■] ボタンを押し続けます
   再生が停止します。
2. 再生を再開するには、[▶/II] ボタンを押します
   ディスクの先頭から再生が開始されます。

■チャプター番号/タイトル番号で再生する

DVDディスク上に記録されたチャプター番号/タイトル番号を使用して、シーンを再生することができます。

1. [設定] キーをタッチします
   設定画面が表示されます。
2. [▶] キーをタッチします
   次のページが表示されます。
3. [サーチ] キーをタッチします
   10キー入力画面が表示され、チャプター番号/タイトル番号の入力モードになります。
4. チャプター番号を入力する場合は[Chapter] キー、タイトル番号を入力する場合は[Title] キーをタッチします

MEMO

- 初期設定は[Chapter]です。
- Chapter
  ディスクのデータ領域を分けるための小さな区切りです。
- Title
  ディスクのデータ領域を分けるための大きな区切りです。

5. 再生したいチャプター番号/タイトル番号を10キー([0]から[9])で入力します
6. [決定] キーをタッチします
   入力したチャプター番号/タイトル番号のシーンから再生が開始されます。

MEMO

入力したチャプター番号/タイトル番号がディスク上に存在しない場合、またはチャプター番号/タイトル番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。

リモコン操作

[SRCH] ボタンを押すと10キー入力画面が表示されます。チャプター番号/タイトル番号の入力モードになるため、本機にて上記の手順4以降の操作を行います。

■リピート再生をする

DVDに記録されたチャプターを、以下の操作で繰り返し再生することができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定画面が表示されます。

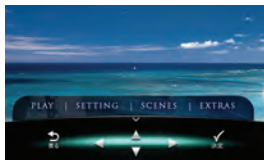
2. [リピート] キーをタッチします

タッチする度に全リピート、Chapter Repeat、Title Repeatの順に切り替わります。

リモコン操作

再生中に[RPT] ボタンを押すたびに全リピート、Chapter Repeat、Title Repeatの順に切り替わります。

■タイトルメニューを使う

2つ以上のタイトルが収録されているDVDディスクの場合、再生するタイトルをタイトルメニューから選択することができます。

1. 再生中に[メニュー] キーをタッチします

• タイトルメニューが表示されます。
• タイトルメニューが表示されないディスクもあります。

2. [キー表示] キーをタッチします

方向キーが表示されます。

3. [◀][▶][▲][▼]方向キーを使用して、タイトルメニューの項目を選択します

方向キーでは項目を選択できないディスクもあります。

4. [決定] キーをタッチします

選択した項目が再生されます。

リモコン操作

再生中に[◀][▶][▲][▼]方向ボタンを使用して、タイトルメニューの項目を選択し、[ENT] ボタンを押すと選択した項目が再生されます。

■音声を切り替える

ディスクに2種類以上の音声または音声言語が収録されている場合、再生中に音声を切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [音声] キーをタッチします

タッチするたびに、音声が切り替わります。

リモコン操作

再生中に[AUDIO]ボタンを押すたびに、音声が切り替わります。

MEMO

• 音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
• ディスクによっては、最大8種類の音声が収録されています。詳しくはディスクのマーク(8:音声が8種類の場合)をご覧ください。
• 電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、本機の工場出荷時に設定された言語になります。またその言語が収録されていない場合には、ディスク側で決められた言語になります。
• ディスクによっては音声がまったく切り替えられない場合や、音声が切り替えられないシーンがあります。

■字幕言語を切り替える

ディスクに2種類以上の字幕言語が収録されている場合、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [字幕] キーをタッチします

タッチするたびに、字幕言語が切り替わります。

• 字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
• ディスクによっては、最大32種類の字幕言語が収録されています。詳しくはディスクのマーク(8:字幕言語が8種類の場合)をご覧ください。
• ディスクによっては字幕言語がまったく切り替えられない場合や、字幕言語が切り替えられないシーンがあります。

3. 字幕言語を表示しない場合は、字幕言語が表示されなくなるまで[字幕] キーのタッチを繰り返します

リモコン操作

再生中に[SUB.T]ボタンを押すたびに、字幕言語が切り替わります。

■アングルを切り替える

ディスク内の映像に2種類以上のアングルが収録されている場合、再生中にアングルを切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [Angle] キーをタッチします

3. タッチするたびに、Angleが切り替わります

リモコン操作

再生中に[ANGLE]ボタンを押すたびに、アングルが切り替わります。

MEMO

- アングルの切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては、最大9種類のアングルが収録されています。詳しくはディスクのマーク(🎥:アングルが2種類の場合)をご覧ください。
- ディスクにより、スムーズに切り替わるものと、切り替えの際に一瞬静止画が表示されるものがあります。
- ディスクによってはアングルがまったく切り替えられない場合や、アングルが切り替えられないシーンがあります。
- ディスクによっては、2種類以上のアングルで収録されたシーンが再生されることがあります。

■再生中の情報を表示する

DVD操作バー画面で[**情報**]をタッチすると、DVD再生ステータスが画面に表示されます。

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [▶] キーをタッチします

   次のページが表示されます。

3. [情報] キーをタッチします

   再生ステータスが表示されます。

■画質を調整する

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [▶] キーをタッチします

   次のページが表示されます。

3. [画質調整] キーをタッチします

   画質調整画面が表示されます。

4. 「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を調整し、画面をタッチします

   調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

リモコン操作

1. [PIC] ボタンを押すと画質調整のポップアップ画面が表示されます。
2. [▲]または[▼] ボタンを押し、「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を選択し、[▶]または[◀]ボタンを押し値を調整します。
3. 最後に[PIC] ボタンを押すと調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

動画ファイルを再生する(MP4/DivXなど)

本機は、ディスクに保存された動画ファイル (MP4/Divxなど) を再生することができます。

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し」(26ページ)をご覧ください。

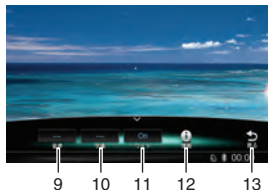
1. ディスク挿入口にDVDを入れます

   自動的にDVDモードになり再生が始まります。

2. ディスクがすでに入っているときは、メインメニュー画面の[Disc] アイコンをタッチするとDVDモードになり再生が始まります

ディスク動画メニュー(MP4/DivXなど)について

ディスク動画モードで再生時に画面をタッチすると操作バーのディスク動画メニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. プレイ/ポーズキー
2. リピート再生キー
3. 前のトラック/早戻しキー
   タッチ:前のトラックへ
   タッチし続ける:早戻し
4. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
5. 操作バー閉キー
6. 次のトラック/早送りキー
   タッチ:次のトラックへ
   タッチし続ける:早送り
7. 停止/リストキー
8. 設定キー
   設定メニューへ切り替え

9. 音声言語切替キー
10. 字幕言語切替キー
11. ワイドスクリーン切替キー
12. 情報キー
13. 戻るキー
    メインのディスク動画メニューへ戻る

ディスク動画メニュー(MP4/DivXなど)を使う

ディスク動画メニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします

2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/II] ボタンを押すと一時停止します。[▶/II] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■前の/次のファイルに切り替える

1. 再生中に[◀◀]または[▶▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[I◀◀]または[▶▶I] ボタンを押すと、前の/次のファイルに切り替わります。

■シークバーでスキップする

再生を開始したい位置まで、シークバー上の三角をドラッグ(タッチしたままスライド)します。

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[I◀◀]または[▶▶I] キーをタッチし続けるます

   早送り/早戻しが開始します。

リモコン操作

- 再生中に[◀◀]または[▶▶]ボタンを押すと、早送り/早戻しします。
- 押すたびに再生速度が2倍から4倍、8倍、20倍に切り替わります。

MEMO

- タッチし続けている間に再生速度は2倍から4倍、8倍、20倍になります。
- タッチをやめると、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻しを行っている間は、音が出ません。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■再生を停止する

リモコン操作

再生の停止は、リモコンで操作します。操作方法は以下のとおりです。

1. リモコンの[■] ボタンを押し続けます

   再生が停止します。

2. 再生を再開する場合は、[▶/II] ボタンを押します

   再生していたトラックが保存されているフォルダの先頭から再生が開始されます。

■リピート再生をする

DVDに保存された動画ファイルを、以下の操作で繰り返し再生することができます。

初期設定では、フォルダのリピート再生が設定されています。

1. [リピート] キーをタッチします

   タッチするたびに1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

リモコン操作

再生中に[RPT] ボタンを押すたびに1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

■音声を切り替える

動画ファイルに2種類以上の音声チャンネルが保存されている場合、再生中に音声チャンネルを切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [音声] キーをタッチします

   タッチするたびに、音声が切り替わります。

リモコン操作

再生中に[AUDIO] ボタンを押すたびに音声が切り替わります。

MEMO

- 音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては音声がまったく切り替えられない場合があります。

■字幕言語を切り替える

動画ファイルに2種類以上の字幕言語が収録されている場合、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [字幕] キーをタッチします

   タッチするたびに、字幕言語が切り替わります。

リモコン操作

再生中に[SUB.T]ボタンを押すたびに、字幕言語が切り替わります。

MEMO

- 字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては字幕言語がまったく切り替えられない場合があります。

■映像サイズを切り替える

スクリーンに映し出される縦横比のサイズを切り替えます。

- On…… 16:9の横長サイズ
- Off……4:3の標準サイズ

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [▶] キーをタッチします

   次のページが表示されます。

3. [ワイドスクリーン] キーをタッチします

   タッチするたびに、ワイドスクリーンのOn/Offが切り替わります。

■再生中のデータの情報を表示する

再生中データのステータスを表示します。

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [▶] キーをタッチします

   次のページが表示されます。

3. [情報] キーをタッチします

   再生ステータスが表示されます。

■Audio/Videoフォルダの切替

ビデオからオーディオへの切替

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

   動画ファイルの再生が停止します。

2. 画面左上の[Audio] キーをタッチします

   オーディオフォルダが表示されます。

オーディオからビデオへの切替

1. 画面左上の[Video] キーをタッチします

   ビデオフォルダが表示されます。

■リスト表示からトラックを選択する

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

   フォルダ/ファイルリストが表示されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします

   選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

MEMO

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。

3. 再生したいトラックをタッチします

   選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

   フォルダ/ファイルリストが表示されます。

2. [🔍] キーをタッチします

3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします

   入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[⦿] キーをタッチします。

購入したDivX動画の再生

購入したDivX形式の動画ファイルを本機で再生する場合、本機の認証コードを使用して一度だけ登録手続きを行なう必要があります。

自作またはダウンロードした無料のDivX動画を再生する場合には登録手続きは不要です。

■認証コード取得と登録手続き

1. メインメニュー画面右下の[Custom] キーをタッチし、[設定] アイコンをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. 画面左の[設定] キーを選択し、DivX®の[設定] キーをタッチし、[認証コード] の右にある[表示] キーをタッチします

   - DivXの認証コードが表示されます。
   - 取得した認証コードを使用してお使いのパソコンから機種の登録を行います。

3. [DONE]キーをタッチします

   画面が閉じます。

■登録解除

購入した動画を本機で再生しない場合は、本機の登録を解除することができます。上記の手順2まで行い、続いて下記の操作を行います。

1. [Deregistration] の右にある[設定]キーをタッチし、次の画面の[はい] キーをタッチします

2. 表示される[10ケタの登録解除コード]をメモします

3. 所得した登録解除コードを使用してお使いのパソコンから機種の登録解除を行ないます

■登録・登録解除に関して

詳しくはhttp://vod.divx.com を参照ください。

CDを聴く

CDを再生する

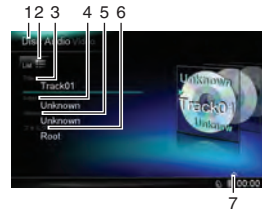
ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し(26ページ)」をご覧ください。

1. ディスク挿入口にCDを入れます

   自動的にCDモード画面になり再生が始まります。

2. ディスクがすでに入っている場合は、メインメニュー画面の[Disc] アイコンをタッチするとCDモード画面になり再生が始まります

CDメニューについて

CDモードで画面右下の操作バー開キー(^)をタッチすると操作バーのCDメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. AudioとVideoの切替キー
2. リスト表示切替キー
3. Title：再生中の曲のTitle
4. Artist：再生中の曲のArtist
5. Album：再生中の曲のAlbum
6. フォルダ：再生中の曲のフォルダ
7. 操作バー開キー

8. プレイ/ポーズキー
9. リピートキー
   全リピート /1トラックリピートの切替
10. 前のトラック/早戻しキー
    タッチ：前のトラックへ
    タッチし続ける：早戻し(4倍速)
11. シークバー
12. 現在のトラック / トラック全部の数
13. 操作バー閉キー
14. 次のトラック/早送りキー
    タッチ：次のトラックへ
    タッチし続ける：早送り(4倍速)
15. ランダムキー
    ランダムオン / オフの切り替え
16. 設定キー
    設定メニューへ切り替え

17. スキャンキー
    スキャン再生の開始と停止の切り替え
18. アニメーションキー
    ディスクが回転するアニメーションのON / OFFの切り替え
19. 戻るキー
    メインのCDメニューへ戻る

CDメニューを使う

CDメニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします

2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/II] ボタンを押すと一時停止します。[▶/II] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■前の/次のファイル/トラックに切り替える

再生中に[I◀◀]または[▶▶I] キーをタッチすると、前の/次のファイルの再生が開始されます。

- [▶▶I] キーをタッチすると、次のトラックの先頭から再生が開始されます。
- [I◀◀] キーをタッチすると、現在のトラックの先頭から再生が開始されます。5秒以内にもう一度タッチすると、前のトラックの先頭から再生が開始されます。

リモコン操作

再生中に[I◀◀]または[▶▶I] ボタンを押すとファイルまたはトラックが前方向に/後方向に切り替わり、再生されます。

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[I◀◀]または[▶▶I] キーをタッチし続けます

   早送り/早戻しが開始します。

リモコン操作

再生中に[◀◀]または[▶▶]ボタンを押すと、早送り/早戻しします。

MEMO

- タッチし続けている間に再生速度は4倍になります。タッチをやめると、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻しを行っている間は、無音となります。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■リピート再生をする

初期設定では、全トラックリピート再生が設定されています。

1. 1トラックリピート再生にするには、[ ] キーをタッチします

2. 全トラックリピート再生に戻すには、もう一度タッチします

リモコン操作

- 再生中に[RPT] ボタンを押すたびに、1トラックリピート、全リピートの順に切り替わります。

MEMO

WMAファイルも同様の操作になりますが、フォルダがある場合、1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

■ランダム再生をする

1. 再生中に、[ ] キーをタッチします

   トラックのランダム再生が開始されます。

2. ランダム再生を終了する場合は、もう一度タッチします

リモコン操作

再生中に[RDM] ボタンを押すとランダム再生をします。もう一度[RDM] ボタンを押すとランダム再生を終了します。

■スキャン再生をする

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [スキャン] キーをタッチします

   - 次のトラックが10秒間再生され、引き続き以降のトラックが10秒間ずつ再生されます。
   - [スキャン] キーが[停止] キーに切り替わります。

3. [停止] キーをタッチします

   - 現在のトラックがそのまま再生され続けます。
   - [停止] キーが[スキャン] キーに切り替わります。
   - この機能は、現在のフォルダ内に保存されているすべてのトラックを順番に1度ずつスキャン再生します。スキャン再生の終了後、再生は継続されます。

■アニメーション（回転エフェクト - 視覚エフェクト）を切り替える

アニメーション(回転エフェクト)のオン/オフを切り替えることができます。

初期設定は、「On」です。

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [アニメーション] キーをタッチします

3. 回転エフェクトをオンにする場合は、[Off]、オフにする場合は、[On]をタッチします

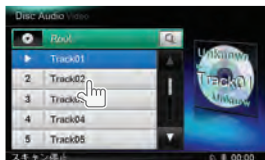
   [アニメーション]の[On] / [Off]は、現在の状態が表示されます。

■リスト表示からトラックを選択する

リスト表示からトラックを選択して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

2. 再生したいトラックタイトルをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

MEMO

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する

CD上に記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

2. [🔍] キーをタッチします

10キー入力画面が表示されます。

3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします

入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[ ] キーをタッチします。
- リスト右のディスクイラストをタッチすると、リストが閉じCDモード画面に戻ります。

音楽ファイル(MP3/WMA)について

本機は、ID3 TAGに対応しています。

本機がサポートするID3 TAGは、バージョン2.4、2.3、1.1、および1.0です。

本機では、バージョン2.4、2.3のタグが優先表示されます。

■MP3/WMAについて

- MP3は、MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式です。
- WMAは、マイクロソフトが開発した音声圧縮方式です。
- これらの音声圧縮方式は、パソコンユーザーの間で標準フォーマットとして浸透しています。
- オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特徴です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

MEMO

- CD-R/RWモードで記録されたCDの場合は、ご使用になれない場合があります。
- ノンストップCDを再生した場合には音切れが発生いたします。
- MP3/WMAディスク、USBメモリー、SDカードのいずれも、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。
- AACディスクには、対応しておりません。

■MP3/WMAのTAGタイトルを表示する

TAG情報を持つMP3/WMAファイルの場合、タイトル、アーティスト、アルバムタイトルなどのTAG情報を表示することができます。

MEMO

- TAG情報の文字コードがUNICODEでない場合には、正しく表示されません。
- CD、USBメモリー、SDカードのWMAファイルを再生する場合、アルバム名を表示することはできません。

■MP3/WMAディスク作成時のご注意

ファイル拡張子

- MP3ファイルには「.MP3」「.mp3」を、WMAファイルには「.WMA」「.wma」を必ず半角文字で拡張子を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。また、大文字と小文字が混在する場合には、正常に再生できません。
- MP3/WMAデータ以外のファイルは再生できません。
- サポートされていないフォーマットのファイルは再生の際にスキップされ、スキャン再生/ランダム再生/リピート再生モードはキャンセルされます。

サポートされていないファイル/ディスク

- 次の拡張子のファイル/ディスクはサポートされていません:

.AAC、.DLF、*.M3U、*.PLS、*.MP3 PRO ファイル、DRMで保護されたファイル、オープンセッションディスク。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3/WMAファイルをディスクに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660 (レベル1、2)(拡張フォーマットを含まない)」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には、正常に再生しない場合があります。
- MP3/WMA再生では、ファイル名/フォルダ名をタイトルとして表示することができますが、タイトルは半角英数/記号で31文字以内(拡張子を含む)となります。それ以上の半角英数/記号を入力したファイル名/フォルダ名は、正しく表示されない場合があります。

ファイル名/フォルダ名の入力

- 入力と表示が可能なファイル名とフォルダ名は、文字コードを使用した名前のみです。それ以外の文字を入力したファイル名/フォルダ名は、正しく表示されません。

フォルダ構造

- フォルダが8階層を超えたディスクに関しては、再生できません。

ファイル数/フォルダ数

- フォルダ数は最大255(ルートを含む)です。ファイル数は最大6000(1フォルダあたり最大999)です。それ以上のトラックは再生できません。

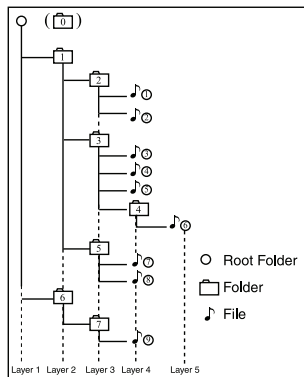
- トラックの再生は、ディスクに記録された順番に行われます(パソコン上で表示される順番と異なる場合があります)。
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- VBR(バリアブルビットレート)で記録されたトラックの場合は、トラックの再生時間表示が実際の再生時間と若干異なる場合があります。また、推奨されるVBRの範囲は32Kbpsから320Kbpsまでです。
- ディスクを選択すると、自動的に再生モードになります。

■MP3のフォルダについて

再生のために選択される際に、ファイルやフォルダ(フォルダ検索、ファイル検索、フォルダ選択)はメディアに記録された順番でアクセスされます。そのため、再生したい順番と実際の再生順と異なる場合があります。

ファイル名に「01」~「99」のような連番を割り当てることで、再生したい順場にMP3/WMAファイルを設定することができます。

例として、下図のようなフォルダ/ファイル階層のメディアについてフォルダ検索、ファイル検索、フォルダ選択が行われるとします。

以下の図をご覧ください。

本機では3階層までの識別を行い、またフォルダだけを含むフォルダを表示しません。上記の例では、フォルダ2、3、5、7を表示しますが、フォルダだけを含む1と6を表示しません。

音楽ファイル(MP3/WMA)を再生する

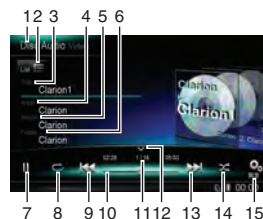
ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し(26ページ)」をご覧ください。

1. ディスク挿入口にCD(MP3/WMA)を入れます

   自動的にCD(MP3/WMA)モード画面になり再生が始まります。

2. ディスクがすでに入っている場合は、メインメニュー画面の[Disc] アイコンをタッチするとCD(MP3/WMA)モード画面になり再生が始まります

ディスク音楽メニュー(MP3/WMA)について

ディスク音楽モードで画面右下の操作バー開キー(^)をタッチすると操作バーのディスク音楽メニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. AudioとVideoの切替キー
   ファイルが無い場合は、切り替わりません
2. リスト表示切替キー
3. Title：再生中の曲のTitle
4. Artist：再生中の曲のArtist
5. Album：再生中の曲のAlbum
6. フォルダ：再生中の曲のフォルダ
7. プレイ/ポーズキー
8. リピートキー
   全リピート /1トラックリピートの切替
9. 前のトラック/早戻しキー
   タッチ:前のトラックへ
   タッチし続ける:早戻し(4倍速)
10. シークバー
11. 現在のトラック / トラック全部の数
12. 操作バー閉キー
13. 次のトラック/早送り
    タッチ:次のトラックへ
    タッチし続ける:早送り(4倍速)
14. ランダムキー
    ランダムオン / オフの切り替え
15. 設定キー
    設定メニューへ切り替え

16. スキャンキー
    スキャン再生の開始と停止の切り替え
17. アニメーションキー
    ディスクが回転するアニメーションのON / OFFの切り替え
18. 戻るキー
    メインのディスク音楽メニューへ戻る

ディスク音楽メニュー(MP3/WMA)を使う

ディスク音楽メニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします

2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/II] ボタンを押すと一時停止します。[▶/II] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■前の/次のファイル/トラックに切り替える

再生中に[I◀◀]または[▶▶I] キーをタッチすると、前の/次のファイルの再生が開始されます。

- [▶▶I] キーをタッチすると、次のトラックの先頭から再生が開始されます。
- [I◀◀] キーをタッチすると、現在のトラックの先頭から再生が開始されます。5秒以内にもう一度タッチすると、前のトラックの先頭から再生が開始されます。

リモコン操作

再生中に[I◀◀]または[▶▶I] ボタンを押すとファイルまたはトラックが前方向に/後方向に切り替わり、再生されます。

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[I◀◀]または[▶▶I] キーをタッチし続けます

   早送り/早戻しが開始します。

リモコン操作

再生中に[◀◀]または[▶▶]ボタンを押すと、早送り/早戻しします。

MEMO

- タッチし続けている間に再生速度は4倍になります。タッチをやめると、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻しを行っている間は、無音となります。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■リピート再生をする

初期設定では、全トラックリピート再生が設定されています。

1. 1トラックリピート再生にするには、[ ] キーをタッチします

2. 全トラックリピート再生に戻すには、もう一度タッチします

リモコン操作

- 再生中に[RPT] ボタンを押すたびに、1トラックリピート、全リピートの順に切り替わります。

MEMO

フォルダがある場合、1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

■ランダム再生をする

1. 再生中に、[ ] キーをタッチします

   トラックのランダム再生が開始されます。

2. ランダム再生を終了する場合は、もう一度タッチします

リモコン操作

再生中に[RDM] ボタンを押すとランダム再生をします。もう一度[RDM] ボタンを押すとランダム再生を終了します。

■スキャン再生をする

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [スキャン] キーをタッチします

   - 次のトラックが10秒間再生され、引き続き以降のトラックが10秒間ずつ再生されます。
   - [スキャン] キーが[停止] キーに切り替わります。

3. [停止] キーをタッチします

   - 現在のトラックがそのまま再生され続けます。
   - [停止] キーが[スキャン] キーに切り替わります。
   - この機能は、現在のフォルダ内に保存されているすべてのトラックを順番に1度ずつスキャン再生します。スキャン再生の終了後、再生は継続されます。

■アニメーション(回転エフェクト - 視覚エフェクト)を切り替える

アニメーション(回転エフェクト)のオン/オフを切り替えることができます。

初期設定は、「On」です。

1. [設定] キーをタッチします

   設定メニューが表示されます。

2. [アニメーション] キーをタッチします

3. 回転エフェクトをオンにする場合は、[Off]、オフにする場合は、[On]をタッチします

   [アニメーション]の[On] / [Off]は、現在の状態が表示されます。

■リスト表示からトラックを選択する

リスト表示からトラックを選択して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

オーディオがリスト表示されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします

MEMO

- 再生したいフォルダが表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)し、目的のフォルダを表示させます。
- 右側の[▲]または[▼] キーをタッチしてもリストを上下できます。

選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

2. [🔍] キーをタッチします

10キー入力画面が表示されます。

3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします

入力したトラック番号のトラックが再生されます。

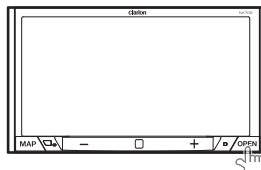
MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[ ] キーをタッチします。
- リスト右のディスクイラストをタッチすると、リストが閉じCDモード画面に戻ります。

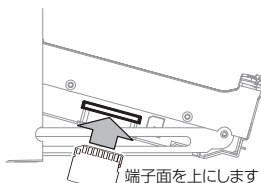
SDカードで観る・聴く

SDカードの出し入れ

■SDカードを挿入するには

1. [OPEN] ボタンを押します

操作パネルが下にスライドします。

2. SDカードの端子面を上にして操作パネルの左側にあるカード挿入口に挿入します

カードを挿入すると、本機にファイルが自動的に読み込まれます。

⚠注意

- SD カードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。(「カチッ」と音がするまで差し込みます。)
- 「カチッ」と音がする位置まで差し込まないで使用すると正常に動作しなくなったり、操作パネルを閉じるときに、SD カードとぶつかり破損する恐れがあります。必ずお守りください。

■SDカードを取り出すには

1. メインメニュー画面で[SD] アイコン以外を選択もしくは電源を切ります

⚠注意

[SD]を選択したまま、SDカードを取り出すとカードが損傷する場合があります。

2. [OPEN] ボタンを押します

操作パネルが下にスライドします。

3. SDカードを押すと、SDカードが排出されます

4. SDカードを取り出します

5. [OPEN] ボタンを押します

操作パネルが閉じます。

SDカード使用上の注意事項

SDカードのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」(6ページ)、「使用上のご注意」(8ページ)および本書内に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。

SDカードを再生する

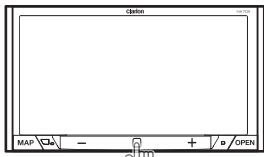
■動画ファイルを再生する

本機では、SDカードに保存した動画ファイル（MP4など）を再生できます。動画ファイルをSDカードにコピーするだけで、ビデオデバイスとして使用できます。

本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様(65ページ)」、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(11ページ)を参照ください。

⚠注意

- 本機は、一部のSDカードでは正しく操作できないことがあります。
- DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。

1. 動画ファイルの入ったSDカードをSDカード挿入口に挿入します
2. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

3. [SD] アイコンをタッチします

SDカード動画モードとなり動画の再生が始まります。

MEMO

- SDカードがすでに本機に挿入されている場合は、メインメニュー画面の[SD] アイコンをタッチすると、SDカードモード画面となり動画の再生が始まります。
- SDカードの映像はリアモニターで観ることはできません。

4. オーディオ画面が表示される場合は、画面左上の[Video] キーをタッチし、再生したいトラックをタッチします

   SDカード動画モードとなり動画の再生が始まります。

5. 動画ファイルの操作は、「SDカードメニューを使う」(40ページ)を参照し行います。

■音楽ファイルを再生する

本機では、SDカードに保存した音楽ファイル（MP3/WMA）を再生できます。音楽ファイルをSDカードにコピーするだけで、オーディオデバイスとして使用できます。

本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様(65ページ)」、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(11ページ)、音楽ファイル（MP3/WMA）について(35ページ)を参照ください。

⚠注意

- 本機は、一部のSDカードでは正しく操作できないことがあります。
- DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。

1. 音楽ファイルの入ったSDカードをSDカード挿入口に挿入します

2. [MENU■ALL] キーをタッチします

   メインメニュー画面が表示されます。

3. [SD] アイコンをタッチします

SDカード音楽モードとなり音楽の再生が始まります。

MEMO

- SDカードがすでに本機に挿入されている場合は、メインメニュー画面の[SD] アイコンをタッチすると、SDカードモード画面となり再生が始まります。
- [SD] アイコンがメインメニュー画面にない場合は、画面下部の[–] キーをタッチするか、画面中心をタッチしたまま左右にドラッグして別のメインメニュー画面にスライドしてください。

4. 動画が再生された場合は、画面をタッチし、[■] キーをタッチし、次に画面左上の[Audio] キーをタッチし、再生したいトラックをタッチします

   SDカード音楽モードとなり音楽の再生が始まります。

   音楽ファイルの操作は、「SDカードメニューを使う」(40ページ)をご覧になり操作してください。

■画質を調整する

リモコン操作

画質調整は、リモコンで操作します。操作方法は以下のとおりです。

1. [PIC] ボタンを押します

   画質調整のポップアップ画面が表示されます。

2. [▶]または[◀]ボタンを押しディマーを調整します

3. [PIC] ボタンを押します

   調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

MEMO

- ディマー以外の「明るさ、コントラスト、色の濃さ」の画質調整をSDカードモードでは行えません。
- ディマー以外の調整は、テレビモードへ移行し、「テレビの画質を調整する」(25ページ)の手順に従い行ってください。

本機の操作

SDカードメニューについて

■SDカード動画メニューについて

動画ファイル再生時に画面をタッチすると操作バーのSDカード動画メニューが表示されます。

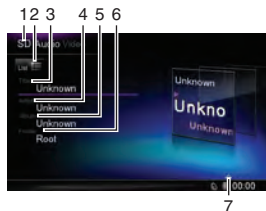
操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. プレイ/ポーズキー
2. リピート再生キー
3. 前のトラック/早戻しキー
   タッチ:前のトラックへ
   タッチし続ける:早戻し
4. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
5. 操作バー閉キー
6. 次のトラック/早送りキー
   タッチ:次のトラックへ
   タッチし続ける:早送り
7. 停止/リストキー
8. 設定キー
   設定メニューへ切り替え

9. 情報キー
10. 戻るキー
   メインのSDカード動画メニューへ戻る

■SDカード音楽メニューについて

音楽ファイル再生時に画面右下の操作バー開キー(^)をタッチすると操作バーのSDカード音楽メニューが表示されます。

操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

11. AudioとVideoの切替キー
   ファイルが無い場合は、切り替わりません。
12. リスト表示切替キー
13. Title：再生中の曲のTitle
14. Artist：再生中の曲のArtist
15. Album：再生中の曲のAlbum
16. フォルダ：再生中の曲のフォルダ
17. 操作バー開キー

18. プレイ/ポーズキー
19. リピート再生キー
20. 前のトラック/早戻しキー
   タッチ:前のトラックへ
   タッチし続ける:早戻し
21. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
22. 操作バー閉キー
23. 次のトラック/早送りキー
   タッチ:次のトラックへ
   タッチし続ける:早送り
24. 停止キー
25. 設定キー
   設定メニューへ切り替え

26. スキャンキー
   スキャン再生の開始と停止の切り替え
27. 戻るキー
   メインのSDカード音楽メニューへ戻る

SDカードメニューを使う

SDカードメニューの操作方法について説明します。

MEMO

- 本節に記載されていないSDカードメニューの操作方法については、ディスク動画メニュー、ディスク音楽メニューと同様の方法で操作できます。
- 「ディスク動画メニュー(MP4/DivXなど)を使う」(31ページ)、「ディスク音楽メニュー(MP3/WMA)を使う」(37ページ)をご覧になり操作してください。

■Audio/Videoフォルダの切替

ビデオからオーディオへの切替

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

   動画ファイルの再生が停止します。

2. 画面左上の[Audio] キーをタッチします

   オーディオフォルダが表示されます。

オーディオからビデオへの切替

1. 画面左上の[Video] キーをタッチします

   ビデオフォルダが表示されます。

■リスト表示からトラックを選択する(動画)

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

フォルダ/ファイルリストが表示されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします

選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

MEMO

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する(動画)

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

フォルダ/ファイルリストが表示されます。

2. [🔍] キーをタッチします

3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします

入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[⊙] キーをタッチします。

■リスト表示からトラックを選択する(音楽)

リスト表示からトラックを選択して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

オーディオがリスト表示されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします

MEMO

- 再生したいフォルダが表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)し、目的のフォルダを表示させます。
- 右側の[▲]または[▼] キーをタッチしてもリストを上下できます。

選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する(音楽)

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

2. [🔍] キーをタッチします

10キー入力画面が表示されます。

3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします

入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[⊙] キーをタッチします。
- リスト右のディスクイラストをタッチすると、リストが閉じSDカード音楽モードに戻ります。

外部機器の操作

USBメモリーで観る・聴く

USBメモリーの接続

■USBメモリーを接続するには

1. USBケーブルにUSBメモリーを接続します

USBメモリーを接続すると、本機にファイルが自動的に読み込まれます。

MEMO

- 本機に接続済みのUSBメモリーにアクセスするには、メインメニュー画面で[USB] アイコンをタッチします。
- [USB] アイコンが現在のメインメニュー画面にない場合は、画面下部の [–] キーをタッチするか、画面の中心を押したまま左右にドラッグして別のメニュー画面にスライドしてください。
- USBメモリーを接続している場合にはiPod/iPhoneを接続することができません。

■USBメモリーを取り外すには

1. メインメニュー画面で[USB] アイコン以外を選択もしくは電源を切ります

⚠注意

[USB]を選択したまま、USBメモリーを取り外すとデータが損傷する場合があります。

2. USBメモリーを取り外します

USBメモリー使用上の注意事項

USBメモリーのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」(6ページ)、「使用上のご注意」(8ページ)および本書内に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。

USBメモリーを再生する

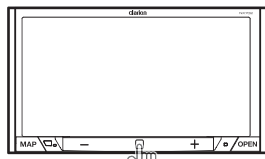
■動画ファイルの再生

本機では、USBメモリーに保存した動画ファイル(MP4/DivXなど)を再生できます。動画ファイルをUSBメモリーにコピーするだけで、ビデオデバイスとして使用できます。

本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様(65ページ)」、「本機で再生できるオーディオ·ビデオメディアのファイル形式」(11ページ)、「動画ファイルを再生する(MP4/DivXなど)」(30ページ)を参照ください。

⚠注意

- 本機は、一部のUSBメモリーでは正しく操作できないことがあります。
- DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。

1. 動画ファイルの入ったUSBメモリーをUSBケーブルに接続します
2. [MENU■ALL] キーをタッチします

メインメニュー画面が表示されます。

3. [USB] アイコンをタッチします。

USBメモリー動画モードとなり動画の再生が始まります。

4. オーディオ画面が表示された場合は、画面左上の[Video] キーをタッチし、再生したいトラックをタッチします

USBメモリー動画モードとなり動画再生を開始します。

動画ファイルの操作は、「USBメニューを使う」(44ページ)をご覧になり、操作してください。

■音楽ファイルの再生

本機では、USBメモリーに保存した音楽ファイル(MP3/WMA)を再生できます。音楽ファイルをUSBメモリーにコピーするだけで、オーディオデバイスとして使用できます。

本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様(65ページ)」、「本機で再生できるオーディオ·ビデオメディアのファイル形式」(11ページ)、「音楽ファイル(MP3/WMA)について」(35ページ)を参照ください。

⚠注意

- 本機は、一部のUSBメモリーでは正しく操作できないことがあります。
- DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。

1. 動画ファイルの入ったUSBメモリーをUSBケーブルに接続します
2. [MENU■ALL] キーをタッチします
メインメニュー画面が表示されます。
3. [USB] アイコンをタッチします

USBメモリー音楽モード画面となり音楽の再生が始まります。

4. 動画が再生された場合は、画面をタッチし、[■] キーをタッチし、次に画面左上の[Audio] キーをタッチし、再生したいトラックをタッチします

USBメモリー音楽モードとなり音楽の再生が始まります。

音楽ファイルの操作は、「USBメニューを使う」(44ページ)をご覧になり操作してください。

■画質を調整する

リモコン操作

画質調整は、リモコンで操作します。操作方法は以下のとおりです。

1. [PIC] ボタンを押します

画質調整のポップアップ画面が表示されます。

2. [▲]または[▼] ボタンを押し、ディマー、明るさ、コントラスト、色の濃さを選択します

3. [▶]または[◀]ボタンを押し調整します

選択した項目の値を変更します。

4. [PIC] ボタンを押します

調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

USBメニューについて

■USBメモリー動画メニューについて

動画ファイル再生時に画面をタッチすると操作バーのUSBメモリー動画メニューが表示されます。

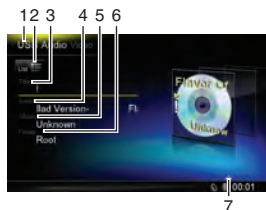
操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

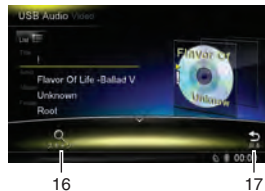
1. プレイ/ポーズキー
2. リピート再生キー
3. 前のトラック/早戻しキー
   タッチ:前のトラックへ
   タッチし続ける:早戻し
4. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
5. 操作バー閉キー
6. 次のトラック/早送りキー
   タッチ:次のトラックへ
   タッチし続ける:早送り
7. 停止/リストキー
8. 設定キー
   設定メニューへ切り替え

9. 音声言語切替キー
10. 字幕言語切替キー
11. ワイドスクリーン切替キー
12. 情報キー
13. 戻るキー
    メインのUSBメモリー動画メニューへ戻る

■USBメモリー音楽メニューについて

音楽ファイル再生時に画面右下の操作バー開キー(^)をタッチすると操作バーのUSBメモリー音楽メニューが表示されます。

操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. AudioとVideoの切替キー
   ファイルが無い場合は、切り替わりません。
2. リスト表示切替キー
3. Title:再生中の曲のTitle
4. Artist:再生中の曲のArtist
5. Album:再生中の曲のAlbum
6. フォルダ:再生中の曲のフォルダ
7. 操作バー開キー

8. プレイ/ポーズキー
9. リピート再生キー
10. 前のトラック/早戻しキー
    タッチ:前のトラックへ
    タッチし続ける:早戻し
11. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
12. 操作バー閉キー
13. 次のトラック/早送りキー
    タッチ:次のトラックへ
    タッチし続ける:早送り
14. 停止キー
15. 設定キー
    設定メニューへ切り替え

16. スキャンキー
    スキャン再生の開始と停止の切り替え
17. 戻るキー
    メインのUSBメモリー音楽メニューへ戻る

USBメニューを使う

USBメモリーメニューの操作方法について説明します。

MEMO

- 本節に記載されていないUSBメモリーメニューの操作方法については、ディスク動画メニュー、ディスク音楽メニューと同様の方法で操作できます。
- 「ディスク動画メニュー(MP4/DivXなど)を使う」(31ページ)、「ディスク音楽メニュー(MP3/WMA)を使う」(37ページ)をご覧になり操作してください。

■Audio/Videoフォルダの切替

ビデオからオーディオへの切替

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします
   動画ファイルの再生が停止します。
2. 画面左上の[Audio] キーをタッチします
   オーディオフォルダが表示されます。

オーディオからビデオへの切替

1. 画面左上の[Video] キーをタッチします
   ビデオフォルダが表示されます。

外部機器の操作

■リスト表示からトラックを選択する（動画）

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

フォルダ/ファイルリストが表示されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします

選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

MEMO

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ（タッチしたままスライド）、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する（動画）

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

フォルダ/ファイルリストが表示されます。

2. [🔍] キーをタッチします

3. 再生したいトラック番号を10キー（[0]から[9]）で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします

入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[⦿] キーをタッチします。

■リスト表示からトラックを選択する（音楽）

リスト表示からトラックを選択して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

オーディオがリスト表示されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします

MEMO

- 再生したいフォルダが表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ（タッチしたままスライド）し、目的のフォルダを表示させます。
- 右側の[▲]または[▼] キーをタッチしてもリストを上下できます。

選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する（音楽）

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

2. [🔍] キーをタッチします

10キー入力画面が表示されます。

3. 再生したいトラック番号を10キー（[0]から[9]）で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします

入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[⦿] キーをタッチします。
- リスト右のディスクイラストをタッチすると、リストが閉じSDカード音楽モードに戻ります。

外部機器の操作

本機でiPod®/iPhone®ビデオを再生するには、別売のCCA-750-500ケーブルが必要です。詳しくは、弊社Webサイト(http://www.clarion.com/)をご覧ください。

MEMO

- バージョンによっては、再生できない場合があります。
- iPod/iPhoneを接続している場合にはUSB Audio/Videoは使用できません。
- 本機と接続可能なiPodに関しては、弊社Webサイトwww.clarion.com をご覧ください。

iPod/iPhone使用上の注意事項

- iPod/iPhoneのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」(6ページ)、「使用上のご注意」(8ページ)および本書内に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。
- iPod/iPhoneは、ヘッドホンをはずしてから本機に接続してください。
- 本機にiPod/iPhoneを接続後、iPodのミュージックモードでキー操作が行えなくなります。動画モードでiPod/iPhoneのキー操作を行わないでください。
- iPodモードのときに、iPodを着脱しないでください。雑音が発生し、スピーカー破損の原因となる場合があります。
- iPodの機種によって再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを外して再度接続してください。
- 車のエンジンを切った後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があり、iPodの電源を消耗する恐れがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。
- 本機のiPodモードでは、他のメイン画面とは異なるiPod/iPhone専用コントロール画面が表示されます。
- 本機のiPodモードでは、AUX端子からの入力画像がリアモニターに出力されます。
- データがない場合、タイトル表示がブランクとなります。
- iPod/iPhone使用時にはイコライザー機能がオフになります。
- iPod/iPhoneの接続を行う前に、iPod/iPhoneの言語設定を「日本語」にしてください。他の言語が設定されている場合、本機で正しく表示されない場合があります。
- 一部のiPod/ iPhoneデバイスではビデオ再生機能が使用できない場合があります。詳しくは、弊社の販売店にお問い合わせください。オプションの接続ケーブルまたはアクセサリーが必要となる場合があります。
- 走行中は、"画像は停車中にお楽しみください"と表示されます。
- iPod/iPhoneのステータスによっては、画像データが再生できない場合があります。
- ビデオデータの音量設定はオーディオデータよりも比較的低い設定となっています。他のモードに切り替える前に、必ず音量を下げてください。
- iPodメニュー画面でトラックが含まれていないカテゴリーを選択しないでください。iPod/iPhoneがフリーズする場合があります。iPod/iPhoneがフリーズした場合は、iPod/iPhoneの取扱説明書に記載された手順でiPod/iPhoneをリセットしてください。
- 音声がわずかにビデオ映像とずれて再生される場合があります。

■バッテリーの準備について

iPod/iPhoneの内部バッテリーが低下している状態で本機にiPod/iPhoneを接続した場合、正常に動作しない場合があります。バッテリーが低下している場合は、充電してから接続してください。

iPodを接続する/再生する

■ビデオの再生

1. iPod/iPhoneを別売のCCA-750-500ケーブル経由でUSBコネクタに接続します

   自動的にデバイスを識別し、メインメニュー画面の[iPod] アイコンが使用可能となります。

   iPodビデオモードに切り替わり、ビデオの再生が開始されます。

■オーディオの再生

1. iPod/iPhoneを別売のCCA-750-500ケーブル経由でUSBコネクタに接続します
2. [MENU■ALL] キーをタッチします

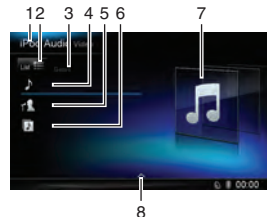
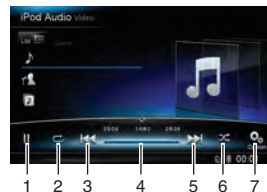
   メインメニュー画面が表示されます。
3. [iPod] アイコンをタッチします

iPodオーディオモードに切り替わります。

iPodオーディオモードに切り替わると、前回の再生位置から再生が開始されます。

iPodメニューについて

■iPodオーディオメニューについて

iPodオーディオ再生時に画面右下のの操作バー開キー(^)をタッチするとiPodオーディオ操作バー画面が表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. iPodのAudioとVideoの切替キー
2. Listキー
3. ジャンル
4. 曲名
5. アーティスト名
6. アルバム名
7. アートワーク
8. 操作バー開キー

1. プレイ/ポーズキー
2. リピート再生キー

   1トラックリピート、全リピート、リピートオフと切り替わります。
3. 前のトラック/早戻しキー

タッチ:前のトラックへ
タッチし続ける:早戻し

4. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
5. 操作バー閉キー
6. 次のトラック/早送りキー

タッチ:次のトラックへ
タッチし続ける:早送り

7. シャッフルキー

ソングシャッフル、アルバムシャッフル、シャッフルオフの順に切り替わります。

8. 設定キー

設定メニューへ切り替え

1. シンプルコントロール

[On]を選択するとシンプルコントロールモードが設定され、シンプルコントロール画面が表示されます。

この画面は、iPodオーディオモードおよびiPodビデオモードのいずれからも表示することができます。この画面では、「**Previous Track**」(前のトラック)、「**Play/Pause**」(プレイ/ポーズ)、および「**Next Track**」(次のトラック)のみが操作できます。

2. オーディオブック

オーディオブック再生速度を遅い、普通、速いから選択します。

3. 戻るキー

メインのiPodオーディオメニューへ戻る

■iPodビデオメニューについて

iPodビデオ再生時に画面をタッチすると操作バーのiPodビデオメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. プレイ/ポーズキー
2. リピート再生キー

1トラックリピート、全リピート、リピートオフと切り替わります。

3. 前のトラック/早戻しキー

タッチ:前のトラックへ
タッチし続ける:早戻し

4. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
5. 操作バー閉キー
6. 次のトラック/早送りキー

タッチ:次のトラックへ
タッチし続ける:早送り

7. リストキー
8. 設定キー

設定メニューへ切り替え

1. シンプルコントロール

[On]を選択するとシンプルコントロールモードが設定され、シンプルコントロール画面が表示されます。

この画面は、iPodオーディオモードおよびiPodビデオモードのいずれからも表示することができます。この画面では、「**Previous Track**」(前のトラック)、「**Play/Pause**」(プレイ/ポーズ)、および「**Next Track**」(次のトラック)のみが操作できます。

2. ワイドスクリーン

ワイドスクリーンのOn/Offを切り替えます。

3. 戻るキー

メインのiPodビデオモードメニューへ戻る

iPodメニューを使う

iPodメニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/II] ボタンを押すと一時停止します。
[▶/II] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■トラックをスキップする

1. 再生中に[I◀◀]または[▶▶I] キーをタッチします

タッチした回数分、トラックがスキップされ、再生が開始されます。

MEMO

- [▶▶I] キーをタッチすると、次のトラックの先頭から再生が開始されます。
- [I◀◀] キーをタッチすると、現在のトラックの先頭から再生が開始されます。
- 5秒以内にもう一度タッチすると、前のトラックの先頭から再生が開始されます。
- シンプルコントロールモードの場合は、iPod側で簡易的な操作が可能です。

■リピート再生する

初期設定では、全リピート再生が設定されています。

1. 1トラックリピート再生にするには、[ ] キーをタッチします
2. 全リピート再生に戻すには、もう一度タッチします

MEMO

全リピートの対象は、再生時に選択したアルバム、プレイリスト、アーティストなどの項目内です。

リモコン操作

- 再生中に[RPT] ボタンを押すたびに、1トラックリピート、全リピートの順に切り替わります。

■シャッフル再生する

1. 再生中に、[ ] キーをタッチします

シャッフル再生が開始されます。

2. シャッフル再生を終了する場合は、もう一度タッチします

リモコン操作

再生中に[RDM] ボタンを押すとシャッフル再生をします。もう一度[RDM] ボタンを押すとシャッフル再生を終了します。

■リスト表示から曲を選択する(オーディオ)

リスト表示から曲を選択して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

オーディオがリスト表示されます。

2. 再生したい項目をタッチします

選択した項目の曲リストが表示されます。

MEMO

再生したい項目がない場合は、右側の[▶]をタッチして項目を切り替えます。

3. 再生したい曲をタッチします

選択した曲をアートワークに表示し、再生を開始します。

MEMO

- 再生したい曲が表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。
- 前の階層に戻るには、左上のキーをタッチし、項目切替エリアを表示します。
- 左上に表示されるキーは、現在選択中の項目です。

1. 項目切替エリア

 プレイリスト、曲、アーティスト、アルバム、ジャンル、作曲者、オーディオブック、Podcastにリストを切り替えられます。

2. リストエリア
3. アートワーク

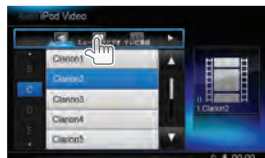
 再生中の曲のアートワークが表示されます。

 タッチするとiPodオーディオモード画面へ切り替わります。

■リスト表示からビデオを選択する(ビデオ)

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

項目/ビデオリストが表示されます。

2. 再生したい項目をタッチします

選択した項目のビデオリストが表示されます。

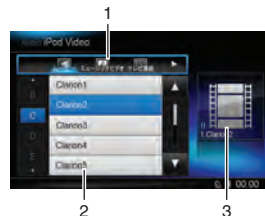
MEMO

再生したい項目がない場合は、右側の[▶]をタッチして項目を切り替えます。

3. 再生したいビデオをタッチします

選択したビデオの再生が開始されます。

MEMO

- 再生したいビデオが表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。
- 前の階層に戻るには、左上のキーをタッチし、項目切替エリアを表示します。
- 左上に表示されるキーは、現在選択中の項目です。

1. 項目切替エリア

 ムービー、ミュージックビデオ、テレビ番組、ビデオPodcast、レンタルムービーにリストを切り替えられます。

2. リストエリア
3. アートワーク

 再生中のビデオのアートワークが表示されます。

■シンプルコントロールモード(オーディオ)

シンプルコントロールモードにすると、iPod側で簡易的な操作が可能となります。

シンプルコントロールモードでiPodオーディオを操作する手順は以下のとおりです。

1. iPodモード画面の[^] キーをタッチします

設定画面が表示されます。

2. [シンプルコントロール] キーをタッチします

シンプルコントロールモードになります。

3. [iPod Audio] キーをタッチします

iPodオーディオのシンプルコントロールモードとなり、音楽の再生を始めます。

■シンプルコントロールモード(ビデオ)

シンプルコントロールモードにすると、iPod側で簡易的な操作が可能となります。

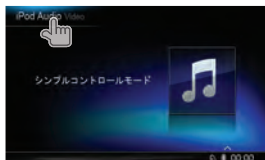
シンプルコントロールモードでiPodビデオを操作する手順は以下のとおりです。

1. iPodモード画面の[^] キーをタッチします

設定画面が表示されます。

2. [シンプルコントロール] キーをタッチします

シンプルコントロールモードになります。

3. [iPod Video] キーをタッチします。

iPodビデオモードとなり、ビデオの再生を始めます。

MEMO

iPodで[**iPod Video settings TV Out**]を「On」に設定します。

Bluetoothを使う

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。

本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。

Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録(ペアリング)する必要があります。

Bluetooth使用上の注意事項

Bluetoothのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」(6ページ)、「使用上のご注意」(8ページ)および本書内に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。

MEMO

- 空気の流出口やエアコンなどの風が当たる場所にBluetoothのハンズフリーマイクを設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 直射日光があたる場所や高温になる場所に設置すると、歪みや退色が起こり、故障する場合があります。
- 本機は、一部のBluetoothオーディオプレーヤーでは正しく操作できない場合があります。
- クラリオンでは、本機と携帯電話との互換性については保証いたしかねます。

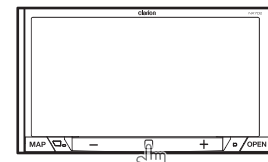
携帯電話を登録する(ペアリング)

はじめてBluetooth対応携帯電話を利用するときは、本機に登録(ペアリング)する必要があります。以下の手順でペアリングしてから操作してください。

1. 設定画面のBluetooth項目(56ページ)で本機のBluetooth機能をオンにします

MEMO

ペアリングは電話モード時のみ行えます。

2. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

3. [電話] アイコンをタッチします

電話モードになります。

4. 携帯電話のBluetooth機能をオンにします

5. 携帯電話をBluetooth設定メニューにします

新しいBluetoothデバイスを検索します。

外部機器の操作

6. 携帯電話のペアリングリストから、NX702を選択します

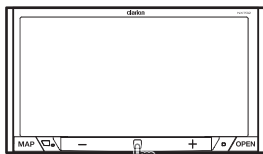
ペアリングが成功すると、画面の右下のインジケータ（ ）が青色に変わります。

MEMO

- 携帯電話の機種によっては、パスコードの入力が必要になります。その場合は、パスコードキーを入力します。
- また機種によっては、本機に入力したパスキーと携帯電話側のパスキーとが同一かを確認する画面が表示されます。その場合は、画面にしたがって操作してください。
- パスコードの初期設定は「0000」です
- ペアリング後、デバイス名、Bluetooth信号の強さ、バッテリー残量などの携帯デバイス情報が画面の右に表示されます。
- 本機では、最大3台まで登録することができます。

■登録した携帯電話を探す

Bluetoothデバイスを本機から検索できます。

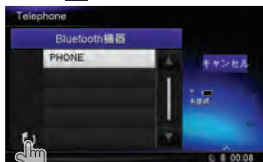
1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

2. [電話] アイコンをタッチします

電話モードになります。

3. 画面の右側にある[追加] キーをタッチします

本機でBluetoothデバイスが検索され、画面に一覧表示されます。

4. 目的のデバイスがリストにない場合は、画面の左下の[ ] キーをタッチして更新します

検索を停止するには、[キャンセル]をタッチします。

5. 画面のデバイス名をタッチし、パスキーコードを入力します

6. デバイスイメージを選択し、[決定] キーをタッチします

7. 本機と電話機にパスキーの確認画面が表示される場合は、番号が同じであることを確認し、[承認] キーをタッチします

ペアリングが確定します。

8. 接続に失敗した場合は、[再接続] キーをタッチして再接続するか、[キャンセル] キーをタッチしてリストメニューに戻ります

■接続する携帯電話を切り替える

MEMO

本機では、最大3台まで登録することができます。

1. 現在接続しているデバイスを[接続] キーをタッチし切断します

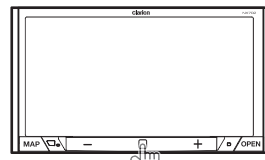
2. 選択したデバイスをタッチし、[接続] キーをタッチします

MEMO

[ ] キーをタッチすると、ペアリングされたデバイスをペアリングリストから削除できます。

電話メニューについて

Bluetooth接続した電話機をハンズフリー操作する画面です。次の手順で開きます。

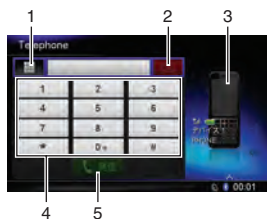
1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

2. [電話] アイコンをタッチします

電話モードになります。

Bluetooth接続した電話機のハンズフリー画面を表示します。

MEMO

[電話] アイコンが現在のメインメニュー画面にない場合は、画面下部の [–] キーをタッチするか、画面の中心を押したまま左右にフリップして他のページを表示させてください。

1. 履歴/電話帳表示キー
2. バックスペース（削除）キー
3. ペアリングデバイスリスト
4. 10キーパッド
5. 発信/終話キー
6. 操作バー開キー

7. 操作バー閉キー
8. 自動接続機能のオン/オフ切替キー

   自動接続は、接続が切断されたり、システムが再起動した場合に自動的に電話機への再接続を行う機能です。

   タッチするたびに[On]/[Off]を切り替えます。

   初期設定は[Off]です。
9. 自動応答機能のオン/オフ切替キー

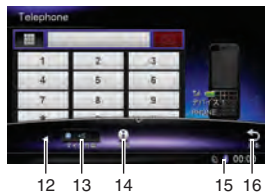
   自動応答は、着信の約5秒後に自動応答を行う機能です。

   タッチするたびに[On]/[Off]を切り替えます。

   初期設定は[Off]です。
10. パスコード設定キー
11. 内蔵マイクまたは外部マイクを選択する

    外部マイク（別売 PCB-175-500）を使用する際に[外部]に切り替えます。[外部]に切り替えた場合、内蔵マイクは使用できません。

    初期設定は[内部]（内蔵マイク）です。
12. 次のページを表示キー
13. 戻るキー

    メインの電話メニューへ戻る

14. 前のページを表示キー
15. マイク感度（ゲイン）の調整キー

    マイク入力レベルを10段階で調整できます。

    [マイク音量]の[＋]または[－]キーをタッチして入力レベルを調整します。

    初期設定は[5]です。

    マイクの入力レベルは周囲環境の影響を受けることがあります。通話相手の受話に問題がある場合は入力レベルを調整してください。
16. Bluetooth情報を表示キー
17. Bluetoothインジケータ
18. 戻るキー
19. メインの電話メニューへ戻る

携帯電話を使う

■発信する

・番号をダイヤルする

⚠注意

走行中、運転者は電話をかけないでください。電話をかける場合は、車を安全な場所に停車してから行ってください。

1. 画面の10キーを使って番号を入力します

2. [発信] キーをタッチします

   ダイヤルされます。

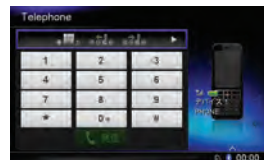
MEMO

入力を間違えた場合は、[ ] キーをタッチすると文字が削除されます。

3. [終話] キーをタッチします

   通話が終了します。

■発信/着信/不在着信履歴から発信する

発信/不在/着信履歴を検索できます。

1. [履歴表示] キーをタッチします

   電話番号入力、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、電話帳が表示されます。

2. いずれかの履歴をタッチします

   選択した履歴リストが表示されます。

3. ダイヤルしたい相手先を選択して [発信] キーをタッチします

   ダイヤルされます。

   • [戻る] キー をタッチすると前のメニューに戻ります。

■電話帳から発信する

電話帳の連絡先の名前を検索して発信できます。

1. [電話履歴表示] キーをタッチし、[電話帳] を選択します

   最初に電話帳を同期する際、数分かかることがあります。

   選択した名称に登録されている電話番号が表示されます。

2. 番号を選択して [発信] キーをタッチします

   ダイヤルされます。

   [ ] キーをタッチすると前のメニューに戻ります。

MEMO

一部の携帯電話からは、電話帳データを転送できない場合があります。その場合は、クラリオンのホームページをご覧ください。

■着信に応答する

1. [発信] キーをタッチします

   着信に応答できます。

2. [終話] キーをタッチします

   着信を拒否できます。

Bluetoothオーディオを再生する

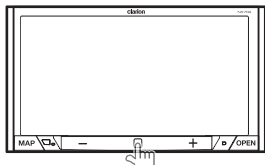
■オーディオストリーミングの操作

• オーディオストリーミングとは

オーディオストリーミングとは、安定した、かつ連続した流れで処理できるようにオーディオデータを転送する技術です。外部のオーディオプレーヤーからカーステレオにワイヤレスで音楽をストリーミングし、車のスピーカーで曲を聴くことができます。

MEMO

• オーディオストリーミングの操作を行うには、ペアリングが必要です。
• ペアリングについては、「携帯電話を登録する（ペアリング）」(49ページ)をご覧ください。

1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

2. [Bluetooth Audio] アイコンをタッチします

Bluetoothオーディオモードになります。

MEMO

• オーディオストリーミング中に、接続済みの携帯電話を操作しないでください。曲の再生中にノイズが発生したり、音が途切れたりすることがあります。
• オーディオストリーミングは、電話の割り込み後に再開することもあり、しないこともあります。これは、携帯電話によって異なります。

Bluetoothオーディオメニューについて

画面右下の操作バー開キー（ ）をタッチすると操作バーのBluetoothオーディオメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。

1. Title
2. Artist
3. Album
4. プレイ/ポーズキー
5. 前のトラック/早戻しキー

   タッチ：前のトラック
   タッチし続ける：早戻し
6. 停止キー
7. 操作バー閉キー
8. 次のトラック/早送りキー

   タッチ：次のトラック
   タッチし続ける：早送し

Bluetoothオーディオメニューを使う

Bluetoothオーディオメニューの操作方法について説明します。

■再生/一時停止する

1. [再生中に一時停止する場合は、[II] キーをタッチします
2. 再生を再開する場合は、[▶] キーをタッチします

■前の/次のトラックを切り替える

再生中に[▶▶I]または[I◀◀] キーをタッチすると前の/次のトラックから再生を開始します。

1. [▶▶I] キーをタッチします

   次のトラックの先頭に移動します。

2. [I◀◀] キーをタッチします

   現在のトラックの先頭に移動します。

   もう一度[I◀◀] キーをタッチすると前のトラックの先頭から再生が開始します。

■再生を停止する

1. [■] キーをタッチすると再生が停止します

MEMO

• 再生の順番は、Bluetoothオーディオプレーヤーによって異なります。[▶▶I] キーをタッチすると、再生された時間によっては、一部のA2DPデバイスでは現在のトラックをもう1度再生しなおします。
• 一部のBluetoothオーディオプレーヤーでは、本機と再生/停止を同期できないことがあります。デバイスとメインユニットが、Bluetoothオーディオモードで同じ再生/停止ステータスであることを確認してください。

AUX・リアモニターを使う

AUXを使う

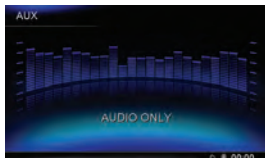
ゲーム、ビデオカメラ、iPod/iPhoneなどの外部機器を、本機のAUX入力端子に接続することができます。

■AUX IN / AV INモードに切り替える

1. メインメニュー画面の[AUX] アイコンをタッチします

   AUX IN/AV INモードに切り替わり、外部機器の映像と音声が出ます。

MEMO

外部機器がオーディオだけ、または走行中の場合は,次の画面が表示されます。

2. メインメニュー画面に戻るには、操作パネルの[MENU■ALL] キーをタッチします

MEMO

- AUX入力端子に接続された外部機器を本機から操作することはできません。
- iPhone/iPodを別売のCCA-750-500ケーブルで接続している場合にはAUXは使用できません。

■画質を調整する

リモコン操作

画質調整は、リモコンで操作します。操作方法は以下のとおりです。

1. [PIC] ボタンを押します

   画質調整のポップアップ画面が表示されます。

2. [▶]または[◀]ボタンを押しディマーを調整します

3. [PIC] ボタンを押します

   調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

MEMO

- ディマー以外の「明るさ、コントラスト、色の濃さ」の画質調整をAUXモードでは行えません。
- ディマー以外の調整は、テレビモードへ移行し、「テレビの画質を調整する」(25ページ)の手順に従い行ってください。

リアモニターを使う(別売)

別売のリアモニターを本機のビデオ出力端子に接続すると、本機で再生した映像と同じ映像をリアモニターで見ることができます。接続方法は取付説明書を参照ください。

尚、SDカードの動画再生映像、テレビの映像はリアモニターで見ることはできません。

カメラを使う

リアカメラを使う(別売)

別売の後方確認カラーカメラを接続すると、車の後方をモニターで見られます。別売の後方確認カラーカメラは、ご購入店にご相談のうえ、お買い求めください。

⚠警告

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。

⚠注意

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。また、リアカメラの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります(ガイドは直線となります)。
- ガイドを表示する場合は、必ずお乗りのお車に合わせたガイドの調整を行ってください。
- リアカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

■リアカメラの映像について

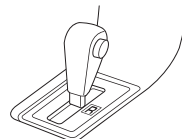
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間、または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
- カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

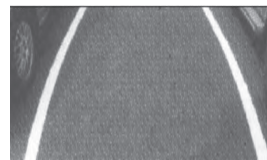
MEMO

有効なカメラが本機に接続されていない場合には、画面上に[ビデオ信号がありません]と表示されます。

■リアカメラの映像を表示する

1. エンジンをかける

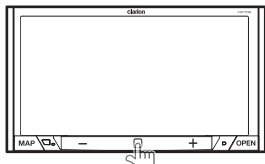
2. セレクトレバーをR(リバース)にする

リアカメラの映像に切り替わります。

オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。

MEMO

本機が起動直後などのときには、画面切り替わりに時間がかかることがあります。

設定画面

設定画面は、次の手順で開きます。

1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

メインメニュー画面が表示されます。

2. [Custorm] アイコンをタッチします

3. [設定] アイコンをタッチします

設定メニューが表示されます。

4. 画面左の「全般」、「時刻」、「サウンド」、「表示」、「設定」のカテゴリーをタッチし、それぞれの設定行います

5. 設定メニューを終了するには、画面の左下の [ ] キーをタッチします。

全般

■システム言語

[システム言語] 項目の右側のキーをタッチすると言語リスト（日本語・英語）が表示されます。目的の言語を選択して[決定] キーをタッチして確定するか、[キャンセル] キーをタッチして保存せずに終了します。

初期設定は[日本語]です。

■操作バーを閉じる

[自動] キーをタッチすると、操作バーが10秒後に自動的に閉じます。

[手動] キーをタッチすると、操作バーは画面の操作バー閉キー（ ）をタッチすると閉じます。

初期設定は[自動]です。

■メインメニューアイコン

[アクティブ] キーをタッチすると、メインメニューのアイコンがアニメーション表示になります。

[シンプル] キーをタッチすると、メインメニューのアイコンはシンプル表示になります。

初期設定は[アクティブ]です。

■壁紙

[壁紙] 項目右の [設定] キーをタッチすると、壁紙設定メニューが表示されます。

[◀]または[▶] キーをタッチしてSource/Customを選択します。

右側の画像ファイル名をタッチしてプレビュー表示し気に入れば、[設定] キーをタッチして設定を確定します。

画像をインポートするには、[読み込み] キーをタッチします。

SDカードから目的の画像を選択して[読み込み] キーをタッチします。または[キャンセル] キーをタッチして終了します。

MEMO

- SDカードの画像ファイルのみ読み込めます。
- 画像ファイルは、Root（直下）に入れてください。
- 画像ファイル形式は「JPEG」ですが、ファイルによっては読み込めない場合もあります。

■モニター角度

画面の[0] ～ [+6] キーをタッチして、モニターの角度を選択します。

初期設定は[0]です。

■操作音

[On]または[Off] キーをタッチすると、キーの操作音がオンまたはオフになります。

初期設定は[On]です。

■盗難防止イルミ

[On]または[Off] キーをタッチすると、LEDの点滅がオンまたはオフになります。

[On]にすると、ACCがオフのときに操作パネルの左上のLEDが点滅します。

初期設定は[Off]です。

■システム情報

[バージョン] キーをタッチすると、現在のシステムソフトウェアバージョンが表示されます。

OS、Bluetooth、MPEG、Application、MCUのバージョン確認ができます。

■出荷状態に戻す

[初期化] キーをタッチすると、工場出荷時の設定に戻ります。

時刻

■GPS時間同期

[On] キーをタッチすると、時刻をGPSと同期し、時刻の設定が無効になります。

初期設定は[On]です。

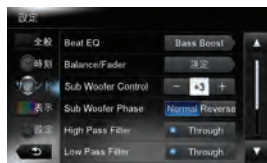
■時刻

[時刻] 項目の右のキーをタッチすると時刻設定メニューが表示されます。[▲] キーまたは[▼] キーをタッチして時間または分を選択します。[設定] キーをタッチして確定するか[戻る] キーをタッチして保存せずに終了します。

■24時間表示

[On] キーをタッチすると24時間表示形式が選択されます。[Off] キーをタッチすると12時間表示形式が選択されます。

初期設定は[On]です。

サウンド

■Beat EQ

[Beat EQ] 項目右のキーをタッチすると、EQ設定メニューが表示されます。[Bass Boost](低音を強調)、[Impact](低音と高音を強調)、[Excite](低音と高音をImpactよりさらに強調)、[Custom](音質をきめ細かく設定します)、[Off](オフ)から選択できます。

値を調整するには、画面の[－]または[＋] キーをタッチします。[戻る] キーをタッチして終了します。

初期設定は[Off]です。

■Balance/Fader(バランス/フェーダー)

[Balance/Fader] 項目右の [決定] キーをタッチすると、Balance/Fader設定メニューが表示されます。

[▲]または[▼] キーをタッチしてフェーダーを調整し、[◀]または[▶] キーをタッチしてバランスを調整します。

[Center] キーをタッチすると、値がリセットされます。[戻る] キーをタッチして終了します。

初期設定はBalance/Faderともに[0]です。

■Sub Woofer Control

[Sub Woofer Control] 項目右にある[－]または[＋] キーをタッチするとサブウーファーのレベルを調整できます。

初期設定は[+3]です。

■Sub Woofer Phase(サブウーファー位相)

サブウーファーの位相を[Normal]または[Reverse]から選択します。

初期設定は[Normal]です。

■High Pass Filter(ハイパスフィルター)

[High Pass Filter] 項目右にあるキーをタッチしてサブメニューを表示し、フィルターを[Through]、[62Hz]、[95Hz]または[135Hz]から選択します。または[キャンセル] キーをタッチして終了します。

初期設定は[Throuogh]です。

■Low Pass Filter(ローパスフィルター)

[Low pass filter] 項目右にあるキーをタッチしてサブメニューを表示し、フィルターを[Through]、[55Hz]、[85Hz]または[120Hz]から選択します。または[Cancel] キーをタッチして終了します。

初期設定は[Throuogh]です。

■AMP Cancel

アンプのオーディオ出力の[On]または[Off]を設定します。外部アンプを設定するときは、[On]にしてください。

初期設定は[Off]です。

■Line Out

ライン出力をサブウーファーもしくはリアスピーカーのどちらかに切り替えます。

[SW]:サブウーファー

[Rear]:リアスピーカー

初期設定は[SW]です。

■Magna Bass Ex(マグナベースEx)

[On] キーをタッチすると、ラウドネスがオンになります。

初期設定は[Off]です。

表示

■ディマーモード

[自動]、[昼]または[夜] キーをタッチして調光モードを選択します。

[自動]:調光は車のイルミネーションに連動し、[昼]または[夜]モードに切り替わります。

初期設定は[自動]です。

■ディマー

ディマーモードで[昼]または[夜]を選択すると設定できます。

調整は、[ディマー] 項目右にある[－]または[＋] キーをタッチし行います。

初期設定は[昼:+20]、[夜:+10]、[自動]です。

設定

画面の右にある [設定] キーをタッチすると設定リストが開きます。目的の項目の右にあるキーをタッチすると、調整またはサブメニューの表示ができます。[閉じる] キーをタッチしてリストを閉じます。

■AUX

- 入力感度

  AUXデバイスの入力感度を[低]、[中]または[高]から選択します。

  初期設定は[中]です。

■Bluetooth

- Bluetooth

  Bluetooth機能の[On]または[Off]を選択します。

  初期設定は[On]です。

- 電話音声出力

  電話モードでのスピーカーを[左]または[右]から選択します。

  初期設定は[右]です。

- トーン選択

  [自動] キーをタッチすると、お使いの携帯電話の着信音が使用されます。

  [内部] キーをタッチすると、本機にプリセットされている着信音が使用されます。

  初期設定は[自動]です。

MEMO

[自動]を選択しても携帯電話機によっては、[内部]の着信音が使用されることがあります。

- ソフトウェアアップデート

  ソフトウェアをアップデートします。

  通常は使用しません。

■カメラ

- カメラの割り込み

  [カメラの割り込み]の設定です。

  [On] キーをタッチすると、車のリバースギアを入れたときにリアカメラの映像へ自動的に切り替わります。

■DivX

- 認証コード

  購入したDivX動画ファイル再生のために必要な認証コードが表示されます。

- Deregistration

  一度登録した本機の登録を解除することができます。解除後は、10桁の登録解除コードが表示されます。

  登録解除に関して詳しくは、「http://vod.divx.com/」を参照してください。

■DVD

- メニューの言語

リストからメニューの言語(日本語、英語、フランス語、スペイン語)を選択します。

初期設定は[日本語]です。

- 音声言語

リストからオーディオの言語(日本語、英語、フランス語、スペイン語)を選択します。

初期設定は[日本語]です。

- 字幕言語

リストから字幕の言語を選択します。

初期設定は[日本語]です。

- パスワードの設定

パレンタルコントロールのパスワードを設定するには、[設定] キーをタッチ、DVDのパスワード設定の[設定] キーをタッチしてパスワード設定画面を表示します。数字をタッチして数値を入力し、[決定] キーをタッチします。[X] キーをタッチすると、入力された数字が削除されます。[戻る] キーをタッチして終了します。

初期設定は[0000]です。

- パレンタルコントロール

MEMO

視聴制限が設定されたディスクを再生するときにパスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合、正しいパスワードを入力しないと再生は開始されません。

パレンタルコントローのレベルを設定するには、[設定] キーをタッチ、DVDのパレンタルコントロールの[視聴制限レベル] キーをタッチしてパレンタルコントロール画面を表示します。パスワードを入力し、下表を参考に視聴年齢制限レベルを選択します。[決定] キーをタッチして確定するか、[戻る] キーをタッチして終了します。パレンタルレベルの制限内容は、国(カントリーコード)によって異なります。

Kid Safe	子ども向け
G	一般向け
PG	保護者の手引きが必要
PG-13	保護者の厳重な注意が必要
PG-R	保護者の制限が必要
R	保護者の同伴が必要
NC-17	17歳未満は鑑賞禁止
Adult	成人向け

■ナビゲーション

- ナビガイド割り込み

ナビゲーションの割り込みを、[On]、[ポップアップ]または[Off]から選択します。

- 誘導音声

[On]:音声ガイダンスの割り込み機能がオンになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオフ(音量は変りません)です。

[ミュート]:音声ガイダンスの割り込み機能がオンになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオン(音量がミュートされます)になります。

[Off]:音声ガイダンスの割り込み機能がオフになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオフ(音量は変りません)です。

初期設定は[On]です。

盗難防止

■盗難防止パスワード

盗難防止コードを設定できます。正常に設定した後は、バッテリー線を再接続した際に、盗難防止コードを入力しなくてはならなくなります。

1. [全般] キーを、ダイアログボックスがポップアップ表示されるまでタッチし続けます
2. [はい] キーをタッチします

   盗難防止のパーソナルパスワードが設定されます。
3. 4桁のコードを入力し、[決定] キーをタッチして確定します
4. 確認のためもう一度入力します
5. コードを解除するには、[全般] キーをタッチし続けます
6. パスワードの入力を求められたら、設定してあるパスワードを入力します

お願い

盗難防止パスワードは忘れないようにメモをしておいてください。正しいコードを入力しないと、本機を操作することができなくなります。

設定メニュー

故障かなと思ったら

次のような症状のときには故障でないことがあります。修理を依頼される前に対処方法にしたがい処置してください。それでも解決されない場合にはお買い求めの販売店にご相談ください。

■共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない。 音が出ない。	ヒューズが切れている。	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
	配線が正しくない。	取付説明書をご覧いただき正しく配線してください。お買い求めの販売店にご相談ください。
ボタンを押しても動作しない。またはディスプレイが正確に表示されない。	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している。	リセットボタンを細い棒などで押してください。 注意： * リセットボタンを押すと、電源がオフになります。 * リセットボタンを押すと、放送局の周波数、タイトルなどが消去されます。
リモコンが動作しない。	本機のリモコン受光部が直射日光にさらされている。	直射日光が当たらない場所で操作してください。直射日光の下ではリモコンの操作が適切に行えない場合があります。
	リモコンの電池が故障、電池の残量がない。	リモコンの電池を確認してください。 リモコンの電池が故障、電池の残量がないときは電池を交換してください。

■テレビ・ビデオ

症状	考えられる原因	対処方法
音声は出るが、映像が出ない。	パーキングブレーキがかかっていない。走行中は、安全のため映像は表示されません。	車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
	パーキングブレーキのリード線が接続されていない。	取付説明書をご覧いただき正しくリード線を接続してください。
画面が暗い。	明るさ調整が不適切。	明るさまたはディマーを調整してください。
	車両のライトが点灯している。	夜間は、画面を暗くして、眩しさを防いでいます。（昼間でも、車両のライトを点灯すると、画面は暗くなります）
「B-CASカードを確認してください」と表示される	B-CASカードが挿入されていない	B-CASカードをスロットに正しく（カチッと音がするまで）挿入してください。「mini B-CASカードのセット」(22ページ)
テレビが映らない。	テレビアンテナが正しく接続されていない。	テレビアンテナの取付説明書をご覧いただきテレビアンテナを正しく接続してください。
	チャンネル設定が地域に合ってない。	都道府県を越えて地域を移動したときは、チャンネルスキャンを行い、その地域に合ったチャンネルに設定してください。
画面に赤、緑、青の点がある。	--------------------	故障ではなく、液晶パネル特有の現象です。（液晶パネルは非常に精密度の高い技術で製造されておりますが、0.01以下の画素欠落、常時点灯がございます。）

■DVD・CDプレーヤー

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクが入らない。	本機の中にディスクが入っている。	すでに入っているディスクを取り出して、新しいディスクを入れてください。
	ディスク挿入口に異物が入っている。	異物を取り除いてください。それでもディスクが入らない時は、お買い求めの販売店にご相談ください 。
	輸送用固定ビスがついたままになっている。	輸送用固定ビスを外して下さい
音が出ない。	ディスクを裏表逆に入れている。	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
音とびする。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。「ディスクのお手入」(10ページ)をご覧ください。
	ディスクに大きい傷やソリがある。	傷やソリのないディスクに交換してください。
電源を入れた直後の音質が悪い。	本体内部のピックレンズに水滴が付いている	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
ビデオ映像が表示されない。	パーキングブレーキがかかっていない。走行中には、安全のため映像は表示されません。	車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
	パーキングブレーキのリード線が接続されていない。	取付説明書をご覧いただき正しくリード線を接続してください。
"PARENTAL VIOLATION"と表示されてディスクが再生できない。（表示するメッセージは、ディスクにより異なります。）	設定されたパレンタルレベルにより視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除してください。またはレベルを変更してください。 パレンタルコントロール(57ページ)をご覧ください。

■Bluetooth

症状	考えられる原因	対処方法
ペアリングができない。	デバイスが本機に必要なプロファイルをサポートしていない。	他のデバイスを接続してください。
	デバイスのBluetooth機能が有効になっていない。	デバイスの取扱説明書に記載された手順でBluetooth機能を有効にしてください。
	本機のBluetooth機能がOnになっていない。	本機のBluetoothをOnにしてください。「Bluetooth」(56ページ)をご覧ください。
Bluetooth対応デバイス接続後に音質が悪くなった。	マイク選択が正しく設定されていない。	マイク選択を使用するマイクに合わせて「内蔵」または「外部」に設定してください。「電話メニューについて」(50ページ)をご覧ください。
	Bluetooth通信の状態が悪い。	デバイスを本機の近くに移動するか、デバイスと本機の間の障害物を取り除いてください。

■ナビゲーション

症状	考えられる原因	対処方法
GPS受信の表示がでない。	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを接続してください。（取付説明書を参照してください）
	障害物などにより、GPS衛星の電波を受信できない。	障害物など※がなくなれば受信できます。 ※ 上空にある障害物、周辺の高いビルなど
	フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示されるようになります。
メニュー画面が表示されない。	パーキングブレーキがかかっていない。走行中は、安全のため、操作禁止キーは表示されません。	車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
地図画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
電源投入直後、画面が暗く見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合がある。	そのまま使用してください。バックライトが温まれば解消されます。
音声案内が出ない。	誘導音声が、「OFF」に設定されている。	誘導音声の設定を「ON」にしてください。「誘導音声」(57ページ)をご覧ください。

■リアカメラ

症状	考えられる原因	対処方法
カメラ映像が表示されない。	車両ギアがバックになっていない。	セレクトレバーがRの位置になっているか確認してください。
	カメラが正しく接続されていない。	取付説明書をご覧いただきカメラを正しく接続してください。
	バック信号の接続が間違っている。	取付説明書をご覧いただきバック信号を正しく接続してください。
カメラ映像の映りが悪い。	カメラのレンズが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。

■SDカード・USB・iPod/iPhone

症状	考えられる原因	対処方法
SDカード・USBデバイスが挿入できない。	SDカード・USBデバイスの挿入方向が間違っている。	SDカード・USBデバイスの向きを変えてもう一度挿入してください。
	USBデバイスのコネクターが破損している。	新しいUSBデバイスと交換してください。
SDカード・USBデバイスが認識されない。	SDカード・USBデバイスのコネクターの接続が悪い。	SDカード・USBデバイスを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、新しいSDカード・USBデバイスと交換してください。
	SDカード・USBデバイスが破損している。	
音が出ない。ファイルリストにファイルが表示されない。	USBデバイスにMP3/WMAファイルが保存されていない。	USBデバイスにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
音とびする。 ノイズなどが入る。	MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない。	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
iPod/iPhoneビデオが出ないまたは乱れる	iPod/iPhoneのTV出力がオンになっていない。	iPod/iPhoneのTV出力をオンにしてください。またTV信号はNTSCに設定してください。
	正しいケーブルで接続していない。	接続ケーブルCCA-750を使用して接続してください。

■その他

症状	考えられる原因	対処方法
読み込み中と表示される	ディスクを読み込めない。	そのまま、お待ち下さい。一部のディスクやストレージデバイスでは、数分かかることがあります。
画面が乱れる。	ノイズによる影響。	電気的ノイズを発生する電装品（携帯電話、無線機、マイナスイオン発生器など）は、本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ナビゲーション使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶バックライトの故障、ナビゲーション本体の誤動作。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンをかけ直してください。
		その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられますので、お買い求めの販売店、または弊社「お客様相談室」にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	SDカードの地図データ読み込みによる影響。	しばらく待ってから操作を行ってください。
「地図データが読めません（＊）」の画面が表示される。	地図SDカードが正しく挿入されていない。	同梱の地図SDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

エラー表示について

障害が発生したときは、以下のような表示がされます。対処方法にしたがって障害を取り除いてください。
解決方法が見つからない場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

エラー表示	考えられる原因	対処方法
読めません	ディスクが汚れていて、再生出来ない。	「ディスクのお手入れ」をご覧になり、柔らかい布などで、ディスクを拭いてください。
	ディスクを裏返しに入れ、再生出来ない	ディスクをイジェクトし、ラベル面を上にして、ディスクを入れ直してください。
	ディスクに傷などがあり、再生出来ない。	傷や、そりのないディスクと交換してください。
再生出来ないファイルです。	ディスクフォーマットが本機で対応していない。	フォーマットが対応されているディスクに変えてください。
	ビデオの圧縮形式や、解像度などの対応していないファイル。	本機で、対応している圧縮形式、解像度、ビットレートのファイルにしてください。
Region is incorrect	DVDディスクが本機のリージョンコードに対応していない。	本機のリージョンコードは、「2」です。 リージョン「2」または、「ALL」のディスクを入れてください。
Video frame rate not supported!	ビデオの圧縮形式や、ビットレートなどの対応していないファイル。	本機で、対応している圧縮形式、解像度、ビットレートのファイルにしてください。
Video resolution not supported!	ビデオの解像度が、本機で対応していない。	本機で、対応している圧縮形式、解像度のファイルにしてください。

上記以外のエラーが表示された場合は、リセットボタンを押してください。それでも問題が解決しない場合は、電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

※ リセットボタンを押すと、メモリーに記憶されているラジオ局の周波数やタイトルなどが消去されます。

盗難防止用暗証番号を忘れてしまったら

盗難防止用暗証番号を忘れてしまたときは、「暗証番号照会申込書」に必要事項を記入して、弊社「お客様相談室」宛に郵送してください。

「暗証番号照会申込書」は、弊社ホームページ（http://www.clarion.com）よりダウンロードしてプリントアウトするか、または弊社「お客様相談室」に請求してください。

暗証番号照会申込書

暗証番号照会申込書（AV ライトナビゲーション）

電源遮断時から、次に使用する際の暗証番号を忘れてしまった場合は、本申込書に必要事項を記入の上、クラリオンお客様相談室宛に暗証番号照会の申し込みをしてください。

申込年月日　平成　　年　　月　　日

クラリオン株式会社　お客様相談室 行

1.　お客様の連絡先（暗証番号の通知・送付先になります。）

氏 名	フリガナ		
住 所	フリガナ 局留め等の住所表記では受け付けることはできません。 〒		
電話番号	－　－	FAX 番号	－　－

※　本人・所有確認のため電話連絡させていただく場合があります。

2.　商品情報

機種名および、購入先をご記入願います。

購入先で、☐ その他に☑をされたお客様は所有手段をご記入願います。

機種名	（例）NX501	製造番号	7桁の数字をご記入ください
購入先	☐ カー用品店　☐カーディーラー　☐ その他（　　）		

＜申し込み手順＞

①　上記、必要事項をご記入してください。

②　商品同梱の保証書をコピー、もしくは申請者の方が正規の所有者であることの証明書（購入・譲渡証明：善意の第三者証明）を添付願います。(必須事項となります)

③　本申込書・証明書類を同封の上、クラリオンお客様相談室宛に郵送又は、FAX にて送付してください。

送付先：
〒330-6030　埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2
ランド・アクシス・タワー　30階
クラリオン株式会社　お客様相談室　宛
FAX　:　048-601-3807

【個人情報保護に関して】

本申込書に記入していただいた個人情報は、ご提示した目的の範囲内で利用させていただき、外部への公表、不正アクセス、紛失、漏洩、改竄、窃取、がないよう適切にセキュリティ管理いたします。

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

本機内のデータ消去について

本機を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、以下に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)してください。

■著作権保護のために…

メモリー内に保存された画像データなどを、以下に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡(有償および無償)・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。

※ 弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去(初期化)する(ナビゲーション)

1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

   メインメニュー画面が表示されます。

2. [ナビゲーション] アイコンをタッチします

   ナビゲーション画面が表示されます。

3. [MENU] ▶ [メインメニュー]の順にタッチします

   メインメニュー画面が表示されます。

4. [設定] アイコン ▶ [環境設定] アイコンの順にタッチします

5. 設定初期化項目の[項目選択] キー、工場出荷状態に戻す項目の[実行] キーをタッチします。

   本機ナビゲーション部に保存された全データが消去されます。

データを消去(初期化)する(オーディオ)

1. [MENU■ALL] キーをタッチし続けます

   メインメニュー画面が表示されます。

2. [Custom] キー ▶ [設定] アイコンの順にタッチします

3. [全般] キー ▶ [出荷状態に戻す] キーの順にタッチします

   確認画面が表示されます。

4. [決定] キーをタッチします

   本機オーディオ部に保存された全データが消去されます。

MEMO

盗難防止機能が「ON」に設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。この場合は、設定した暗証番号を入力し、盗難防止機能を解除してから実行してください。

保証書とアフターサービス

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

保証書に記載の期間をご確認ください。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

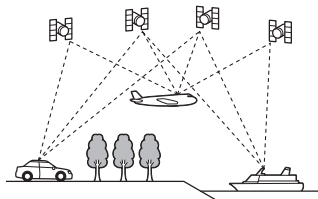
本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

■その他

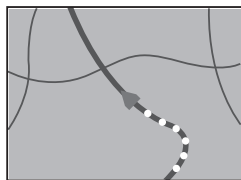
アフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口、あるいはお客様相談室へご相談ください。

ナビゲーションのしくみ

GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。

マップマッチング

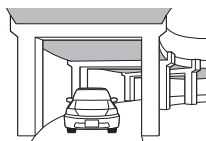
GPSによる測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

■マップマッチングしている場合

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

■GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場

2層構造の高速道路の下

高層ビルの群集地帯

密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  ※ GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

■GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できる衛星の数が少ないときは、2次元測位となり、誤差が大きくなります。

■その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。

- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。

- 蛇行運転をした場合。

- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。

- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

- ヘアピンカーブが続いた場合。

- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。

- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。

- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。

- ループ橋などを通った場合。

- 地図情報にはない新設道路を走った場合。

- 碁盤の目状の道路を走った場合。

- 工場などの施設内の道路を移動中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

仕様

■FMチューナー部

受信周波数 : 76 MHz ～ 90 MHz

実用感度 : 13 dBf

■AMチューナー部

受信周波数 : 522 kHz ～ 1629 kHz

実用感度 : 30 dBµV

■デジタルTVチューナー部

ISDB-T方式、12セグ／ワンセグチューナー
2入力ダイバーシティ･アンテナ（電圧重畳　DC5V）

受信チャンネル : UHF13 ～ 62 ch

■DVD/CDプレーヤー部

周波数特性 : 20 Hz ～ 20 kHz

SN比 : 90 dBA (Line Out)

高調波歪み率 : 0.1 %

■モニター部

画面サイズ : 7型　ワイドタイプ

画素数 : 1,152,000

解像度 : 800 × 480 × 3 (RGB)

表示方式 : 透過型TN液晶

駆動方式 : TFTアクティブマトリクス

■MP3

ビットレート : 32 kbps ～ 320 kbps

サンプリングレート : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

■WMA

ビットレート : 32 kbps ～ 320 kbps

サンプリングレート : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

■SDカード部

カード規格 : Standard SD/SDHC

File system : FAT,FAT16,FAT32

再生可能オーディオフォーマット :

MP3 (.mp3) : MPEG1/2/Audio layer-3
WMA (.wma) : Ver 7/8/9.1/9.2

再生可能ビデオフォーマット :

MP4, MPG/MPEG, 3GP

解像度 : 480 × 272

■USB部

規格 : USB 1.1/2.0

再生可能オーディオフォーマット:

MP3 (.mp3) : MPEG1/2/Audio Layer-3
WMA (.wma) : Ver 7/8/9.1/9.2

再生可能ビデオフォーマット :

AVI, MP4, MPG/MPEG, DivX

解像度 : 720 × 480

■Bluetooth

規格 : Bluetooth Ver 2.0+EDR

プロファイル :

HFP1.5（Hands Free Profile）
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
AVRCP1.0, 1.3, 1.4（AV Remote Control Profile）
PBAP1.0（Phone Book Access Profile）

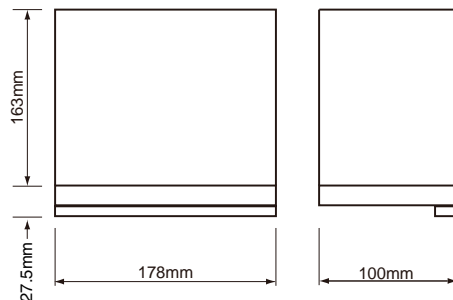
電波強度クラス : Class2

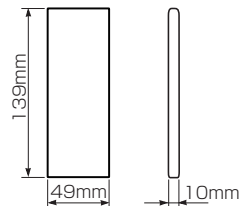
■AUX入力

オーディオ入力電圧 : ≤ 2 Vrms

ビデオ入力電圧 : 1.0 Vp-p@75Ω

オーディオ入力感度（1.0V出力時）:

High : 325 mVrms
Mid : 650 mVrms
Low : 1.3 Vrms

本体外形寸法 : 178(w) x 100 (h) x 163 (D) mm

本体質量 : 2.5 kg

リモコン 外形寸法 : 49(w) x 10 (h) x 139 (D) mm

リモコン 質量 : 50 g(電池を含む)

■オーディオ部

定格出力 : 23 W (10 %、4 Ω)

適合インピーダンス : 4 Ω

■共通

電源電圧 : DC 14.4 V (10.8 V ～ 15.6 V 許容電圧範囲)

接地方式 : マイナス接地

消費電流 : 約 4 A (1 W時)

Autoアンテナ定格電流 : 300 mA

※ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

商標について

● 本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作物保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、Rovi Corporationの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

● DVD VIDEOはDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

● DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

プレミアムコンテンツを含むDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®(DivX認証)取得済み。次の1つ以上の米国特許により保護されています:7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

DIVXビデオについて:
DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®(DivX認証)デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて:
DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、このDivX Certified®(Di vX認証) デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

● ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY DIGITAL

● Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc.の所有物であり、クラリオン(株)は許可を受けて使用しています。その他の商標および商標名は、各権利者に帰属します。

Bluetooth®

●「SDHCメモリーカード」「SDメモリーカード」「miniSD™」「microSD™」はSDカードアソシエーションの登録商標です。

● Microsoft、WindowsおよびWindows XP ／ Windows Vista ／ Windows 7は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

● “Made for iPod,” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
iPhone and iPod are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Made for iPod iPhone

memo

付録(その他)

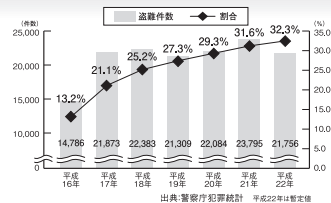
memo

カーナビゲーションを購入された皆様に伝えたいことがあります

今カーナビが危ない！

全国で24分に1台のカーナビが盗難被害に遭っています。

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合

出典：警察庁犯罪統計　平成22年は暫定値

製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。

盗難被害に遭わないように、防犯対策に気を付けましょう。

- 車内に貴重品を置きっぱなしにしない
  - 貴重品を置きっぱなしにしないで！
- 車から離れるときは必ずキーを抜いてドアロック
  - キーを抜いてドアロック！
- バンパー裏にスペアキーを隠さない
  - は、ダメ！
- 明るく見通しのよい駐車場に停める
  - 明るく見通しのよい駐車場に！

問い合わせ先　ユーザ登録に関するお問い合わせは、お買い上げになられた製品のメーカ宛にお願い致します。

警察庁・社団法人電子情報技術産業協会・社団法人日本損害保険協会

クラリオン株式会社
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心７番地２
Clarion ホームページ **http://www.clarion.com**

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル **0120-112-140**
（土・日・祝・祭日を除く 9:30〜12:00、13:00〜17:00）

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	 TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

TX-1138A
Printed in China 2012/10

ナビゲーション操作ガイド

NX702

ワイド7型VGA 地上デジタルTV/DVD/SD
AVライトナビゲーション

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に
必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、
後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

このたびはお買い求めいただき
ありがとうございます

ナビゲーションシステムについて

GPSナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS（Global Positioning System：全地球測位システム）によって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。

本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。

ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。

なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため（変更の場合を含めて）、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。

その際は、恐れ入りますが実際の道路標識などにしたがっていただきますようにお願い申し上げます。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

●取扱説明書

・主にオーディオ／ビジュアルの操作について説明しています。

●ナビゲーション操作ガイド：本書

・ナビゲーション操作について説明しています。

●本機取付説明書

・お買い求め後、本機を車に取り付ける方がお読みください。

●TVアンテナ取付説明書

・お買い求め後、TVアンテナを車に取り付ける方がお読みください。

※ 本機に接続される機器（ユニット）ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

・取扱説明書は、弊社Webサイトからもご覧いただけます。
http://www.clarion.com/

・仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

目次

基本操作

基本の使い方

いろいろな使い方

設定

その他

ナビゲーションの起動

ナビゲーションを起動します。

ナビゲーションを起動する

ナビゲーションを起動します。

1 本体メニューの【ナビゲーション】をタッチする

※ 前回の本体終了時にナビゲーションを利用していた場合は、本体起動時に自動的にナビゲーションが起動します。

2 警告画面の【OK】をタッチする

ナビゲーションの現在地画面が表示されます。

・ 確認画面が表示されてから一定時間が経過すると、自動的に【OK】をタッチしたものとして扱われます。

※ 前回のナビゲーション終了時にルート案内中だった場合は、自動的に前回のルート案内が再開されます。

現在地表示と GPS

本ナビゲーションシステムでは、GPSによって現在地の特定を行っています。

GPSについて

GPS[グローバル・ポジショニング・システム（Global Positioning System）]は人工衛星からの電波を受信して、位置を特定(=測位)するシステムです。

上空からの電波を受信する必要がある為、以下のような条件により、位置の特定ができなかったり、位置特定に影響を及ぼすことがあります。

・ トンネルや建物内などの屋内
・ 山などの地形
・ 高層ビルなどの高い建物で囲まれた場所
・ 電波塔や、その他の電波の影響が強い個所
　など

※ 電波の受信状況は、【GPS・方位】に表示されます。(⇒P.8)

起動時の自車位置について

ナビゲーションの起動から現在地の測位に至るまで、周囲の環境や電波の状態、また電源状態によって、数分～数十分程度の時間がかかる場合があります。

ナビゲーションを起動したとき、始めに表示される現在地は、前回ナビゲーションをご利用頂いたときにGPS測位を行った最後の地点となります。GPS測位開始後は、受信状況に応じた位置が表示されるようになります。

※ 初回起動時は東京都庁前付近に設定されています。
※ 突然電源が落ちてしまった場合などは、始めに表示される現在地が異なる位置になることがあります。

トンネルモードについて

トンネルモードとは、GPS信号が届かない場所で、ある条件のもと自車位置を進める補助的な機能です。表示される自車位置と実際の走行状態とが違うことをあらかじめご了承のうえ、使用してください。

以下の条件が全て満たされた場合に、効果音でトンネルモードの開始をお知らせします。

・ GPSの受信状況が受信状態から圏外になった。
・ 自車位置が道路上にある。
・ GPS信号が圏外になる直前の速度が、一定の範囲内にある。

※ GPS信号や自車位置の状態によってはトンネルモードが開始されないことがあります。

トンネルモード中は、以下のような動作となります。

- GPS信号が圏外になる直前の速度を参考にして、自車位置を走行中の道路に沿って一定の時間進める。
- GPS・方位ボタンは「トンネルモード中」を表示する。(⇒P.77)
- 自車位置アイコンを点滅表示する。
- 案内中の情報は更新されない。(一部を除く音声案内も行わない。)

以下のいずれかの条件が満たされた場合、効果音でトンネルモードの終了をお知らせします。

- GPS信号を再度受信した場合
- 一定の時間が経過した場合
- 自車位置が分岐地点にさしかかった場合
- 設定した目的地に到着した場合
- ルートを新規に設定、変更、削除した場合

トンネルモードが解除されるとGPS情報に基づいた動作を行います。

トンネルモードは、地図設定のトンネルモードから【する】【しない】の設定をすることができます。（⇒P.65)

※ 初期設定は【しない】です。

⚠ 注意

- 現在位置などは実際の走行と異なりますので、ご注意ください。
- GPSの受信状況が不安定な場合は、意図しない動作となる場合があります。
- トンネルモード中にルート探索した場合の出発地は、トンネルモードに切り替わる直前の自車位置となります。
- 目的地/経由地に実際に到着した場合でも、到着とみなされない場合があります。
- トンネルモード中は、お土産レコメンド、エリアおすすめスライドショー、観光地エリア侵入メッセージが表示されません。
- トンネルモード中は、走行軌跡が表示されません。また、走行軌跡も保存されません。
- GPSの受信状況によっては、操作制限されません。
- 操作制限については「安全運転への配慮について」(⇒P.7)を参照してください。

安全運転への配慮について

安全運転への配慮から、ナビゲーションは車を停止させていないと、一部の操作ができないようになっています。

操作が制限される条件は、パーキングブレーキを解除し、かつ一定の走行速度以上である場合です。

操作制限中においても、操作可能な機能は以下のとおりです。

画面	機能
メインメニュー画面	【自宅】、【ルート】、【現在地】、【BACK】が使用できます。
ルートメニュー画面	【ルート消去】が使用できます。
現在地画面	地図スクロール、【GPS/方位】、【地図縮尺変更】、【画面切替】、【MENU】→【メインメニュー】が使用できます。
地図スクロール画面	現在地画面の内容に加え、【MENU】→【目的地に設定する】が使用できます。
案内画面	地図スクロール、【GPS/方位】、【地図縮尺変更】、【画面切替】、【MENU】→【メインメニュー】、【施設送り】が使用できます。
ルート候補画面	地図スクロール、【地図縮尺変更】、【現在地】、【BACK】、【案内開始】が使用できます。
その他	「走行中の操作は行えません。」というメッセージが表示されます。【OK】をタッチすると、現在地画面が表示されます。

現在地画面の見かた

現在地画面では、自車位置（＝現在、自分の車が存在する位置）および自車位置周辺の地図や状況が表示されます。ナビゲーションが起動すると、この画面が表示されます。
※ アイコンや道路など、表示情報の凡例に関しては、「要素一覧」(⇒P.77)を参照してください。
※ 前回のルート案内を続けるときは、ルート案内画面が表示されます。
※ 前回正常終了時の地図の表示縮尺で表示されます。
※ GPSの受信ができないときは、前回終了時の地点が表示されます。

番号	名称	内容
①	時計	・ GPS信号から受信した現在時刻を表示します。
②	GPS・方位	・ 地図方位と現在の測位に関する情報を表示します。 ・ タッチすると地図の表示を「ヘディングアップ」「ノースアップ」のいずれかに切り替えます。 ・ 測位に関するアイコンは、主にGPS信号の強さや圏外を表し、測位機能のOFF、トンネルモード、ルートデモ中などの状態も表示します。 ・ 各アイコン種別とその内容については、「要素一覧」(⇒P.77)を参照してください。 ・ ヘディングアップ 進行方向が常に上にくるように地図を回転して表示します。 ・ ノースアップ 北の方角が常に上にくるように自車位置を回転して表示します。
③	表示縮尺	・ 現在表示されている地図の縮尺を表示します。縮尺は「10m～200km」の14段階から選択できます。「地図の縮尺を変える」(⇒P.9) ・ タッチすると縮尺変更を行う為の【+】【−】を表示します。再度【表示縮尺】をタッチすると【+】【−】を非表示にします。 ※【+】【−】は操作を行わずに一定時間が経過すると、自動で非表示となります。

番号	名称	内容
④	MENU	タッチすると、現在地画面で選択可能なポップアップメニューを表示します。ポップアップメニューは、一時的に表示されるメニューで、状況に応じてメニューの内容が変わります。 基本的に表示されるMENU メイン メニュー / 今いる 観光エリア / 周辺施設 / 地点登録 【メインメニュー】 ：メインメニューを表示します。(⇒P.12) 【今いる観光エリア】：現在地の観光エリア情報画面を表示します。(⇒P.46) 【周辺施設】 ：現在地の周囲の施設を検索します。(⇒P.35) 【地点登録】 ：現在地を地点登録します。(⇒P.49)
⑤	ステータスバー	・ 現在位置の情報を、「道路名称」「住所」「緯度経度」いずれかのアイコンと名称で表示します。 ・ 地図設定から表示設定を行うことができます。(⇒P.68) ・ 各アイコンの種別については、「要素一覧」(⇒P.77)を参照してください。 ※ 表示される優先順位は　1：道路名称　2：住所　3：緯度経度　となります。
⑥	画面切替	・ タッチすると「お土産レコメンド」(⇒P.59)表示します。続けてタッチすると「エリアおすすめスライドショー」(⇒P.60)を表示します。 ・ 表示の設定については、「お土産レコメンドを設定する」(⇒P.72)「エリアおすすめスライドショーを設定する」(⇒P.72)を参照してください。 ※ 表示する情報が無い場合、【画面切替】は表示されません。
⑦	自車位置	自車の現在地を表示します。
⑧	ぬけみち表示	・ ぬけみちを青色点滅で表示します。地図の縮尺が「10～200m」のときに表示され、市街図では表示されません。 ・ ぬけみち表示の設定については、「ぬけみちの表示を設定する」(⇒P.64)を参照してください。 ・ 地図上の道路・鉄道の表示については、「要素一覧」(⇒P.77)を参照してください。 ※ ぬけみちとは、近隣の主要道路が渋滞している場合でも、比較的スムーズに流れる道路を示す情報です。
⑨	地図	・ 全国の地図を表示します。地図の配色は、GPS信号から取得した時刻を基に、「昼」、「夜」の切り替えを自動で行います。 ・ 「昼」、「夜」に表示する地図の設定については「地図カラーを設定する」(⇒P.62)を参照してください。

地図の基本操作

地図をスクロールしたり、地図の縮尺を変えたりすることができます。

地図をスクロールする

地図をスクロールし、現在地以外の場所を地図で確認することができます。

1 地図をタッチしたまま移動する

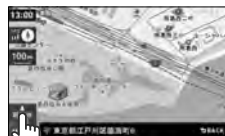
画面にタッチしたまま指を動かすと、地図を動かすことができます。地図の中心にカーソルが表示され、カーソルがある場所の「住所名称」か「緯度経度」がステータスバーに表示されます。

※ 地図を動かしている間は、中心カーソルがオレンジ色で表示されます。
※ スクロール中はステータスバーに「道路名称」は表示されません。ステータスバーについての詳細は「現在地画面の見かた」(⇒P.8)を参照してください。

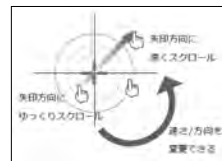
2 【現在地】をタッチして現在地画面に戻る

画面左下に表示される【現在地】をタッチすると現在地画面へ戻ります。

メモ

・ スクロールした場所で【MENU】をタッチすると、地図スクロール画面で選択可能なポップアップメニューが表示されます。

メモ

・ 地図をタッチすると、タッチした場所を中心にして地図を表示することができます。

・ 地図を1秒以上タッチし続けると、連続スクロールを行うことができます。
・ 連続スクロールは、地図をタッチし続ける間継続され、方向と速さは、指を動かすことで変更できます。
・ 画面から指を離すとスクロールは止まります。
・ スクロールの方向は、中心カーソルからタッチしている位置の方向になります。スクロールの速さは、中心カーソルから遠い位置では速く、近い位置ではゆっくりになります。

地図の縮尺を変える

「10m～200km」の範囲で地図の縮尺を変えることができます。

1 【表示縮尺】をタッチし、【+】【−】を表示する

もう一度【表示縮尺】をタッチすると【+】【−】は消えます。

※ 一定時間が経過すると、【+】【−】は自動で消えます。
※ ナビゲーション起動時は、前回の縮尺で表示されますが、突然電源が落ちてしまった場合など、ナビゲーションが正しく終了しなかった場合は、前回の縮尺で表示されない場合があります。

2 【+】【−】をタッチして縮尺を変える

【+】をタッチすると拡大されます。

【−】をタッチすると縮小されます。

メモ

・ 縮尺は以下の14段階で切り替わります。

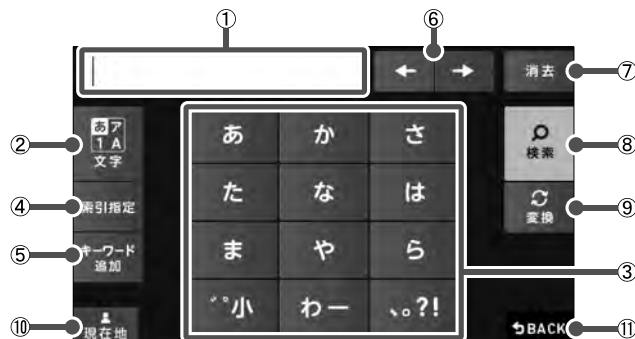
10m	25m	50m	100m	200m	500m	1.0km
2.5km	5.0km	10km	20km	50km	100km	200km

メモ

・ ルート案内中に高速道に乗ったときは「200m」の縮尺に、高速道から降りたときは「50m」の縮尺に自動的に切り替わります。詳細は「誘導時縮尺を設定する」(⇒P.70)を参照してください。

文字入力画面の見かた

各種検索のワード入力や登録地点の編集などで、名称を入力する際に表示される画面です。

※「50音検索」(⇒P.36)の際には、50音入力モードを利用して入力を行います。

【ひらがな入力モード】

【カタカナ入力モード】

【英文字入力モード】

【数字入力モード】

【50音入力モード】

番号	名称	内容
①	文字入力エリア	キーボード入力された文字を表示します。
②	文字入力切替	タッチすると、キーボードを「ひらがな」→「カタカナ」→「英文字」→「数字」の順に切り替えます。

番号	名称	内容
③	キーボード	文字入力切替で選択しているモードに合わせたキーボードを表示します。 各ボタンをタッチする度に、入力文字が「あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ」と切り替わります。 ※【゛゜小】【小】をタッチすると、入力した文字を、濁点･半濁点付、小文字･大文字に変更することができます。
④	索引指定	フリーワード検索(⇒P.27)にて、入力したワードに対して索引を指定します。 ※ 指定をしない場合は「おまかせ」となります。
⑤	キーワード追加	フリーワード検索(⇒P.27)にて、キーワードを追加することができます。 ※ キーワード追加されると、文字入力エリアに「&」が表示されます。
⑥	入力位置変更	文字入力エリアのカーソル位置を左右に移動します。 ※ 長押しすると、連続的にカーソルを移動させることができます。
⑦	1文字消去	カーソル部分の文字を1文字消去します。 ※ 長押しすると、連続的に文字消去することができます。
⑧	確定/検索	かな入力時の文字変換を確定させたり、検索を開始させたりします。
⑨	変換	入力したひらがなを漢字変換します。
⑩	現在地	現在地画面を表示します。(⇒P.8)
⑪	BACK	現在の画面から、ひとつ手前の画面へ移動します。
⑫	候補件数	50音入力モードでの入力時に、絞り込まれた候補の件数を表示します。

メモ

・ 各種、入力を行うシーンにおいて、利用しないボタンは非表示となります。

文字を入力する

キーボードを操作して、文字を入力します。

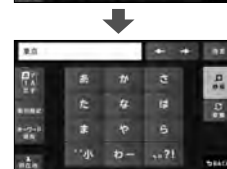
例:「東京タワー」と入力する

1 キーボードをタッチし、「とうきょう」と入力して、【変換】【確定】をタッチして「東京」を入力する

【→】をタッチすると、カーソル位置を移動することができます。

・【た】を5回タッチすると、入力文字が「た」→「ち」→「つ」→「て」→「と」と変化します。
・【よ】をタッチし、【小】をタッチすると、「ょ」が入力されます。

メモ

・【や】を6回タッチして、「や」→「ゆ」→「よ」→「ゃ」→「ゅ」→「ょ」と切り替えることでも、小文字入力となります。

2 【文字入力切替】をタッチし、キーボードを「カタカナ入力モード」にする

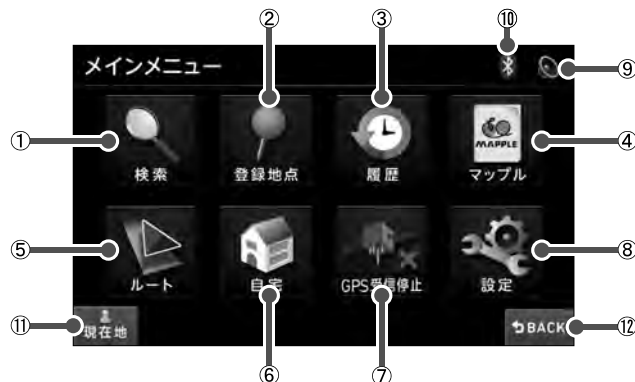
キーボードがカタカナ表記に切り替わり、「カタカナ入力モード」となります。

3 キーボードをタッチし、「タワー」と入力して、【確定】をタッチする

メニュー画面

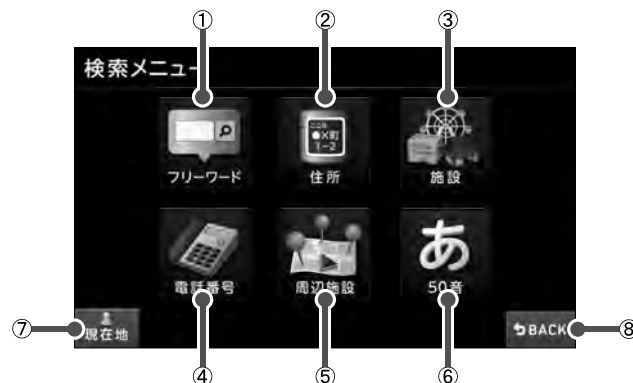
メインメニュー画面には、目的地の設定、ルートの編集、地図の表示設定など、ナビゲーションに関して操作できる機能がメニューとして表示されます。メインメニュー画面から各メニューを選択し、様々な操作を行うことができます。

メインメニュー画面の見かた

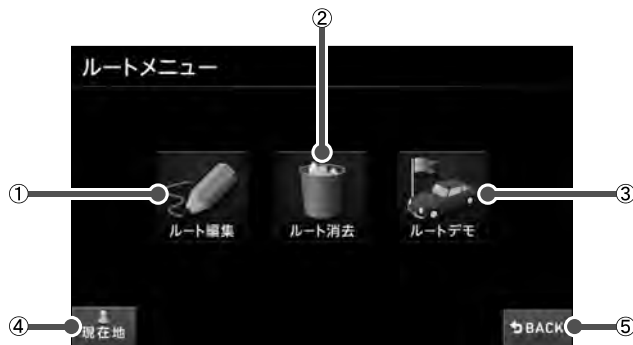
【MENU】から【メインメニュー】をタッチすると表示される画面です（⇒P.8)。この画面からメニューを選択し、目的地の検索、ルートの編集、地図画面の表示設定などの操作を行うことができます。

番号	名称	内容
①	検索	検索メニュー画面を表示します。 「フリーワード」「住所」「施設」「電話番号」「周辺施設」「50音」による検索が行えます。(⇒P.13)
②	登録地点	登録地点メニューを表示します。 登録した地点が選択できます。 ※ 登録した地点が存在しない場合はタッチできません。
③	履歴	履歴メニューを表示します。 過去に検索した地点やルート案内に利用した地点が選択できます。 ※ 履歴が存在しない場合はタッチできません。
④	MAPPLE	MAPPLEメニュー画面を表示します。(⇒P.39)

番号	名称	内容
⑤	ルート	ルートメニュー画面を表示します。 「ルート編集」「ルート消去」「ルートデモ」が利用できます。(⇒P.14) ※ ルートが設定されていない場合はタッチできません。
⑥	自宅	自宅へ帰るルートを設定します。(⇒P.22) ※ 自宅が登録されていない場合はタッチできません。
⑦	GPS受信開始／停止	GPSの受信開始/停止を選択します。 ※ GPS受信停止時は、自車位置を変更することができます。(⇒P.57) ※ 起動時は必ず「GPS受信」の状態で起動します。
⑧	設定	設定メニュー画面を表示します。 「地図設定」「案内設定」「環境設定」が利用できます。(⇒P.14)
⑨	音量	(X印赤色)：消音(MUTE)時に表示されます。 (灰色)：消音(MUTE)解除時に表示されます。
⑩	Bluetooth	(灰色)：Bluetooth機器が接続されていない時に表示されます。 (青色)：Bluetooth機器が接続されている時に表示されます。
⑪	現在地	現在地画面を表示します。(⇒P.8)
⑫	BACK	現在の画面から、ひとつ手前の画面へ移動します。

検索メニュー画面の見かた

「メインメニュー画面」から【検索】をタッチすると表示される画面です（⇒P.12)。この画面から、様々な検索方法を用いて場所を探すことができます。

番号	名称	内容
①	フリーワード	名称やキーワードを入力して施設を検索します。(⇒P.27)
②	住所	住所から場所を検索します。(⇒P.29)
③	施設	ジャンルから施設を検索します。(⇒P.30)
④	電話番号	電話番号を入力して施設を検索します。(⇒P.34)
⑤	周辺施設	現在の自車位置、もしくは地図スクロール画面のカーソル位置周辺の施設を検索します。(⇒P.35)
⑥	50音	名称やキーワードを50音で入力して施設を検索します。(⇒P.36)
⑦	現在地	現在地画面を表示します。(⇒P.8)
⑧	BACK	現在の画面から、ひとつ手前の画面へ移動します。

ルートメニュー画面の見かた

「メインメニュー画面」から【ルート】をタッチすると表示される画面です（⇒P.12）。
この画面から、ルートの編集、消去、および、ルートデモを行うことができます。

番号	名称	内容
①	ルート編集	目的地や経由地の順序変更や削除、ルート探索条件の変更を行います。(⇒P.55)
②	ルート消去	案内中のルートを削除します。(⇒P.55)
③	ルートデモ	案内中のルートのデモ走行を行います。(⇒P.56)
④	現在地	現在地画面を表示します。(⇒P.8)
⑤	BACK	現在の画面から、ひとつ手前の画面へ移動します。

設定メニュー画面の見かた

「メインメニュー画面」から【設定】をタッチすると表示される画面です。（⇒P.12）この画面から、地図の設定、ルート案内の設定、ナビゲーションシステムの環境設定などを行うことができます。

番号	名称	内容
①	地図設定	地図の色、方向など、地図についての設定確認/変更を行います。(⇒P.62)
②	案内設定	交差点拡大図の表示など、ルート案内についての設定確認/変更を行います。(⇒P.66)
③	環境設定	操作音ON/OFFの切り替え、ナビゲーションシステムについての設定確認/変更、および初期化を行います。(⇒P.74)
④	現在地	現在地画面を表示します。(⇒P.8)
⑤	BACK	現在の画面から、ひとつ手前の画面へ移動します。

ルート設定の流れ

各検索機能や地図から目的の施設や住所を検索し、目的地へのルート設定を行います。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】から【検索】をタッチする

メモ

・ MAPPLEメニューからでも、目的地を検索することができます。(⇒P.39)
・ 地図画面を操作することでも、目的地を指定することができます。(⇒P.20)

2 検索方法を選択して、目的地を検索する

以下の方法から、目的地の検索方法を選択します。

・ フリーワードから目的地を設定する(⇒P.27)
・ 住所から目的地を設定する(⇒P.29)
・ 施設から目的地を設定する(⇒P.30)
・ 電話番号から目的地を設定する(⇒P.34)
・ 周辺施設から目的地を設定する(⇒P.35)
・ 50音から目的地を設定する(⇒P.36)

3 【目的地に設定】をタッチする

現在地から検索した施設までのルートを探索します。

4 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内が始まります。

メモ

・【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
・【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

メモ

・ 検索した住所/施設/地図で表示した地点を、自宅やよく行く場所として登録しておくと、登録地点・履歴メニューの「登録地点」から、その場所へのルートを設定することができます。(⇒P.52)
・ 登録地点・履歴メニューの「履歴」から、過去に検索した場所/目的地に設定した場所を選択し、その場所へのルートを設定することもできます。(⇒P.38)

⚠ 注意

ルート探索を行った際、以下の条件によって、探索が失敗してしまうことがあります。

＜探索失敗の原因＞

・ 現在地⇔経由地⇔目的地のいずれかの区間距離が短距離となっている
・ 自車位置/経由地/目的地のいずれかの付近に経路対象となる道路が存在しない
・ 経由地/目的地までの道路が、規制等によって通行不可となっている

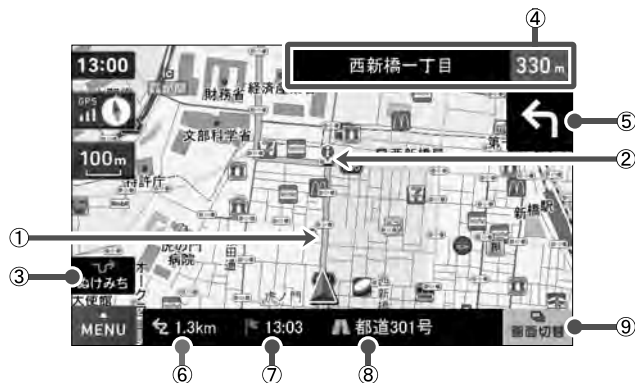
探索が失敗した場合には、画面に表示されるメッセージ内容に従って、自車位置/経由地/目的地を変更するなどしてください。

走行中画面

目的地、経由地の設定がある状態の画面では、設定されているルートが地図上に太線で表示されるほか、画面上に様々な情報が表示されます。また、交差点など案内が必要なポイントでは音声案内と連動して矢印やレーン情報などが表示されます。

アイコンや道路など、表示情報の凡例に関しては、「要素一覧」(⇒P.77)を参照してください。

走行中画面の見かた　1施設案内

1施設先の案内をする画面です。【画面切替】をタッチすると、複数施設の案内を表示する画面等に切り替えることができます。

番号	名称	内容
①	案内ルート	目的地までのルートを表示します。 ・オレンジ色　:一般道を示します。 ・青色　:高速道を示します。 ・紫色　:幅の狭い道を示します。
②	案内ポイント位置	・案内が行われる施設(交差点/ICなど)の位置を表示します。 ・地図上に表示される、ルート案内アイコンについては、「ルート案内時アイコン」(⇒P.79)を参照してください。
③	ぬけみちアシスト	・優先的にぬけみちを案内します。 ・ぬけみちアシストは以下の条件を全て満たした場合に表示されます。 　• GPSを受信している 　• 目的地を設定して、案内を開始している 　• ぬけみちの整備道路がルートの近くに存在している 　• 一般道(高速道以外)を走行している ・ぬけみちアシストは、過去数分間の移動距離や平均速度をGPS信号から分析し渋滞と判断された場合に点滅表示され、利用を促します。 ※ 道路の状況によっては探索に失敗する場合があります。 ・ぬけみちアシストの設定は「ぬけみちアシストを設定する」(⇒P.69)を参照してください。
④	案内情報	次に案内する施設(交差点/ICなど)の名称と、そこまでの距離を表示します。 メモ ・案内ポイントに近づくと、「残り距離」や「どちらに曲がるか」などをお知らせする音声が流れます。
⑤	案内矢印	・次の案内ポイントで曲がる方向を矢印表示します。 ・矢印の形状については、「案内矢印種別」(⇒P.79)を参照してください。
⑥	目的地までの距離	目的地までの距離を表示します。
⑦	到着予想時間	目的地に到着する予想時刻を表示します。
⑧	現在位置情報	・現在位置の情報を、「道路名称」「住所」「緯度経度」いずれかのアイコンと名称で表示します。 ・案内設定メニューから表示設定を行うことが出来ます。(⇒P.68) ・各アイコンの種別については、「ステータスバー/位置アイコン」(⇒P.77)を参照してください。 ※ 表示される優先順位は　1:道路名称　2:住所　3:緯度経度　となります。
⑨	画面切替	1施設案内画面から他の表示に切り替えます。

メモ

・ルートから自車位置が外れた場合には、音声が流れ、自動的に現在地から目的地までの再探索(=リルート)が行われます。

⚠ 注意

・運転する時は実際の道路状況や交通規制/標識/掲示などに従って走行してください。

走行中画面の見かた　複数施設案内

ルート施設の情報を複数先まで表示し、案内を行う画面です。スクロールボタンをタッチして、先の施設を参照することもできます。

【SA/PA施設案内】　【高速道料金所表示】

番号	名称	内容
①	ぬけみちアシスト	・優先的にぬけみちを案内します。 ・ぬけみちアシストは以下の条件を全て満たした場合に表示されます。 • GPSを受信している • 目的地を設定して、案内を開始している • ぬけみちの整備道路がルートの近くに存在している • 一般道（高速道以外）を走行している ・ぬけみちアシストは、過去数分間の移動距離や平均速度をGPS信号から分析し渋滞と判断された場合に点滅表示され、利用を促します。 ※ 道路の状況によっては探索に失敗する場合があります。 ・ぬけみちアシストの設定は「ぬけみちアシストを設定する」(⇒P.69)を参照してください。
②	現在位置表示	現在の自車位置を表示します。

番号	名称	内容
③	案内ポイントアイコン	・交差点の進行方向やIC/SA/料金所等の施設、目的地や経由地など案内ポイントの種別や進行方向をアイコンで表示します。 ・アイコンの種類については「案内ポイントアイコン」(⇒P.79)を参照してください。 ※ 通過施設は↑で表示します。
④	施設情報	案内ポイント（交差点/ICなど）の名称と、そこまでの距離を表示します。
⑤	到達予測時刻	各案内ポイントに到着する予想時刻を表示します。
⑥	レーン情報アイコン	・交差点やIC等のレーン情報を表示します。 ・案内ルートにて走行するレーンは青色（高速道では緑）の矢印アイコンで表示します。
⑦	スクロール	施設リストを上下にスクロールします。
⑧	現在地へジャンプ	スクロールさせた施設リストを、現在地直近の位置まで戻します。
⑨	画面切替	複数施設案内画面から他の表示に切り替えます。
⑩	SA/PA施設アイコン	SA/PA内の施設をアイコン表示します。 ※ アイコンの種類については「SAPA施設アイコン」(⇒P.79)を参照してください。
⑪	料金所ゲートアイコン	高速道の料金所ゲートをアイコン表示します。 ※ ETC機器の設定によって、非推奨レーンはグレー表示されます。 ※ アイコンの種類については「料金所ゲートアイコン」(⇒P.79)を参照してください。

走行中画面の見かた　交差点拡大図

案内ルートにおいて曲がる交差点が近づくと、交差点拡大図が表示されます。

番号	名称	内容
①	案内ポイント位置	案内が行われる施設(交差点/ICなど)の位置を表示します。
②	ぬけみちアシスト	・ 優先的にぬけみちを案内します。 ・ ぬけみちアシストは以下の条件を全て満たした場合に表示されます。 　• GPSを受信している 　• 目的地を設定して、案内を開始している 　• ぬけみちの整備道路がルートの近くに存在している 　• 一般道(高速道以外)を走行している ・ ぬけみちアシストは、過去数分間の移動距離や平均速度をGPS信号から分析し渋滞と判断された場合に点滅表示され、利用を促します。 ※ 道路の状況によっては探索に失敗する場合があります。 ・ ぬけみちアシストの設定は「ぬけみちアシストを設定する」(⇒P.69)を参照してください。
③	交差点拡大図	拡大地図、自車位置、道路、案内するルート、アイコン類を表示します。
④	レーン情報アイコン	・ 交差点のレーン情報を表示します。 ・ 案内ルートにて走行するレーンは青色のアイコンで表示します。
⑤	距離ゲージ	次の案内ポイントまでの距離をゲージで表示します。
⑥	画面切替	交差点拡大図から他の表示に切り替えます。

イラスト表示について

都市高速の入口や高速道の分岐箇所において、案内地に関連するイラストが表示されます。

【都市高速入口】

都市高速の入口をイラスト表示します。

【ジャンクション】

高速道の分岐箇所で進行方向をイラスト表示します。

※ 矢印方向の方面名称も合わせて表示されます。

【SA/PA】

高速道のSA/PA内の施設配置をイラスト表示します。

【ETCレーン】

料金所のETCレーンをイラスト表示します。

※ 複数施設案内と同様に、料金所ゲートアイコンを表示します。

AV画面におけるルート案内情報の割り込みについて

ルート案内中に、誘導案内地点でナビゲーションの音声案内や案内情報の表示を AV画面などに割り込み表示することができます。

音声案内がされるタイミングで案内情報の表示を行います。
誘導案内地点通過後に非表示となります。
ポップアップ、ナビゲーション画面などの優先表示の設定方法は以下のようになります。

1 [MENU■ALL] キーをタッチし続ける

メインメニュー画面が表示されます。

2 画面左下の[Custom] キーをタッチし、[設定アイコン] をタッチする

設定画面が表示されます。

3 設定画面の[設定] キーをタッチし、ナビゲーションの[設定] キーをタッチする

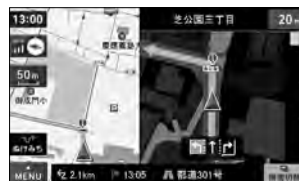
ナビガイド割り込みの選択肢画面が表示されます。

4 案内情報の割り込みを設定する

割り込みの選択肢

Off	この機能をオフにします。
On	誘導案内地点で、ナビゲーション画面がAV画面に優先して表示されます。 初期値は「On 」です。
ポップアップ	誘導地点で、AV画面上にポップアップ画面が表示されます。

【ポップアップ画面】

【ナビゲーション画面】

地図から目的地を設定する

地図を移動させて目的地を設定することができます。
※ 住所や施設から目的地を設定する方法については「いろいろな使い方」(⇒P.24)を参照してください。

1 地図を操作して、目的地を画面の中心に表示させる

表示している縮尺により、位置情報の精度が変わります。より正確な位置を利用するために、拡大した縮尺でカーソルを合わせてください。

地図の操作に関しては「地図の基本操作」(⇒P.9)を参照してください。

2 地図画面左下の【MENU】をタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

3 ポップアップメニューから【目的地に設定】をタッチする

カーソル位置を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 目的地までの距離や条件によって探索に時間がかかる場合があります。

他の選択肢

メインメニュー	メインメニューを表示します。(⇒P.12)
今いる観光エリア	カーソル位置がある観光エリアから、MAPPLEおすすめの観光スポットを探すことができます。(⇒P.46)
周辺施設	カーソル位置を中心として周辺施設を検索します。(⇒P.35)
地点登録	カーソル位置を登録地点にします。(⇒P.49)
経由地に設定	カーソル位置を経由地に設定します。(⇒P.53) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

4 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

注意

- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

自宅を登録する

各種検索で探した住所や施設、地図画面の現在地やカーソル位置をメインメニューの「登録地点」に「自宅」として登録することができます。
※ 自宅は1件のみ登録が可能です。

例:地図から自宅を登録する

1 地図をスクロール操作して、登録したい地点を中心に表示する

表示している縮尺により、位置情報の精度が変わります。より正確な位置を利用するために、拡大した縮尺でカーソルを合わせてください。

地図の操作に関しては、「地図の基本操作」(⇒P.9)を参照してください。

2 地図画面左下の【MENU】をタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

3 ポップアップメニューから【地点登録】をタッチする

【自宅】と【地点登録】が表示されます。

※ 自宅が登録済みの場合は、【自宅】を選択するポップアップメニューは表示されません。

他の選択肢

メインメニュー	メインメニューを表示します。(⇒P.12)
今いる観光エリア	カーソル位置がある観光エリアから、MAPPLEおすすめの観光スポットを探すことができます。(⇒P.46)
周辺施設	カーソル位置を中心として周辺施設を検索します。(⇒P.35)
経由地に設定	カーソル位置を経由地に設定します。(⇒P.53) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	カーソル位置を目的地に設定します。(⇒P.20)

4 【自宅】をタッチし、【はい】をタッチする

【はい】をタッチすると、表示していた地点を自宅として登録します。

※ 地点登録に関しては「地図から地点を登録する」(⇒P.49)を参照してください。

5 【OK】をタッチする

登録した地点の地図が表示され、登録済みを示すアイコンが表示されます。

※ 確認画面が表示されてから一定時間が経過すると、自動的に【OK】をタッチしたものとして扱われます。
※ アイコンについては「登録地点アイコン」(⇒P.81)を参照してください。

メモ

・ 各種検索で探した住所や施設から、自宅登録を行う方法については「検索リストから地点を登録する」(⇒P.50)を参照してください。
・ 登録した自宅を削除する方法については「登録地点を編集する」(⇒P.51)を参照してください。

自宅を目的地に設定する

「自宅」として登録した地点を目的地としてルートを設定することができます。
※ 自宅の登録については「自宅を登録する」(⇒P.21)を参照してください。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから【メインメニュー】をタッチする

他の選択肢

今いる観光エリア	カーソル位置がある観光エリアから、MAPPLEおすすめの観光スポットを探すことができます。(⇒P.46)
周辺施設	カーソル位置を中心として周辺施設を検索します。(⇒P.35)
地点登録	カーソル位置を登録地点にします。(⇒P.49)

3 【自宅】をタッチする

4 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。
※ 自宅へのルート案内は、一定時間が経過すると自動的に【案内開始】をタッチしたものとして扱われ、案内が開始されます。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

注意

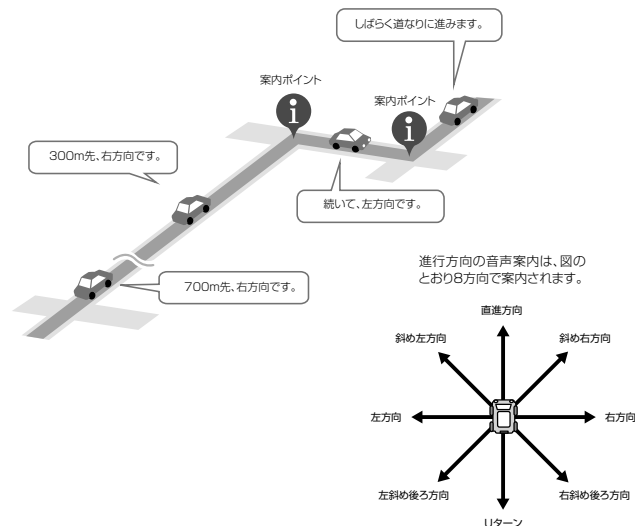
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

音声案内について

ルート案内中、案内ポイントに近づくと、「残り距離」や「どちらに曲がるか」などを音声によってお知らせします。

例えば、一般道においては、案内ポイントの手前約700m、約300m、まもなく(約100m)で音声による案内が行われます。

なお、案内ポイントから次の案内ポイントまでの距離・時間が短い場合などでは音声案内が行われない場合があります。
※ 音声案内の種別については「音声案内　ガイド文言タイプ」(⇒P.81)を参照してください。

音声案内イメージ

メモ

- 「踏切」や「合流」といった、走行上で注意すべき箇所においても音声案内が行われることがあります。

基本の使い方

検索リスト画面の見かた

検索リスト画面では、表示された候補を選択し、詳細情報を表示させたり、目的地として設定することができます。
※ MAPPLEメニューから表示した場合は、背景色などの見た目が異なります。

番号	名称	内容
①	名称エリア	検索で入力したキーワードやジャンル名などを表示します。
②	ページ数	現在の表示ページと総ページ数を表示します。
③	ページ切り替え	表示ページの切替を行います。
④	検索結果候補	・各候補施設の施設名/検索起点からの距離/施設住所を表示します。 ・項目をタッチすると、利用可能なボタンをポップアップメニューとして表示します。 ・各候補のアイコンは「検索における施設アイコン一覧」(⇒P.80)を参照してください。
⑤	ポップアップメニュー	選択した施設について以下の操作を行うことができます。 【詳細情報】…施設の詳細情報を表示します。(⇒P.26) 【地図表示】…選択した施設を中心として、地図画面を表示します。 【地点登録】…選択した地点を「登録地点」「自宅」に設定します。(⇒P.50) 【目的地に設定】…施設を目的地に設定します。 ※ 施設が高速道付近にある場合、続けて【一般道】【高速道】を選択します。 ※ 検索した施設が高速道のインターチェンジの場合、続けて【IC入口】【IC出口】を選択します。 ※ 選択した施設が出入口情報のある鉄道駅の場合、上記の候補に加えて【駅出入口】が表示され、出入口番号の指定ができます。 ※ 目的地が設定されている場合、上記の候補に加えて【経由地に設定】が表示され、経由地の設定が行えます。
⑥	並べ替え	タッチすると、以下の候補から、施設の並び順を選択することができます。 おすすめ順 名称順 近い順 【おすすめ順】…ガイド情報付き施設、または入力したキーワードにより近い施設を優先して表示します。 【名称順】…表示を【ボタン・リスト】に切り替え、50音順に表示します。 【近い順】…検索起点からの距離が近い順に表示します。 ※ 並べ替えは以下の検索結果では表示されません。 ・住所検索 ・電話番号検索 ・駅出入口検索 ・検索結果の写真一覧 ※ 初期設定では【おすすめ順】または【近い順】で表示されます。
⑦	表示切替	タッチすると、以下の候補から、施設の表示形式を、選択することができます。 リスト 地図・リスト 写真一覧 【リスト】…検索結果をリスト表示します。 【地図・リスト】…地図と検索結果リストを2画面表示します。 【写真一覧】…検索結果のうち、"写真あり"の施設を写真一覧で表示します。 【地図・リスト】 【写真一覧】 ※ 初期設定では【リスト】で表示されます。 ※ 検索結果リストに写真情報を持った施設がない場合、【写真一覧】は表示されません。 ※ 【並べ替え】で名称順が選択されている場合、上記の候補に加えて【ボタン・リスト】が候補表示され、表示形式を選択できます。
⑧	現在地	現在地画面を表示します。(⇒P.8)
⑨	BACK	現在の画面から、ひとつ手前の画面へ移動します。

施設詳細画面の見かた

施設詳細画面では、各検索メニューから選択した施設に関する様々な情報を確認することができます。
※ MAPPLEメニューから表示した場合､背景色などの見た目が異なります。

番号	名称	内容
①	施設名称	詳細表示されている施設の名称をします。
②	施設件数表示	確認可能な施設の件数を表示します。
③	施設送り	表示施設の切替を行います。
④	スクロール	詳細情報の表示をスクロールします。
⑤	施設写真　大	施設の写真を表示します。 ※ 写真がない施設の場合､文字情報のみ表示します。
⑥	施設写真　小	施設写真として表示する候補を小さな写真として表示します。 タッチすると｢施設写真　大｣の表示を切り替えます。 ※ 各施設は最大で4枚の写真を収録しています。 ※ 収録されている写真が複数枚の場合に表示します。
⑦	記事情報アイコン	施設の各情報を表示します。 アイコンの種類については｢施設詳細アイコン｣(⇒P.80)を参照してください。 ※該当の情報が施設にない場合には､表示されません。
⑧	電話をかける	ボタン(押下可)をタッチするとダイアルアップが開始されます｡｢施設情報から電話をかける｣(⇒P.26)を参照してください。 記事情報に電話番号があり､Bluetooth機能がONの時にボタンが表示されます。

施設情報から電話をかける

施設情報に電話番号があり、Bluetooth 対応機器が接続されている場合、【電話をかける】から電話をかけることができます。

電話番号が１つの場合はその電話番号でダイアルアップします。

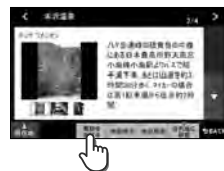
電話番号が複数ある場合は【電話番号をかける】をタッチするとポップアップ画面が表示され、かけたい電話番号をタッチするとその電話番号でダイアルアップします。

メモ

電話をかける場合は、ペアリングなどを行い電話機を本機に接続することが必要です。

電話機の接続は、本体取扱説明書のBluetoothの章をご覧ください。

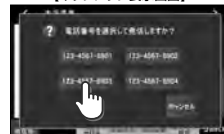
1 【電話をかける】をタッチするとダイアルアップが開始されます。

ここで電話番号が複数ある場合は、電話番号を選択するポップアップが表示されます。

2 かけたい【電話番号】をタッチするとダイアルアップが開始されます。

記事情報にある電話番号が選択できます。

選択できる電話番号は最大４件です。

記事の内容を参考に電話番号を選択してください。

【ポップアップ表示画面】

フリーワードから目的地を設定する

フリーワード検索では、最大3つのワードまで組み合わせ、目的地を検索することができます。

入力した各ワードが何を意図するのかを「住所」「ジャンル」「キーワード」の索引から指定することで、意図した検索結果が得られやすくなります。

例:「東京都」「水族館」「いるか」の3つのワードから検索する

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【検索】をタッチし、検索メニューから【フリーワード】をタッチする

3 【索引指定】をタッチし、候補から【住所】をタッチする

※ 索引の「住所」と「ジャンル」は各々1ワードのみ指定することができます。

メモ

・ 索引指定は、ワードを入力した後から指定することもできます。

索引指定の候補

候補	表示	内容
おまかせ		入力されたワードを、「駅」→「住所」→「ジャンル名称」→「キーワード」の順に検索します。
住所	住所	入力されたワードを「住所」から検索します。
ジャンル	ジャンル	入力されたワードを「ジャンル名称」から検索します。
キーワード	キーワード	入力されたワードを「キーワード」から検索します。

4 「とうきょうと」と入力し、【変換】をタッチして、「東京都」に変換し、【確定】をタッチする

検索ワードとして、「東京都」が「住所」として入力されます。

メモ

・ 【変換】を2回タッチすると、候補リストが表示されますので、そこから候補をタッチすることで確定することもできます。

5 【キーワード追加】をタッチし「すいぞくかん」と入力して、【変換】をタッチし「水族館」に変換して、【確定】をタッチする

【キーワード追加】をタッチすると、入力済みのワードの後ろに「&」が表示されます。

※ ワードは1つでも検索できます。

6 【キーワード追加】をタッチし、「いるか」と入力して【確定】をタッチする

※ 「カタカナ」表記は「ひらがな」のままでも、同一の検索結果となります。
※ 3つ以上のワードが入力されている場合、【キーワード追加】はタッチできなくなります。

7 【検索】をタッチする

指定したキーワードでの検索結果リストが表示されます。

※ 入力したワードで、検索結果が見つからなかった場合は、メッセージが表示されますので、別のワードを入力してください。

8 目的の施設をタッチし、【目的地に設定】をタッチする

選択した施設を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 施設は【おすすめ順】で表示されます。
※ 条件によって探索に時間がかかる場合があります。

メモ

- 【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【名称順】【近い順】から選択することができます。
- 【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

詳細情報	施設の詳細情報を表示します。(⇒P.26)
地図表示	選択した施設を地図表示します。
地点登録	選択した施設を登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択した施設を経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

※ 選択した施設が出入口情報のある鉄道駅の場合、上記の選択肢に加えて【駅出入口】が表示され、出口番号等の検索が行えます。

9 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※ 【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

メモ

- 「施設」「ジャンル」「駅」などの名称は、変換せず、「よみ」でも検索できます。
- 一部の施設は、正式名称の他、通称名の読みにも対応しています。
- 意図した検索結果が得られない場合には、意味の近いワードに変換するか、「検索指定」を行ってください。

⚠ 注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

住所から目的地を設定する

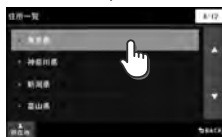
都道府県から番地または号までの住所を入力し、目的地を設定することができます。

例:「東京都中央区日本橋浜町3-42-3」を目的地に設定する

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【検索】をタッチし、検索メニューから【住所】をタッチする

3 スクロールボタンをタッチし、リストから【東京都】を探してタッチする

※ 現在の自車位置または、地図表示位置が所属する都道府県が選択された状態で表示されます。

4 【た行】をタッチし、リストから【中央区】を探してタッチする

リストは郡名を除いた50音順に並んでいます。【あ行】【か行】などをタッチすると、タッチした行の先頭に移動します。

※ 候補となる地域がない行ボタンは表示されません。

メモ

・【主要部】をタッチすると該当の住所を代表する地点が表示されます。

5 【な行】をタッチし、リストから【日本橋浜町】を探してタッチする

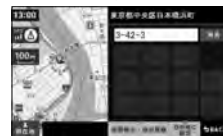
※ 候補となる地域のない行ボタンは表示されません。

6 キーボードをタッチし、番地「3-42-3」を選択する

選択可能な数字ボタンが表示されます。丁目に続き番地、番地に続き号を選択したいときは【-】をタッチします。タッチした数字によっては【-】が自動的に補完される場合があります。

※ 選択を間違えたときは【消去】をタッチして入力しなおすことができます。

※「甲1番地」などのように番地に文字を含む場合は、キーボードでなく番地のリストが表示されます。

いろいろな使い方

7 【目的地に設定】をタッチする

選択した住所を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 目的地までの距離や条件によって探索に時間がかかる場合があります。

他の選択肢

地図表示	選択した住所を地図表示します。
地点登録	選択した住所を登録地点にします。(⇒P.49)
経由地に設定	選択した住所を経由地に設定します。(⇒P.53) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

8 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

・【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
・【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

・ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

施設から目的地を設定する

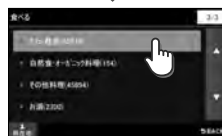
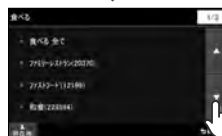
食べる、買う、遊ぶ・観る等のジャンルを選択して目的地を検索することができます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【検索】をタッチし、検索メニューから【施設】をタッチする

3 スクロールボタンをタッチし、リストから目的のジャンルを探してタッチする

ジャンルはさらに細かく分かれているため、それらを順にタッチして目的の施設を探します。またジャンル名称と共に、そのジャンルに含まれる施設の件数が（　）内に表示されます。

※ 各ジャンルに含まれる施設の詳細は「施設ジャンル一覧」(⇒P.31)を参照してください。

・最上部に表示される【〜全て】を選択すると、リストに表示されている全てのジャンルを検索対象とします。

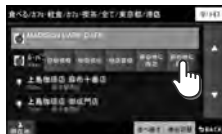
4 都道府県、市区町村を選択する

現在の自車位置または、地図表示位置が所属する都道府県が選択された状態で表示されます。

※ 表示される候補の件数によっては、都道府県、市区町村の選択をしない場合があります。

5 目的の施設をタッチし、【目的地に設定】をタッチする

検索した施設を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 施設は【おすすめ順】に表示されます。
※ 条件によって探索に時間がかかる場合があります。

メモ

- 【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【名称順】【近い順】から選択することができます。
- 【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図･リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

詳細情報	施設の詳細情報を表示します。(⇒P.26)
地図表示	選択した施設を地図表示します。
地点登録	選択した施設を登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択した施設を経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

※ 選択した施設が出入口情報のある鉄道駅の場合、上記の選択肢に加えて【駅出入口】が表示され、出口番号等の検索が行えます。

6 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

施設ジャンル一覧
※ ジャンルにより、更に細かなジャンルにわかれるものもあります。

大ジャンル	中ジャンル	説明
食べる	ファミリーレストラン	ファミリーレストラン
	ファーストフード	ハンバーガーショップ、牛丼屋など
	和食	和食料理店、和食レストランなど
	洋食	洋食料理店、洋食レストランなど
	中華・ラーメン	ラーメン店、中華料理店など
	焼肉	焼肉店、韓国料理店など

大ジャンル	中ジャンル	説明
食べる	カレー・アジア料理	カレー店、アジア料理店など
	カフェ・軽食	カフェスタンド、喫茶店など
	自然食・オーガニック料理	自然食店、オーガニック料理店
	その他料理	多国籍料理店など
	お酒	居酒屋、バーなど
買う	コンビニ	コンビニエンスストア
	スーパー	スーパーストア
	デパート・百貨店	デパート、百貨店
	ショッピングモール	ショッピングモール、商店街など
	市場・朝市・フリーマーケット	市場、フリーマーケットなど
	生活・雑貨	ホームセンター、ドラッグストアなど
	ファッション・ビューティ	衣料品、ジュエリー店など
	スポーツ・アウトドア用品	ゴルフ用品、釣具店、アウトドア用品店など
	食品・お酒	ワイン、地酒、食料品店など
	工芸品・民芸品	工芸品店、民芸品店
	おみやげ・物産	おみやげ店、物産センターなど
	レンタル	レンタルCDショップなど
遊ぶ・観る	レジャー	動物園、テーマパークなど
	体験・観光スポット	観光案内所、名所、史跡など
	文化施設	映画館、劇場、美術館、記念館など

大ジャンル	中ジャンル	説明
遊ぶ・観る	スポーツ施設・公園	ゴルフ場、スタジアム、公園、スポーツ施設、競馬場など
	自然地形	山、海、島など
泊まる・温泉	ホテル	シティホテル、ビジネスホテル、リゾートホテルなど
	旅館・民宿	温泉旅館、観光民宿など
	ペンション・貸別荘・山小屋	ペンション、貸別荘など
	その他宿泊施設	その他宿泊施設
	温泉・入浴施設	温泉地、日帰り温泉、スーパー銭湯など
	温泉販売・温泉スタンド	温泉販売、温泉スタンド
くるま	ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
	駐車場・コインパーキング	駐車場、コインパーキング
	カー用品	カー用品店
	カーディーラー	カーディーラー
	修理・整備・洗車	修理工場、整備工場、洗車場など
	レンタカー	レンタカーショップ
	代行サービス	運転代行サービス
	ロードサービス	JAF、その他ロードサービス
交通	道路関連施設	インターチェンジ、サービスエリア、道の駅など
	新幹線駅	新幹線駅
	JR駅	JR駅
	私鉄駅	私鉄駅

大ジャンル	中ジャンル	説明
交通	地下鉄駅	地下鉄駅
	新交通モノレール	新交通システム駅、モノレール駅
	路面電車	路面電車停留場
	ケーブルカー・ロープウェイ発着場	ケーブルカー発着場、ロープウェイ発着場
	空港	空港
	フェリー乗り場	フェリー乗り場
くらし	銀行	都市銀行、地方銀行など
	病院	病院、医院、診療所、鍼灸、福祉施設など
	学校・教育施設	小中学校、高校、大学、予備校、自動車教習所など
	図書館	図書館
	警察署	警察署
	消防署	消防署
	郵便局	郵便局
	県庁	都道府県庁
	市区町村役場	市区町村の役所/役場
	その他公共施設	免許センター、運輸支局、中央省庁、法務局、保健所など
	理容・美容	理容室、美容院など
	クリーニング	クリーニング店など
	修理・整備	修理・整備店など
	冠婚葬祭	ブライダルホール、セレモニーホール、神仏具店など

大ジャンル	中ジャンル	説明
くらし	公民館・集会場	公民館・集会場など
	生協	生活協同組合など
	農協	農業協同組合など
	漁協	漁業協同組合など
	その他組合・団体	青年会議所、ロータリークラブなど
	トイレ	公衆トイレ

電話番号から目的地を設定する

探す施設の電話番号を入力して目的地を検索することができます。
※ 個人宅の電話番号はデータに収録されていません。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【検索】をタッチし、検索メニューから【電話番号】をタッチする

3 テンキーをタッチし、電話番号を入力して、【検索】をタッチする

※ 「-」は入力を省略しても検索できます。
※ 入力を間違えたときは【消去】をタッチして入力しなおすことができます。
※ 入力番号で施設が特定されず、市内局番が特定された場合には、その代表地点(市役所等)が表示されます。
※ 代表地点も特定できなかった場合は「再検索または、他の検索より目的の施設を探してください。」というメッセージが表示されます。

【検索できなかった場合のメッセージ】

4 目的の施設をタッチし、【目的地に設定】をタッチする

選択した施設を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 条件によって探索に時間がかかる場合があります。

他の選択肢

詳細情報	施設の詳細情報を表示します。(⇒P.26)
地図表示	選択した施設を地図表示します。
地点登録	選択した施設を登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択した施設を経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

5 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※ 【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

周辺施設から目的地を設定する

現在の自車位置、もしくは地図スクロール画面のカーソル位置を中心とした周辺の施設から、食べる、買う、遊ぶ・観る等のジャンルを選んで目的地を検索することができます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【検索】をタッチし、検索メニューから【周辺施設】をタッチする

メモ

- 地図画面左下の【MENU】をタッチして表示される【周辺施設】からも、同様の周辺施設検索ができます。(⇒P.8)その場合は、カーソル位置周辺の施設を検索します。

3 スクロールボタンをタッチし、リストから目的のジャンルを探して、タッチする

ジャンルはさらに細かく分かれているため、それらを順にタッチして目的の施設を探します。またジャンル名称と共に、そのジャンルに含まれる施設の件数が（　）内に表示されます。

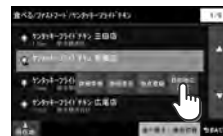
※ 各ジャンルに含まれる施設の詳細は「施設ジャンル一覧」(⇒P.31)を参照してください。

メモ

- 最上部に表示される【～全て】を選択すると、リストに表示されている全てのジャンルを検索対象とします。

4 目的の施設をタッチし、【目的地に設定】をタッチする

選択した施設を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 施設は【近い順】に表示されます。
※ 条件によって探索に時間がかかる場合があります。

メモ

- 【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【名称順】【近い順】から選択することができます。
- 【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

詳細情報	施設の詳細情報を表示します。(⇒P.26)
地図表示	選択した施設を地図表示します。
地点登録	選択した施設を登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択した施設を経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

※ 選択した施設が出入口情報のある鉄道駅の場合、上記の選択肢に加えて【駅出入口】が表示され、出入口番号の指定ができます。

5 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※ 【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

50音から目的地を設定する

キーワードによる施設の絞り込みを行い、目的地を検索することができます。

例:「六本木ヒルズ」を目的地に設定する

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【検索】をタッチし、検索メニューから【50音】をタッチする

3 50音キーをタッチし、検索したいキーワードを入力する

1文字目には、濁音、半濁音、長音、小文字ボタンはタッチできません。

2文字目以降は、次文字に利用できない（候補名にない）文字ボタンはタッチできなくなります。また、濁音・半濁音・長音は入力しなくても絞り込みができます。「っ」「ぁ」などの小文字も、大文字のままで絞り込みができます。

入力した文字が表示されるエリアの右側には、絞り込まれた候補の件数が表示されます。

4 入力し終えたら、【候補表示】をタッチします

候補一覧が表示されます。

※ 検索に該当した候補が最大2000件まで表示されます。

5 目的の施設をタッチし、【目的地に設定】をタッチする

選択した施設を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 施設はガイド情報付き施設を優先した【おすすめ順】に表示されます。
※ 条件によって探索に時間がかかる場合があります。

メモ

- 【絞り込み】をタッチすると、施設をエリア、ジャンルで絞り込むことができます。
- 【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【名称順】【近い順】から選択することができます。
- 【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

詳細情報	施設の詳細情報を表示します。(⇒P.26)
地図表示	選択した施設を地図表示します。
地点登録	選択した施設を登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択した施設を経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

※ 選択した施設が出入口情報のある鉄道駅の場合、上記の選択肢に加えて【駅出入口】が表示され、出入口番号の指定ができます。

6 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

履歴から目的地を設定する

過去に検索した場所、目的地に設定した場所の履歴から目的地を指定することができます。
※ 履歴は50件まで登録されます。50件を超えると古いものから削除されます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【履歴】をタッチする

履歴一覧が表示されます。

3 目的の履歴をタッチし、【目的地に設定】をタッチする

選択した履歴の施設を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 履歴は【登録順】に表示されます。
※ 条件によって探索に時間がかかる場合があります。

メモ

- 【全消去】をタッチすると、全履歴情報を削除することができます。
- 【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【登録順】【近い順】から選択することができます。
- 【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】から選択することができます。(⇒P.25)

アイコンの種別

アイコン	内容
(虫めがねアイコン)	各種検索から【地図表示】を選択した際に履歴登録されたものです。
(旗と車アイコン)	各種検索から、【目的地に設定】→【案内開始】を選択した際に履歴登録されたものです。

他の選択肢

削除	選択した履歴を削除します。
地図表示	選択した履歴の地点を地図表示します。
地点登録	選択した履歴の地点を登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択した履歴の地点を経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

4 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

MAPPLEメニュー利用の流れ

MAPPLEメニューでは、観光地エリアの「特徴」や「見どころ」のほか、そのエリアならではの「ご当地グルメ」や「お土産情報」「季節に合わせた旬情報」など、いろいろな情報を確認することができます。
また、「ドライブスポット」や「誰と行くか」等の条件からも、情報を検索することができます。

<MAPPLEメニューとは>
（株）昭文社のMAPPLE観光地データを利用して、ガイドブックから情報を探すような感覚で、観光地の特徴や見どころを検索することができる観光地検索メニューです。

1 メインメニューから【MAPPLEメニュー】をタッチする

メモ

・地図画面左下の【MENU】をタッチし、【今いる観光エリア】をタッチすることでも、現在地の観光地メニューを表示することができます。(⇒P.8)

2 検索方法を選択する

MAPPLEメニューでは、観光エリアやドライブスポットの選択等、いろいろな方法で観光情報を検索することができます。

- 観光地から探す(⇒P.40)
- 今いる観光エリア(⇒P.46)
- ベストドライブ(⇒P.47)
- まっぷるコード(⇒P.48)

＋ 観光地メニューからスポットを探す

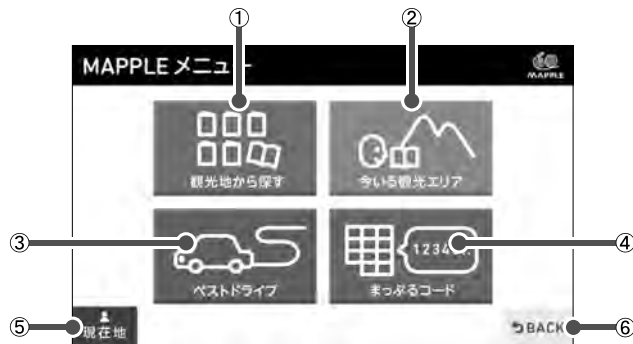
【観光地から探す】【今いる観光エリア】からは、観光地メニューを利用して、選択エリアに含まれる、観光名所やご当地グルメを食べられるお店など、いろいろな観光情報を検索することができます。（⇒P.41）

3 スポットの情報を確認する

検索したスポットの観光情報や写真などを確認することができます。駐車場の有無や営業時間、おすすめの季節など、観光に役立つ情報が満載です。

検索したスポットは、地図上で確認したり、目的地に設定したりすることができます。

MAPPLEメニュー画面の見かた

MAPPLEメニュー画面では、さまざまな方法でMAPPLEの観光情報を探すことができます。

番号	名称	内容
①	観光地から探す	MAPPLEおすすめの観光スポットを全国の観光エリアリストから探します。(⇒P.40)
②	今いる観光エリア	現在地もしくは地図スクロールによって移動した地点が所属する観光エリアについてのMAPPLEおすすめ観光スポットを探します。(⇒P.46)
③	ベストドライブ	(株)昭文社の発行する書籍「ベストドライブ」のドライブスポット情報を探します。(⇒P.47)
④	まっぷるコード	(株)昭文社の発行する「まっぷるマガジン」等に掲載されている「まっぷるコード」から施設情報を探します。(⇒P.48)
⑤	現在地	現在地画面を表示します。(⇒P.8)
⑥	BACK	現在の画面から、ひとつ手前の画面へ移動します。

観光地から目的のエリアを探す

旅行、観光における地域性を考慮して、（株）昭文社が独自に選定した観光地エリアから、ガイドブックを開いて調べるような感覚で、目的のエリアを探すことができます。

例:「西伊豆･中伊豆エリア」を探す場合

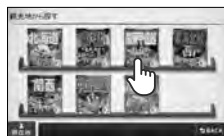
1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする (⇒P.22)

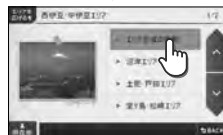
2 【MAPPLEメニュー】をタッチし、【観光地を探す】をタッチする

3 【関東･甲信越】をタッチし、【伊豆･箱根】をタッチする

エリア範囲は、

「関東甲信越>伊豆箱根>西伊豆･中伊豆…」

のように、大まかな日本の地方から、徐々に細かな地域へと絞り込まれていきます。

4 【西伊豆･中伊豆】をタッチし、【エリア全域の情報】をタッチする

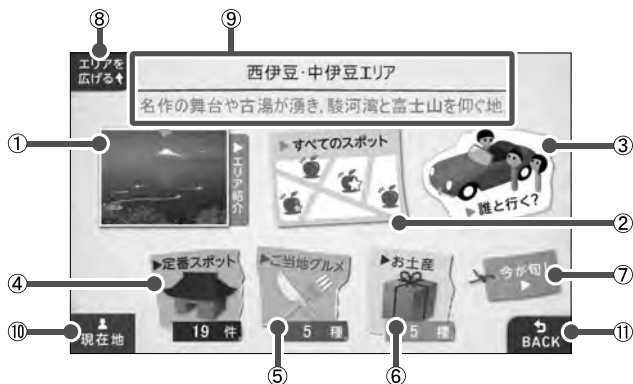
現在の画面に表示されているエリア全てが、選択エリアとなります。

5 「西伊豆･中伊豆エリア」の観光地メニューが表示されます

観光地メニューについては、次ページの「観光地メニュー画面の見かた」（⇒P.41)を参照してください。

メモ

- 観光地エリアは都道府県や市町村といったくくりにとらわれず、旅行/観光における地域性を考慮して、(株)昭文社が独自に選定したエリアです。
- 観光地エリアの境界は、地図上に表示されません。

観光地メニュー画面の見かた

観光地メニュー画面からは、選択したエリアや現在地に対して（株）昭文社がおすすめするさまざまな情報を確認することができます。

番号	名称	内容
①	エリア紹介	エリアの代表的な歴史、見どころ、名物などを表示します。(⇒P.41)
②	すべてのスポット	エリア内のすべての観光スポットを、カテゴリ別に表示します。(⇒P.41)
③	誰と行く？	一緒に行く人に応じてセレクトされたスポットを表示します。(⇒P.42)
④	定番スポット	エリア内の定番スポットを表示します。(⇒P.43) ※ 数字はエリア内で検索された件数
⑤	ご当地グルメ	エリア内で味わえるご当地グルメを表示します。(⇒P.44) ※ 数字はエリア内で検索された種類数
⑥	お土産	エリアならではのお土産を表示します。(⇒P.44) ※ 数字はエリア内で検索された種類数
⑦	今が旬！	エリア内で今が旬の花や魚の情報を表示します。(⇒P.45) ※ 季節や時期などの表示条件が満たされなければ、ボタンは表示されません。
⑧	エリアを広げる	選択されているエリアを含む、上位エリアの選択ページに移動します。
⑨	エリア情報	選択されているエリアの名称と概要を表示します。
⑩	現在地	現在地画面を表示します。(⇒P.8)
⑪	BACK	現在の画面から、ひとつ手前の画面へ移動します。

観光地メニュー

エリア紹介を見る

そのエリアの代表的な歴史、見どころ、名物などを確認することができます。

1 観光地メニューから【エリア紹介】をタッチする

2 選択されているエリアの詳細情報が表示されます

※【CLOSE】をタッチすると観光地メニュー画面へ戻ります。

すべてのスポットから情報を探す

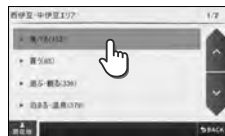
エリア内のすべての観光スポットを、食べる、買う、遊ぶ・観る等のジャンルから選んで検索することができます。

1 観光地メニューから【すべてのスポット】をタッチする

2 スクロールボタンをタッチし、リストから目的のジャンルを探してタッチする

ジャンルは徐々に細分化されていきますので、候補をタッチして目的のスポットを探します。また、ジャンル名称と共に、そのジャンルに含まれるスポットの件数が（　）内に表示されます。

※ 各ジャンルに含まれる施設の詳細は「施設ジャンル一覧」（⇒P.31）を参照してください。

- 最上部に表示される【〜全て】を選択すると、リストに表示されている全てのジャンルを検索対象とします。

3 目的のスポットをタッチし、【詳細情報】をタッチする

※ スポットは【おすすめ順】に表示されます。
※ アイコンの種別については「MAPPLEメニュー検索における施設アイコン一覧」（⇒P.80）を参照してください。

メモ

- 【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【登録順】【近い順】から選択することができます。
- 【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。（⇒P.25）

他の選択肢

地図表示	選択したスポットを地図表示します。
地点登録	選択したスポットを登録地点にします。（⇒P.50）
経由地に設定	選択したスポットを経由地に設定します。（⇒P.54） ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	選択したスポットを目的地に設定します。

4 選択したスポットの詳細情報が表示されます

※「施設詳細画面の見かた」（⇒P.26）を参照してください。

誰と行く？からスポットの情報を探す

一緒に行く人に応じてセレクトされた観光スポットを検索することができます。
選択肢に応じて、異なるスポットが優先表示されます。

1 観光地メニューから【誰と行く?】をタッチする

2 一緒に行く人に応じて、お好みの候補をタッチする

誰と行く?選択候補

家族	子供がいる家族におすすめのスポットを検索できます。
カップル	カップルやご夫婦におすすめのスポットを検索できます。
シニア	シニア層におすすめのスポットを検索できます。
女性（グループ）	女性グループにおすすめのスポットを検索できます。
女性（おひとりさま）	女性一人旅におすすめのスポットを検索できます。
男性	男性一人旅、またはグループ男性におすすめのスポットを検索できます。

3 スクロールボタンをタッチし、リストから目的のジャンルを探してタッチする

ジャンルはさらに細かく分かれているため、それらを順にタッチして目的の施設を探します。またジャンル名称と共に、そのジャンルに含まれる施設の件数が（　）内に表示されます。

※ 各ジャンルに含まれる施設の詳細は「施設ジャンル一覧」(⇒P.31)を参照してください。

メモ

・最上部に表示される【〜全て】を選択すると、リストに表示されている全てのジャンルを検索対象とします。

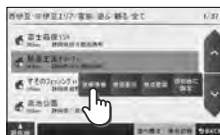
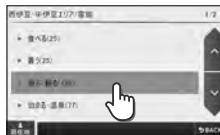
4 目的のスポットをタッチし、【詳細情報】をタッチする

※ スポットは【おすすめ順】に表示されます。
※ アイコンの種別については「MAPPLEメニュー検索における施設アイコン一覧」(⇒P.80)を参照してください。

メモ

・【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【登録順】【近い順】から選択することができます。
・【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

地図表示	選択したスポットを地図表示します。
地点登録	選択したスポットを登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択したスポットを経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	選択したスポットを目的地に設定します。

5 選択したスポットの詳細情報が表示されます

※「施設詳細画面の見かた」(⇒P.26)を参照してください。

定番スポットの情報を探す

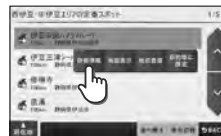
エリア内の定番スポットを検索することができます。

1 観光地メニューから【定番スポット】をタッチする

2 目的のスポットをタッチし、【詳細情報】をタッチする

※ スポットは【おすすめ順】に表示されます。
※ アイコンの種別については「MAPPLEメニュー検索における施設アイコン一覧」(⇒P.80)を参照してください。

メモ

・【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【登録順】【近い順】から選択することができます。
・【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

地図表示	選択したスポットを地図表示します。
地点登録	選択したスポットを登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択したスポットを経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	選択したスポットを目的地に設定します。

3 選択したスポットの詳細情報が表示されます

※「施設詳細画面の見かた」(⇒P.26)を参照してください。

ご当地グルメの情報を探す

エリア内で、その土地ならではのご当地料理の概要を確認し、その料理が味わえるスポットを検索することができます。

1 観光地メニューから【ご当地グルメ】をタッチする

2 候補内からお好みの候補画像をタッチする

3 画面下部の【店舗】をタッチする

※ 店舗ボタンには、検索候補として表示されるスポットの軒数も表示されます。
※【CLOSE】をタッチすると観光地メニュー画面へ戻ります。

4 目的の店舗をタッチし、【詳細情報】をタッチする

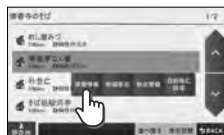
※ 施設は【おすすめ順】に表示されます。
※ アイコンの種別については「MAPPLEメニュー検索における施設アイコン一覧」(⇒P.80)を参照してください。

メモ

・【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【登録順】【近い順】から選択することができます。
・【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

地図表示	選択したスポットを地図表示します。
地点登録	選択したスポットを登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択したスポットを経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	選択したスポットを目的地に設定します。

5 選択した店舗の詳細情報が表示されます

※「施設詳細画面の見かた」(⇒P.26)を参照してください。

お土産の情報を探す

エリア内で、その土地ならではのお土産の概要を確認し、入手できるスポットを検索することができます。

1 観光地メニューから【お土産】をタッチする

いろいろな使い方

2 候補内からお好みの候補画像をタッチする

3 画面下部の【店舗】をタッチする

※ 店舗ボタンには、検索候補として表示されるスポットの件数も表示されます。
※【CLOSE】をタッチすると観光地メニュー画面へ戻ります。

4 目的の店舗をタッチし、【詳細情報】をタッチする

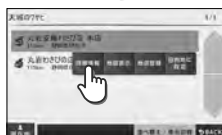
※ 施設は【おすすめ順】に表示されます。
※ アイコンの種別については「MAPPLEメニュー検索における施設アイコン一覧」(⇒P.80)を参照してください。

メモ

- 【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【登録順】【近い順】から選択することができます。
- 【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

地図表示	選択したスポットを地図表示します。
地点登録	選択したスポットを登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択したスポットを経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	選択したスポットを目的地に設定します。

5 選択した店舗の詳細情報が表示されます

※「施設詳細画面の見かた」(⇒P.26)を参照してください。

今が旬！から情報を探す

「見ごろの花」「季節の魚」「味覚狩り」のジャンルから、その時期に楽しめるものの概要を確認し、スポットを検索することができます。

1 観光地メニューから【今が旬!】をタッチする

※ 季節により、候補が存在しない場合には、ボタンが表示されません。

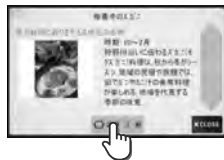
2 【見ごろの花】【季節の魚】【味覚狩り】から目的のジャンルをタッチする

※ 各ボタンにはジャンルに含まれる候補数が表示されます。
※ その時期に旬の情報が無い場合、ボタンをタッチすることはできません。

3 候補内からお好みの候補画像をタッチする

いろいろな使い方

4 画面下部の【店舗】(又は【スポット】)をタッチする

※ ボタンには、検索候補として表示されるスポットの件数も表示されます。
※【CLOSE】をタッチすると画像一覧画面へ戻ります。

5 目的のスポットをタッチし、【詳細情報】をタッチする

※ 施設は【おすすめ順】に表示されます。
※ アイコンの種別については「MAPPLEメニュー検索における施設アイコン一覧」(⇒P.80)を参照してください。

メモ

・【並べ替え】をタッチすると、施設の表示順を【おすすめ順】【登録順】【近い順】から選択することができます。
・【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

地図表示	選択したスポットを地図表示します。
地点登録	選択したスポットを登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択したスポットを経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	選択したスポットを目的地に設定します。

6 選択したスポットの詳細情報が表示されます

※「施設詳細画面の見かた」(⇒P.26)を参照してください。

今いる観光地エリアから目的地を探す

現在地、もしくは地図スクロールにてよって移動した地点の観光エリアの、観光地メニューから検索して目的地を設定することができます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【MAPPLEメニュー】をタッチし、【今いる観光地エリア】をタッチする

・ 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【今いる観光エリア】をタッチすることでも、観光地メニューを確認することができます。(⇒P.8)

3 観光地メニューが表示され、今いる観光地エリアのさまざまな情報を確認することができます

観光地メニューについては「観光地メニュー画面の見かた」(⇒P.41)を参照してください。

ベストドライブから目的地を設定する

（株）昭文社の発行する書籍「ベストドライブ」のドライブコースを選択し、コース上のスポットを目的地に設定することができます。

例:「伊豆半島縦断ドライブコース」から目的地を探す場合

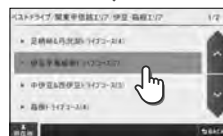
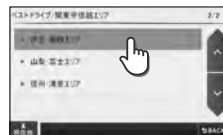
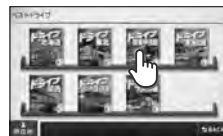
1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする
(⇒P.22)

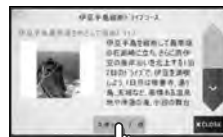
2 MAPPLEメニューから【ベストドライブ】をタッチする

3 【関東甲信越】をタッチして、【伊豆･箱根エリア】をタッチし、【伊豆半島縦断ドライブコース】をタッチする

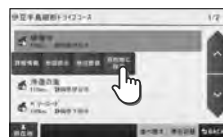
ドライブエリア範囲は、
「関東甲信越＞伊豆・箱根エリア＞伊豆半島縦断ドライブコース」
のように、大まかな地方選択と、その地方内のエリア選択を行います。

メモ

・ 地方エリア選択リストの最上部に表示される【エリア全域のドライブコース】を選択すると､リストに表示されているエリアのドライブコース全てを表示します。

4 画面下部の【スポット】をタッチする

※ スポットボタンには､検索候補として表示されるスポットの件数も表示されます。
※ 【CLOSE】をタッチするとドライブコース選択画面へ戻ります。

5 目的のスポットをタッチし､【目的地に設定】をタッチする

選択したスポットを目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ スポットは【おすすめ順】に表示されます。
※ 条件によって探索に時間がかかる場合があります。

メモ

・【並べ替え】をタッチすると、スポットの表示順を【おすすめ順】【登録順】【近い順】から選択することができます。
・【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】【写真一覧】から選択することができます。(⇒P.25)

他の選択肢

詳細情報	スポットの詳細情報を表示します。(⇒P.26)
地図表示	選択したスポットを地図表示します。
地点登録	選択したスポットを登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択したスポットを経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

6 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

・【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
・【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

・検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
・ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

まっぷるコードから目的地を設定する

「まっぷるコード」を入力して施設情報を検索し、目的地に設定します。

<まっぷるコードとは>
「まっぷるコード」は（株）昭文社のオリジナルコードで、地図/ガイドブックに掲載されている施設や観光地に付されています。この「まっぷるコード」から目的地のスポットを探すことができます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【MAPPLEメニュー】をタッチし、【まっぷるコード】をタッチする

3 テンキーをタッチし、「まっぷるコード」を入力して、【検索】をタッチする

※ コード内の「-」は省略できます。

4 【目的地に設定】をタッチする

他の選択肢

地図表示	検索した施設を地図表示します。
地点登録	検索した施設を登録地点にします。(⇒P.50)
経由地に設定	選択したスポットを経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

5 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※ 【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

- まっぷるコードは、記載された出版物の発行時期とナビゲーションの収録データ整備時期が異なるため、施設によって、検索できないコードがあります。
- まっぷるコードで目的の施設が検索できない場合でも、フリーワード検索等、他の検索方法で見つけられることがあります。
- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を修正してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

地点の登録

各種検索で探した住所や施設や、地図画面の現在地やカーソルのある地点を、自宅やよく行く場所として「登録地点·履歴メニュー」の「登録地点」(⇒P.91)に登録することができます。

※登録地点は100件まで(自宅は1件のみ)登録することができます。

地図から地点を登録する

地図画面の現在位置や、表示している地点を登録することができます。

1 地図をスクロール操作し、登録したい地点を中心に表示する

表示している縮尺により位置情報の精度が変わります。より正確な位置を利用するために、拡大した縮尺でカーソルを合わせてください。

2 【MENU】をタッチし、【地点登録】をタッチする

メモ

- 自宅が未登録の場合は、【自宅】と【地点登録】を選択するポップアップメニューが表示されます。【自宅】をタッチすると、自宅として登録することができます。(⇒P.21)

3 登録する名称を編集し、【決定】をタッチする

文字入力エリアには、初期値として選択されている地点の住所が表示されています。

文字編集を行い、好きな名称に変更することができます。(⇒P.11)

4 【OK】をタッチする

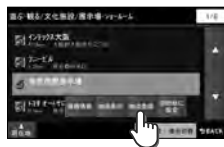
登録した地点の地図が表示され、登録済みを示すアイコンが表示されます。

※ 一定時間が経過すると、自動的に【OK】をタッチしたものとして扱われます。

検索リストから地点を登録する

検索結果候補リストや、履歴リスト等から地点を登録することができます。

1 リストから目的の施設をタッチし、【地点登録】をタッチする

・ 自宅が未登録の場合は、【自宅】と【地点登録】を選択するポップアップメニューが表示されます。【自宅】をタッチすると、地点を自宅として登録することができます。(⇒P.21)

他の選択肢

詳細情報	選択した施設の詳細情報を表示します。(⇒P.26)
地図表示	選択した施設を地図表示します。
経由地に設定	選択した施設を経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	選択した施設を目的地に設定します。

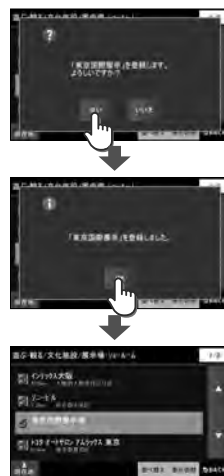
2 登録する名称を編集し、【決定】をタッチする

文字入力エリアには、初期値として選択されているリストの施設名称が表示されています。

文字編集を行い、好きな名称に変更することができます。（⇒P.11）

3 登録確認画面の【はい】をタッチし、【OK】をタッチする。

確認画面の【OK】をタッチすると、登録元のリスト画面に戻ります。

※ 一定時間が経過すると、自動的に【OK】をタッチしたものとして扱われます。

登録地点を編集する

登録した地点の削除、名称の変更を行うことができます。

例:登録地点の名称を編集する

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【登録地点】をタッチする

登録地点一覧が表示されます。

3 変更を行いたい登録地点をタッチし、【編集】をタッチする

【削除】をタッチすると、選択した登録地点を削除することができます。

※ 登録地点は【登録順】に表示されます。

メモ

・【並べ替え】をタッチすると、登録地点の表示順を【登録順】【近い順】から選択することができます。
・【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図・リスト】から選択することができます。(⇒P.25)

アイコン	内容
	自宅
	登録地点

他の選択肢

削除	選択した登録地点を削除します。
地図表示	選択した登録地点を地図表示します。
経由地に設定	選択した登録地点を経由地に設定します。(⇒P.50) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	選択した登録地点を目的地に設定します。

4 登録する名称を編集し、【決定】をタッチする

文字入力エリアには、現在登録されている名称が表示されています。

文字編集を行い、好きな名称に変更することができます。(⇒P.11)

5 【OK】をタッチする

確認画面の【OK】をタッチすると、登録地点一覧画面に戻ります。

※ 一定時間が経過すると、自動的に「OK」ボタンをタッチしたものとして扱われます。

登録地点を目的地に設定する

地点登録した施設を目的地に設定することができます。
※ 地点登録については「地点の登録」(⇒P.49)を参照してください。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【登録地点･履歴】をタッチし、【登録地点】をタッチする

登録地点一覧が表示されます。

3 目的の登録地点をタッチし、【目的地に設定】をタッチする

選択した登録地点を目的地として、現在地からのルートを探索します。

※ 登録地点は【登録順】に表示されます。
※ 条件によって探索に時間がかかる場合があります。

メモ

- 【並べ替え】をタッチすると、登録地点の表示順を【登録順】【近い順】から選択することができます。
- 【表示切替】をタッチすると、表示形式を【リスト】【地図･リスト】から選択することができます。(⇒P.25)

アイコンの種別

アイコン	内容
(自宅アイコン)	自宅
(登録地点アイコン)	登録地点

他の選択肢

削除	選択した登録地点を削除します。
編集	選択した登録地点の名称を編集します。(⇒P.51)
地図表示	選択した登録地点を地図表示します。
経由地に設定	選択した登録地点を経由地に設定します。(⇒P.54) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。

4 【案内開始】をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

メモ

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

ルートの編集

目的地を設定した後、経由地の追加、順番の変更など、ルートの編集を行うことができます。
※経由地は最大5ヶ所まで追加できます。

地図から経由地を追加する

地図画面に表示している地点を、経由地として追加することができます。

1 目的地を設定し、案内を開始する

目的地の設定は、各メニューの設定のしかたを参照してください。

2 地図をスクロール操作し、登録したい地点を中心に表示する

表示している縮尺により位置情報の精度が変わります。より正確な位置を利用するために、拡大した縮尺でカーソルを合わせてください。

3 【MENU】をタッチし、【経由地に設定】をタッチする

経由地は最大5ヶ所まで設定することができます。

メモ

・【目的地に設定】をタッチすると、現在設定されている「目的地」が変更され、経由地の追加はされません。

4 【この条件でルート探索】をタッチする

※ リストのアイコンについては「案内ポイントアイコン」(⇒P.79)を参照してください。

メモ

・リスト左端の、ルート条件が記載された吹き出しボタンをタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
・経由地、又は目的地をタッチすると、ルートを編集することができます。(⇒P.55)

5 【案内開始】をタッチする

【案内開始】をタッチすると、経由地の追加が確定します。

経由地を通る目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。
※【案内開始】をタッチせず、他の画面を表示した場合には、経由地の追加はキャンセルされます。

メモ

・【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
・【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

⚠ 注意

・検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
・ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

検索リストから経由地を追加する

検索結果候補リストや、履歴リスト等から経由地を追加することができます。

1 目的地を設定し、案内を開始する

目的地の設定は、各メニューの設定のしかたを参照してください。

2 経由地を検索する

経由地として設定したい施設を検索します。

3 目的の施設をタッチし、【経由地に設定】をタッチする

経由地は最大5ヶ所まで設定することができます。

- 【目的地に設定】をタッチすると、現在設定されている「目的地」が変更され、経由地の追加はされません。

4 【この条件でルート探索】をタッチする

※ リストのアイコンについては「案内ポイントアイコン」(⇒P.79)を参照してください。

メモ

- リスト左端の、ルート条件が記載された吹き出しボタンをタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 経由地、又は目的地をタッチすると、ルートを編集することができます。(⇒P.55)

5 【案内開始】をタッチする

【案内開始】をタッチすると、経由地の追加が確定します。

経由地を通る目的地までのルート案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【推奨ルート】条件で探索したルートを表示します。

※【案内開始】をタッチせず、他の画面を表示した場合には、経由地の追加はキャンセルされます。

- 【ルート条件変更】をタッチして、ルート探索条件を選ぶことができます。(⇒P.55)
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり、市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は、「この地点の位置情報は低精度です。」というメッセージが表示されます。このような場合は、【地図表示】から地図を表示させ、あらかじめ周辺の道路状況などを確認して、目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は、「ルート上に時間帯による通行規制があります。実際の通行規制に従って走行してください。」というメッセージが表示されます。

目的地・経由地を編集する

目的地や経由地となっている施設のルート順を変更、削除することができます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【ルート】をタッチし、【ルート編集】をタッチする

メモ

- 【ルート消去】をタッチして、設定しているルートを消去することができます。
- 【ルートデモ】をタッチして、選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます。(⇒P.56)

3 変更したい施設をタッチし、【↑】【↓】または【削除】をタッチする

【↑】【↓】をタッチした場合は、経由地の順番が入れ替わります。
【削除】をタッチした場合は、リストから施設が削除されます。

※ リスト左端に表示される【推奨ルート】は、その間のルート探索条件を示しています。
※ この段階では、経由地の変更、削除は確定されません。
※ 現在地は変更できません。

4 ルート探索条件を変更する場合は、リスト左端のルート条件が記載されたボタンをタッチし、目的の探索条件をタッチする

表示されるポップアップメニューから、それぞれのルートの探索条件を選択することができます。

※ リストのアイコンについては「案内ポイントアイコン」(⇒P.79)を参照してください。

ルート探索条件

推奨ルート	なるべく曲がらずに目的地へ到着するルートを探索します。
高速道優先ルート	高速道をなるべく利用して目的地へ到着するルートを探索します。
一般道優先ルート	有料道をなるべく利用しないで目的地へ到着するルートを探索します。

5 【この条件でルート探索】をタッチする

6 【案内開始】をタッチする

【案内開始】をタッチすると、経由地の変更、削除が確定します。

確定したルートの案内画面が表示され、「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」と音声が流れます。

※【案内開始】をタッチせず､他の画面を表示したときは､目的地･経由地の編集･削除した内容がキャンセルされます。

メモ

- ここで【ルート条件変更】をタッチしてルート編集の画面に戻ることもできます。
- 【ルートデモ】をタッチして､選択した探索条件での目的地までのルートを確認することができます｡(⇒P.56)

注意

- 検索された地点が施設の実際地点と離れていたり､市区町村役場などの地域代表地点となっている場合は､｢この地点の位置情報は低精度です｡｣というメッセージが表示されます｡このような場合は､【地図表示】から地図を表示させ､あらかじめ周辺の道路状況などを確認して､目的地点を変更してください。
- ルート上に季節/時間による規制が存在する場合は､｢ルート上に時間帯による通行規制があります｡実際の通行規制に従って走行してください｡｣というメッセージが表示されます。

ルートのデモ

探索したルートのデモンストレーション走行を表示し、運転前にどのような道を通り、案内が行われるのかを確認することができます。また、現在地以外を出発点としてルートを設定し、デモ走行を確認することもできます。

ルートデモ(デモ走行)を確認する

現在地から目的地まで探索したルートが、どのような道のりになっているかをデモ走行により確認することができます。

1 目的地を設定し､ルート探索結果の画面を表示する

目的地の設定は、各メニューの設定の仕方を参照してください。

2 【ルートデモ】をタッチする

「デモ走行の終了のさせ方」についてのメッセージが表示されます。【はい】をタッチすると音声案内とともにルートデモが開始されます。

- 【メインメニュー】の【ルートメニュー】から【ルートデモ】をタッチして､デモ走行を確認することもできます｡(⇒P.14)

3 【SPEED】をタッチし、再生速度を選択する

ルートデモ中はGPS受信状況に“DEMO”と表示され、画面左下に【SPEED】が表示されます。

【SPEED】をタッチするとポップアップメニューが表示され、再生速度を選択することができます。

※ 地図を拡大すると基本速度がゆっくりになり、地図を縮小すると基本速度が速くなります。
※ 20km以上の広域縮尺ではスピード調節はできません。
※ デモ走行中でも、【GPS・方位】と【表示縮尺】は操作することができます。

再生速度

ボタン	再生速度
▶	縮尺毎の基本速度で再生します
▶▶	基本速度の約2倍速で再生します
▶▶▶	基本速度の約4倍速で再生します

4 地図画面をタッチし、デモ走行を終了する

地図画面をタッチすると、デモ走行終了のメッセージが表示されます。

【はい】をタッチするとデモ走行が終了します。

【いいえ】をタッチするとデモ走行を続行します。

現在地以外の出発点からルートを確認する

現在地以外を出発点としてルートを設定し、デモ走行を確認することができます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

2 【GPS受信停止】をタッチし、【OK】をタッチする

※ 受信状態が停止になると、メニュー内の【GPS受信停止】は、【GPS受信開始】に切り替わります。

3 出発点にしたい場所を地図に表示する

地図スクロールやメインメニューの検索から出発点にしたい場所を地図に表示します。

検索リストから出発点を設定する場合は、目的の施設をタッチした後、ポップアップメニューから【地図表示】をタッチして地図を表示します。

4 【MENU】をタッチし、【ここを現在地にする】をタッチする

自車位置マークが設定した場所に表示されます。

他の選択肢

メインメニュー	メインメニュー画面を表示します。(⇒P.12)
今いる観光エリア	カーソルの位置がある観光エリアから、MAPPLEおすすめの観光スポットを探すことができます。(⇒P.46)
周辺施設	カーソルの位置を中心として周辺施設を検索します。(⇒P.35)
地点登録	カーソルの位置を登録地点にします。(⇒P.49)
経由地に設定	カーソルの位置を経由地に設定します。(⇒P.53) ※ 目的地が設定されていない場合、表示されません。
目的地に設定	カーソルの位置を目的地に設定します。(⇒P.20)

5 目的地を設定し、ルート探索結果の画面を表示する

目的地の設定は、各メニューの設定の仕方を参照してください。

6 【ルートデモ】をタッチする

「デモ走行の終了のさせ方」についてのメッセージが表示されます。【はい】をタッチすると音声案内とともにルートデモが開始されます。

メモ

・【メインメニュー】の【ルートメニュー】から【ルートデモ】をタッチして、デモ走行を確認することもできます。(⇒P.14)

7 【SPEED】をタッチし、再生速度を選択する

ルートデモ中はGPS受信状況に“DEMO”と表示され、画面左下に【SPEED】が表示されます。

【SPEED】をタッチするとポップアップメニューが表示され、再生速度を選択することができます。

※ 地図を拡大すると基本速度がゆっくりになり、地図を縮小すると基本速度が速くなります。
※ 20km以上の広域縮尺ではスピード調節はできません。
※ デモ走行中でも、【GPS・方位】と【表示縮尺】は操作することができます。

再生速度

ボタン	再生速度
▶	縮尺毎の基本速度で再生します
▶▶	基本速度の約2倍速で再生します
▶▶▶	基本速度の約4倍速で再生します

8 地図画面をタッチしてデモ走行を終了する

地図画面をタッチすると、デモ走行終了のメッセージが表示されます。

【はい】をタッチするとデモ走行が終了します。

【いいえ】をタッチするとデモ走行を続行します。

お知らせ表示

さまざまな情報画面や音声によって、現在地や目的地の状況を確認することができます。

観光地エリア進入メッセージについて

走行中に観光地エリアが変わった場合に、エリア進入メッセージをお知らせします。

効果音を再生し、エリア進入を示すメッセージが表示されます

【MENU】をタッチして、【今いる観光エリア】をタッチすると、現在の観光エリアの観光情報を見ることができます。
観光情報については「観光地メニュー」(⇒P.41)を参照してください。

※ 一定時間が経過すると、メッセージは自動で消えます。

【案内設定】からこの機能を表示する、しないの設定ができます。(⇒P.73)

お土産レコメンドについて

観光地から自宅に帰る際、今いる観光エリアのお土産情報を自動表示します。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチする(⇒P.22)

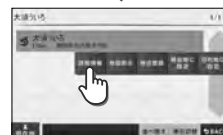
2 【自宅】をタッチし、【案内開始】をタッチする

お土産レコメンド画面が表示されます。

※ 自宅が登録されていない場合には、【自宅】はタッチできません。

3 表示画像からお好みの情報を選択して、詳細情報を確認する

【画面切替】をタッチすると、お土産レコメンド画面を非表示にします。

※ お土産情報については「お土産の情報を探す」(⇒P.44)を参照してください。

メモ

- 【案内設定】からお土産レコメンドを表示する、しないの設定ができます。(⇒P.72)
- 現在のエリアにお土産情報が無い場合には、お土産レコメンドは表示されません。
- 自宅までの距離が近い場合と、一定以上のスピードで走行している場合、お土産レコメンドは自動表示されません。
- 地図画面にて【画面切替】をタッチすると、自車位置が存在する地域のお土産レコメンドを確認できます。

エリアおすすめスライドショーについて

観光地エリアで自車位置が停車している場合や、低速での走行が一定時間続いた場合に、そのエリアのおすすめ施設写真をスライドショーとして自動表示します。表示中の画像をタッチすると、その施設の詳細情報を確認することができます。

1 観光エリア内で低速での走行が一定時間続くとスライドショーが表示されます

2 表示画像をタッチし、施設の詳細情報を確認する

【画面切替】をタッチすると、スライドショーで画面を非表示にします。

※ 詳細情報については「施設詳細画面の見かた」(⇒P.26)を参照してください。

メモ

・【一覧を表示】をタッチすると、スライドショーで紹介している写真一覧を確認できます。

メモ

・今いるエリアに写真あり施設が無い場合には、エリアおすすめスライドショーは表示されません。
・一定以上のスピードで走行している場合、エリアおすすめスライドショーは自動表示されません。
・地図画面にて【画面切替】をタッチすると、自車位置が存在する地域のエリアおすすめスライドショーを確認することができます。

盗難多発地点警告について

全国32府県警より提供されたデータをもとに、車上狙い等の回避を目的とした警告情報を自動表示します。

目的地や現在駐停車している付近に、盗難多発地点が存在すると、効果音と共に、警告メッセージが表示されます

※ 一定時間が経過すると、メッセージは自動で消えます。

メモ

・「案内設定」から、盗難多発地点の警告を行うかどうか、選択することができます。(⇒P.71)

警戒区域警告について

ルート案内開始時に、現在地・経由地・目的地のいずれかが、警戒区域内に含まれている場合に、通行禁止の可能性をお知らせします。

【案内開始】をタッチした際に、効果音と共に、警戒区域であるメッセージが表示されます

※ 一定時間が経過すると、メッセージは自動で消えます。

・「案内設定」から、警戒区域の警告を行うかどうか、選択することができます。(⇒P.71)

地図設定

地図の色、方向、文字サイズ、地図上に表示するアイコンなど、地図についての設定ができます。

地図カラーを設定する

昼と夜に表示する地図色をそれぞれ設定することができます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチして、メインメニューの【設定】をタッチし、設定メニューの【地図設定】をタッチする

地図設定の項目が表示されます。

2 リストから地図カラー(昼間時)の【設定値】をタッチする

地図カラー(夜間時)を設定する場合は、地図カラー(夜間時)の【設定値】をタッチしてください。

※ 昼間、夜間は、日の出・日の入りで自動的に切り替わります。

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 地図カラー(昼間時)の初期設定は【ノーマル(昼)】、地図カラー(夜間時)の初期設定は【ノーマル(夜)】です。

地図カラーの設定値

昼	昼間の車内での使用を想定した配色にします。
夜	夜間の車内での使用を想定した配色にします。

地図文字サイズを設定する

地図に表示される文字の大きさを設定できます。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.62)

2 リストから地図文字サイズの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【普通】です。

地図文字サイズの設定値

普通	通常の利用を想定したサイズにします。
でっか字	「普通」より大きめのサイズにします。
もっとでっか字	「でっか字」より大きめのサイズにします。

地図方向を設定する

表示する地図の方向を設定できます。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.62)

2 リストから地図方向の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【ヘディングアップ】です。

地図方向の設定値

ヘディングアップ	進行方向が常に上にくるように地図を回転して表示します。
ノースアップ	北の方角が常に上にくるように自車位置を回転して表示します。

ロゴマーク表示を設定する

コンビニエンスストアやガソリンスタンドなど、地図上に表示されるロゴマークの表示を設定できます。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.62)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからロゴマークの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【表示】です。

ロゴマークの設定値

表示	地図上に「ロゴマーク」を表示します。
非表示	地図上に「ロゴマーク」を表示しません。

3Dランドマーク表示を設定する

東京タワーなど、地図に表示される立体的な3Dランドマークの表示を設定できます。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.62)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから3Dランドマークの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【表示】です。

3Dランドマークの設定値

表示	地図上に「3Dランドマーク」を表示します。
非表示	地図上に「3Dランドマーク」を表示しません。

ぬけみちの表示を設定する

地図上にぬけみちを表示する設定ができます。
※ ぬけみちとは、近隣の主要道路が渋滞している場合でも、比較的スムーズに流れる道路を示す情報です。
※ 設定に関わらず、10m・25mスケールでは表示されません。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.62)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからぬけみちの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【表示】です。

ぬけみちの設定値

表示	地図上に「ぬけみち」を表示します。
非表示	地図上に「ぬけみち」を表示しません。

走行軌跡の表示を設定する

地図上に「●」で表示される走行軌跡の表示を設定できます。
※ 走行軌跡は、一定時間を過ぎると古い点から削除されます。
※ 突然電源が落ちてしまった場合など、ナビゲーションの終了が正しく行えず、走行軌跡の情報が正しく保存されていないことがあります。
※ 走行軌跡の削除については「各種設定を初期化する」(⇒P.74)を参照してください。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.62)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから走行軌跡の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【表示】です。

走行軌跡の設定値

表示	地図上に「走行軌跡」を表示します。
非表示	地図上に「走行軌跡」を表示しません。

トンネルモードを設定する

トンネルモードについての設定ができます。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.62)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからトンネルモードの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【しない】です。

トンネルモードの設定値

する	トンネルモードを適用します。
しない	トンネルモードを適用しません。

自車位置スムージングを設定する

自車位置スムージングについての設定ができます。

※ 自車位置スムージングとは、GPS情報をもとに自車の位置更新をよりなめらかに表示を行う機能です。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.62)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから自車位置スムージングの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【する】です。

自車位置スムージングの設定値

する	自車位置スムージングを行います。
しない	自車位置スムージングを行いません。

⚠ 注意

・高速走行中など、場合によって自車位置が遅れて表示されることがあります。

案内設定

交差点拡大図の表示、都市高速入口やJCTのイラスト表示など、ルート案内についての設定ができます。

交差点拡大図の表示を設定する

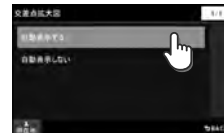
ルート案内時に表示する、交差点の拡大図についての設定ができます。
※ 拡大図については「走行中画面の見かた　交差点拡大図」(⇒P.19)を参照してください。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチして、メインメニューの【設定】をタッチし、設定メニューの【案内設定】をタッチする

案内設定の項目が表示されます。

2 リストから交差点拡大図の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【自動表示する】です。

交差点拡大図の設定値

自動表示する	「交差点拡大図」を自動表示します。
自動表示しない	「交差点拡大図」を自動表示しません。

複数施設案内の表示を設定する

ルート案内中に表示する、一般道の交差点施設名、高速道のハイウェイ施設情報、ジャンクションなどの分岐情報についての設定ができます。
※ 交差点施設名、ハイウェイ施設情報については「走行中画面の見かた　複数施設案内」(⇒P.18)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 リストから複数施設案内の【設定値】をタッチする

設定

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【自動表示する】です。

複数施設案内の設定値

自動表示する	交差点施設名、高速道施設情報ともに自動表示します。
高速道のみ表示	高速道施設情報だけを表示します。
自動表示しない	交差点施設名、高速道施設情報ともに自動表示しません。

都市高速入口イラストの表示を設定する

ルート案内時に表示する、都市高速入口イラストについての設定ができます。
※ 都市高速入口イラストについては「イラスト表示について」(⇒P.19)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 リストから都市高速入口イラストの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【自動表示する】です。

都市高速入口イラストの設定値

自動表示する	「都市高速入口イラスト」を自動表示します。
自動表示しない	「都市高速入口イラスト」を自動表示しません。

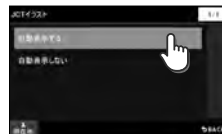
JCTイラストの表示を設定する

ルート案内時に表示する、高速道路上の分岐点イラストについての設定ができます。
※ JCTイラストについては「イラスト表示について」(⇒P.19)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 リストからJCTイラストの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【表示】です。

JCTイラストの設定値

表示	「JCTイラスト」を自動表示します。
非表示	「JCTイラスト」を自動表示しません。

SA/PAイラストの表示を設定する

ルート案内時に表示する、SA/PAイラストについての設定ができます。
※ SA/PAイラストについては「イラスト表示について」(⇒P.19)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからSA/PAイラストの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【自動表示する】です。

SA/PAイラストの設定値

自動表示する	「SA/PAイラスト」を自動表示します。
自動表示しない	「SA/PAイラスト」を自動表示しません。

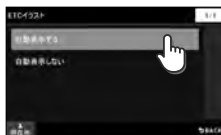
ETCイラストの表示を設定する

ルート案内時に表示する、料金所のETCレーンイラストについての設定ができます。
※ ETCイラストについては「イラスト表示について」(⇒P.19)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからETCイラストの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【自動表示する】です。

ETCイラストの設定値

自動表示する	「ETCイラスト」を自動表示します。
自動表示しない	「ETCイラスト」を自動表示しません。

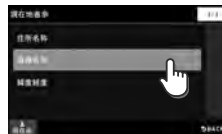
現在地表示を設定する

現在地画面のステータスバーに表示する情報についての設定ができます。
※ 現在地画面については「現在地画面の見かた」(⇒P.8)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから現在地表示の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【道路名称】です。

現在地表示の設定値

住所名称	ステータスバーに「住所名称」を表示します。「住所名称」がないときは「経度緯度」を表示します。
道路名称	ステータスバーに「道路名称」を表示します。「道路名称」がないときは「住所名称」を表示します。
経度緯度	ステータスバーに「経度緯度」を表示します。

ぬけみち考慮探索を設定する

ぬけみち情報を利用したルート探索についての設定ができます。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからぬけみち考慮探索の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【する】です。

ぬけみち考慮探索の設定値

する	ぬけみち情報を利用したルートを探索します。
しない	ぬけみち情報をルート探索に利用しません。

ぬけみちアシストを設定する

一般道を案内中に付近にぬけみちルートが存在する場合、優先的にぬけみちを利用する【ぬけみちアシスト】のボタン表示を設定できます。

1 設定メニューの【地図設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからぬけみちアシストの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定値は【する】です。

ぬけみちアシストの設定値

する	一般道を案内中に【ぬけみちアシスト】を表示します。
しない	一般道を案内中に【ぬけみちアシスト】を表示しません。

ETC機器を設定する

ルート探索時に、ETC専用出入口やETCレーンを考慮するかを設定できます。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからETC機器の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【なし】です。

ETC機器の設定値

あり	ETC専用出入口を考慮したルート探索、ETCレーンの表示を行います。
なし	ルート探索の際にETC専用出入口を利用しません。

踏切注意案内を設定する

踏切手前で音声による「注意案内」を行うかを設定できます。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから踏切注意案内の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【する】です。

踏切注意案内の設定値

する	踏切手前での音声による注意案内をします。
しない	踏切手前での音声による注意案内をしません。

合流注意案内を設定する

有料道、高速道の合流手前で音声による「注意案内」を行うかを設定できます。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから合流注意案内の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【する】です。

合流注意案内の設定値

する	合流手前での音声による注意案内をします。
しない	合流手前での音声による注意案内をしません。

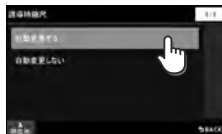
誘導時縮尺を設定する

一般道から高速道へ、高速道から一般道へ入った際に、自動で縮尺を変更するかを設定できます。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから誘導時縮尺の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【自動変更する】です。

誘導時縮尺の設定値

自動変更する	一般道から高速道に入ると縮尺を「200m」に、高速道から一般道に入ると縮尺を「50m」に自動で変更します。
自動変更しない	縮尺を自動で変更しません。

盗難多発地点警告を設定する

駐停車位置または目的地付近に盗難多発地点が存在する場合に表示される警告メッセージの設定ができます。地図上の盗難多発地点警告アイコンの表示/非表示についても設定されます。
※ 盗難多発地点警告については「盗難多発地点警告について」(⇒P.60)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから盗難多発地点警告の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【する】です。

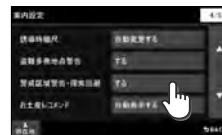
盗難多発地点の設定値

する	駐停車位置付近、または目的地付近に盗難多発地点が存在する場合に、効果音と共に警告メッセージを表示します。地図上に警告アイコンを表示します。
しない	警告メッセージを表示しません。地図上の警告アイコンも非表示となります。

警戒区域警告・探索回避を設定する

ルート探索時に警戒区域を回避した探索を行うかを設定できます。探索時に警告を行うかについても設定されます。
※ 警戒区域警告については「警戒区域警告について」(⇒P.60)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから警戒区域警告・探索回避の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【する】です。

警戒区域警告・探索回避の設定値

する	ルート探索時に警戒区域を回避して探索を行います。または、案内開始時に通行禁止の可能性があることを効果音とメッセージでお知らせします。
しない	警戒区域を無視してルート探索します。警告メッセージも表示されません。

お土産レコメンドを設定する

観光地から自宅に帰る際に表示する、お土産レコメンド情報についての設定ができます。
※ お土産レコメンドについては「お土産レコメンドについて」(⇒P.59)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからお土産レコメンドの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【自動表示する】です。

お土産レコメンドの設定値

自動表示する	観光地から自宅に帰る際、観光地エリアのお土産情報を自動表示します。
自動表示しない	観光地エリアのお土産情報を自動表示しません。

エリアおすすめスライドショーを設定する

観光地エリアで停車している場合や低速での走行が一定時間続いた場合に表示する、エリアおすすめスライドショーについての設定ができます。
※ エリアおすすめスライドショーについては「エリアおすすめスライドショーについて」(⇒P.60)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストからエリアおすすめスライドショーの【設定値】をタッチする

3 リストから表示サイズの【設定値】をタッチする

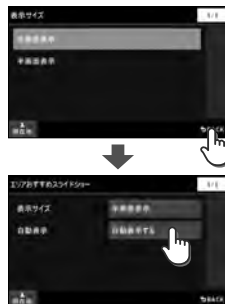
エリアおすすめスライドショーは、表示サイズと、自動表示の設定、2つの設定項目を行うことができます。

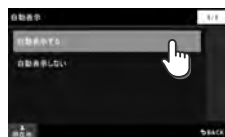
4 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【全画面表示】です。

エリアおすすめスライドショー　表示サイズの設定値

全画面表示	エリアおすすめスライドショーを全画面に表示します。
半画面表示	地図表示を画面左半分に、エリアおすすめスライドショーを右半分に表示します。

5 【BACK】をタッチし、リストから自動表示の【設定値】をタッチする

6 リストから【設定値】を選んでタッチする

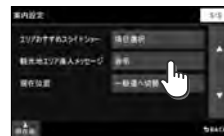
※ 初期設定は【自動表示する】です。

エリアおすすめスライドショー　自動表示の設定値

自動表示する	観光地エリアで信号待ちなどにより停車した際、「エリアおすすめスライドショー」を自動表示します。
自動表示しない	「エリアおすすめスライドショー」を自動表示しません。

観光地エリア進入メッセージを設定する

走行中に観光地エリアが変わった際に表示する、観光地エリア進入メッセージについての設定ができます。
※ 観光地エリア進入メッセージについては「観光地エリア進入メッセージについて」(⇒P.59)を参照してください。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから観光地エリア進入メッセージの【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【表示】です。

観光地エリア進入メッセージの設定値

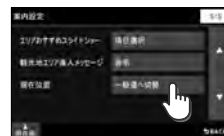
表示	観光地エリアが変わった時に、効果音と共に観光地エリア進入メッセージを表示します。
非表示	観光地エリア進入メッセージを表示しません。

現在位置を設定する

一般道と高速道が付近に存在しており現在走行中の道路が異なっている場合は、一般道または高速道を切り替えることができます。

1 設定メニューの【案内設定】をタッチする(⇒P.66)

2 スクロールボタンをタッチし、リストから現在位置の【設定値】をタッチする

※ 付近に切り替え可能な道路がない場合は、「選択できません」と表示され、タッチできません。

現在位置の設定値

高速道へ切替	現在位置を「高速道」に切り替えます。
一般道へ切り替え	現在位置を「一般道」に切り替えます。

環境設定

ナビゲーションの音量、画面輝度、設定の初期化など、ナビゲーションシステムについての設定を行います。

音量を設定する

音声案内などの音量は、本体の音量ボタンを操作して設定します。

※ 音量は、音声案内中および環境設定画面のトップページで音量ボタンを操作すると変更できます。または、環境設定画面の【操作音】で変更できます。(⇒P.74)を参照してください。

※ 音声案内については「音声案内について」(⇒P.23)を参照してください。

操作音を設定する

画面操作時のタッチ音のON/OFFを設定できます。

1 地図画面左下の【MENU】をタッチし、【メインメニュー】をタッチして、メインメニューの【設定】をタッチし、設定メニューの【環境設定】をタッチする

環境設定の項目が表示されます。

2 リストから操作音の【設定値】をタッチする

3 リストから【設定値】を選んでタッチする

※ 初期設定は【ON】です。

操作音の設定値

ON	画面操作時のタッチ音を「ON」にします。
OFF	画面操作時のタッチ音を「OFF」にします。

システム情報を表示する

ナビゲーションシステムや地図データーのバージョンを表示できます。

1 設定メニューの【環境設定】をタッチする(⇒P.74)

2 リストからシステム情報表示の【表示】をタッチする

確認画面にシステム情報が表示されます。【OK】をタッチすると環境設定の画面に戻ります。

各種設定を初期化する

地図設定、登録地点、履歴などのナビゲーションに関する設定を初期化できます。

1 設定メニューの【環境設定】をタッチする(⇒P.74)

2 リストから設定初期化の【項目選択】をタッチする

3 スクロールボタンをタッチし、リストから初期化したい項目の【初期化】をタッチする

設定初期化の項目

地図設定	「設定」メニューの「地図設定」において変更した内容を初期化します。
案内設定	「設定」メニューの「案内設定」において変更した内容を初期化します。
登録地点	全ての「登録地点」を削除します。
履歴	全ての「履歴」を削除します。
走行軌跡	「走行軌跡」を削除します。
工場出荷状態に戻す	全ての設定情報を初期化します。

4 【はい】をタッチし、選択した項目の設定を初期化する

※ 設定を初期化すると元には戻せませんのでご注意ください。
※【はい】をタッチした次の画面は、一定時間が経過すると自動的に【OK】をタッチしたものとして扱われます。

要素一覧

GPS表示

種類	表示	内容
レベル３（強い）		衛星受信数が多く、衛星からの信号信頼度が高い状態。
レベル2		衛星受信数は多いが、衛星からの信号信頼度が低い状態。
レベル1（弱い）		衛星受信数が少なく、衛星からの信号信頼度が低い状態。
圏外（受信不可）		衛星からの信号が受信できない状態。
GPS受信OFF		GPS測位機能を停止(=OFF)にしている状態。
DEMO		ルートデモ中の状態。
トンネルモード		トンネルモード中の状態。

方位表示

種類	表示	内容
ヘディングアップ		進行方向が常に上にくるように地図を回転して表示します。
ノースアップ		北の方角が常に上にくるように自車位置を回転して表示します。

ステータスバー/位置アイコン

種類	表示	内容
道路名称		自車位置の道路名称を表示する際のアイコンです。
住所		自車位置の住所表示を表示する際のアイコンです。
緯度経度		自車位置の緯度経度を表示する際のアイコンです。

道路、鉄道の表示

※ ぬけみちは点滅表示します。

種類	表示
高速道路、有料道	青色
国道	赤色
一般道	薄灰色
一般道(街路)	灰色
ぬけみち道路	水色

種類	表示
主要地方道	緑色
都道府県道	黄色
JR線	
私鉄線	

その他

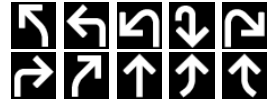
地図アイコン一覧

※ ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどには、系列(チェーン)がわかる企業ロゴアイコンが表示されます。
※ 地図上のランドマークとなる大規模施設は3Dアイコンで表示される場合があります。
※ 記号は縮尺や周囲の記号との重なりで表示されないことがあります。

種類	表示
高速IC	IC
高速JCT	JC
高速SA	SA
高速PA	PA
料金所	¥
信号機	
都市高速番号	1 緑色
国道番号	1 青色
県道番号	1 青色
一方通行	
都市高速入口	水色
都市高速出口	ピンク色
都道府県庁	
市区役所	

種類	表示
町村役場	
一般施設	灰色
観光施設	赤色
駅	
空港	
踏切	
踏切（歩行者専用）	
一般道休憩施設	P 青色
道の駅	
駐車場	P 緑色
トイレ	
デパート	D
スーパーマーケット	S
警察署	

種類	表示
交番・駐在所	
消防署	
消防分署	
普通郵便局	
特定郵便局	
学校	文
幼稚園	幼
保育園	保
病院・医療	
ホテル・旅館	H
マンション	
工場	
発電所/変電所	
NTT	
山	
滝	

種類	表示
オートキャンプ場	
海水浴場	
ゴルフ場	
スキー場	
名水	水
温泉	
日帰り湯	ゆ
神社（観光）	
寺院（観光）	卍
神社	
寺院	卍
キリスト教会	
墓地	

ルート案内時アイコン

種類	表示	内容
出発地点	水色	ルート案内の出発点を表します。
案内終了地点	赤色	探索を行った、目的地付近の道路を表します。
目的地		探索を行った、目的地を表します。
経由地	1 2 3 4 5	数字は経由地の順番を表します。 (最大5つまで)
案内ポイント		案内が行われる施設(交差点/ICなど)の位置を表示します。

案内矢印種別

種類	表示
斜め左方向	
左方向	
左斜め後ろ方向	
Uターン	
右斜め後ろ方向	

種類	表示
右方向	
斜め右方向	
直進	
右側直進	
左側直進	

案内ポイントアイコン

種類	表示
料金所	¥
SA	SA
PA	PA
IC	IC
IC·SA併設施設	SA IC
IC·PA併設施設	PA IC

種類	表示
出発地	青色
経由地	1 2 3 4 5
目的地	赤色
通過アイコン	
案内矢印(10方向)	

SAPA施設アイコン

種類	表示
スマートインターチェンジ	ETC IC
ガソリンスタンド	
レストラン	

種類	表示
ファストフード·カフェ	
ショッピング·コンビニ	
インフォメーション	

料金所ゲートアイコン

種類	表示
ETC専用	ETC カラー

種類	表示
ETC専用(非推奨案内時)	ETC 灰色

その他

種類	表示
一般	カラー
ETC/一般共通	カラー

種類	表示
一般（非推奨案内時）	灰色
ETC/一般共通（非推奨案内時）	灰色

種類	表示	内容
MAPPLE ガイド		MAPPLEのガイドスポット(写真あり)
		MAPPLEのガイドスポット(写真なし)

検索における施設アイコン一覧

種類	表示	内容
MAPPLE おすすめ		MAPPLEがおすすめするスポット。(写真あり)
		MAPPLEがおすすめするスポット。(写真なし)
MAPPLE ガイド		MAPPLEのガイドスポット。(写真あり)
		MAPPLEのガイドスポット。(写真なし)
一般施設		一般的なスポット

MAPPLEメニュー検索における施設アイコン一覧

種類	表示	内容
MAPPLE イチオシ	星:黄色	MAPPLEがイチオシするスポット。(写真あり)
	星:黄色	MAPPLEがイチオシするスポット。(写真なし)
MAPPLE おすすめ	星:灰色	MAPPLEがおすすめするスポット。(写真あり)
	星:灰色	MAPPLEがおすすめするスポット。(写真なし)

施設詳細アイコン

種類	表示
電話番号	
営業期間・時間	
休業日	休
料金	¥
所在地	所

種類	表示
交通アクセス	
駐車場	P
まっぷるコード	
おすすめ季節	季
雨天可否	

登録地点アイコン

種類	表示
自宅	
登録地点	

履歴アイコン

種類	表示	内容
出発地点		施設、周辺、フリーワード、電話などの検索結果(リスト、詳細情報)から「地図表示」を選択したときに履歴登録されたものです。
案内終了地点		地図または、施設、周辺、フリーワード、電話などの検索結果(リスト、詳細情報)から、「目的地に設定」→「案内開始」を選択した時に履歴登録されたものです。

盗難多発地点警告アイコン

種類	表示	内容
危険度3	赤色	危険性大の地点を示します。
危険度2	黄色	危険性中の地点を示します。
危険度1	水色	危険性小の地点を示します。

音声案内　ガイド文言タイプ

操作音声	ルート案内開始やリルート時に利用する音声です。
	音声案内例: ・ルート案内を始めます。実際の交通規制に従って運転してください。 ・目的地に近づきました。ルート案内を終わります。
距離音声	2km先、1km先、道なりに進みます、などといった案内ポイントに対して距離を示す音声です。
	音声案内例: ・700m先、右方向です。 ・しばらく道なりに進みます。
方角音声	右方向や左方向、直進といった案内ポイントに対して案内方向を示す音声です。
	音声案内例: ・まもなく右方向です。 ・まもなく右方向です。その次はななめ左方向です。
施設音声	料金所やインターチェンジの入口、出口など、案内ポイントとなる施設の音声です。
	音声案内例: ・300m先、左方向です。その次は料金所です。 ・1km先、出口です。
注意喚起音声	踏切や合流など、注意を促す音声です。
	音声案内例: ・踏切があります。ご注意ください。 ・左からの合流があります。ご注意ください。

地図データ利用にあたって

ナビゲーションの地図データ(以下本地図データ)を作成するにあたり、常時官公庁や事業主体への取材活動や実走実踏調査を通して、現在の状況を可能な限り再現する事はもちろん、将来の状況も含めて最新の地図情報をお客様にお届けするように努めております。しかしながら、取材時期、収集時期により新しい情報が収録できていない場合がございます事をご了承ください。

■承認について

・ この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図　2万5千分の1地形図　5万分の1地形図　20万分の1地勢図　100万分の1日本、50万分の1地方図　数値地図500万(総合)を使用した。(承認番号　平23情使、第16-M055800号　平23情使、第15-M055800号　平23情使、第14-M055800号　平23情使、第13-M055800号　平23情使、第12-M055800号　平22業使、第572-M055800号)
・ この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認　11-023P)

■データについて

本地図データ構築に当たって使用した情報は、下記の時期に収集・調査したものに基づいています。

●通常地図
・ 通常地図は2011年10月末までに判明した2012年4月1日時点の重要情報まで対応します。
(新東名高速道路を含む一部、2012年4月1日以降の重要要素も反映)
但し、その他の情報は調査時点で取得できた情報までとします。

●市街図
・ 都市地図は2011年10月末までに判明した2012年4月1日時点の重要情報まで対応します。
(新東名高速道路を含む一部、2012年4月1日以降の重要要素も反映)
但し、その他の情報は調査時点で取得できた情報までとします。
・ 市街図収録都市:　1415市区町村(中心部収録は1173市区町村)

●道路
・ 新規開通高速道路は2011年10月末までに判明した2012年4月1日までに実施の経年情報と新東名高速道路および同時開通のアクセス道路の情報を収録対象とします。(但し、一部道路形状と基本的属性のみとなります)
判明日時点で路線名称未定の路線については、仮名称対応している場合があります。
・ 高速施設は2011年10月末までに判明した2012年4月1日まで実施の経年情報と新東名高速道路および同時開通のアクセス道路の情報を反映します。
判明日時点で名称未定の施設については、仮名称対応している場合があります。
・ 高速道路のレーン情報は2011年10月末までに取得した情報と新東名高速道路および同時開通のアクセス道路の情報を反映します。
・ 信号機データの取得は、基本奥付と同様となります。
・ 一般道路交差点のレーン情報は2011年10月末までに判明した2012年4月1日まで実施の経年情報を反映します。
データ整備は、全国の片側2車線以上の国道・主要地方道・一般県道と、国道・主要地方道・一般県道の交差点を対象としています。

●フェリー航路
・ 2011年10月31日までに判明した2012年4月1日までの経年情報を反映しています。

●住所データ
・ 住所データについては2011年5月10日までに判明した2011年9月30日時点の情報まで対応します。
・ 市区町村合併/政令市移行については、2012年4月1日施行分まで対応しています。
・ 本データ整備には、一部データに日本加除出版株式会社の『行政区画便覧ファイル』2011年6月版を使用しています。

●検索データ
・ 2011年11月時点までに判明した2012年4月1日時点の情報に対応しています。
・ チェーン店舗情報は2011年8月時点の情報に対応します。
・ 駐車場情報は(株)IMJモバイル提供の全国駐車場情報Ver110831を使用しています。
但し、市区町村合併/政令市移行については2012年4月1日時点に対応しております。

●電話帳データ
・ 電話番号データは日本ソフト販売株式会社の「Bellemax®(NSS業種付き電話帳データ)2011年8月版」のデータに基づき作成しています。

●ぬけみち
・ ぬけみち情報は、2011年9月12日まで実施の経年情報を反映しています。

●ガイドデータ
・ ガイドデータについては2011年9月版データ(2010年5月から2011年8月までの最終取材日時点での情報)を使用しています。
但し、市区町村合併/政令市移行については2012年4月1日施行分までの対応とします。

●警戒区域の情報
・ 2011年9月29日までに取得した情報を反映しております。

■おことわり
・ データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
・ 内容には万全を期しておりますが、道路標識などの交通規制情報も予告なく変更される事がありますので、すべて現地の通行規制や標識に従って運転願います。
・ 情報掲載内容については、(株)昭文社独自の取捨選択を行っております。
・ 細心の注意を払い地図編集を行っておりますが全国の地図情報は膨大でかつ変化が激しいものですので、現地の状況との相違については、何卒ご了承頂きますようよろしくお願い申し上げます。
・ 高速道路、有料道路の料金につきましては、実際にかかる費用と異なる場合がございます事をあらかじめご了承ください。
・ この地図に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変する事はできません。
・ いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用する事を固く禁じます。
・ 改良のため、予告なく編集方針(レイアウト、情報内容、地図仕様等)を変更する事があります。
・ 本地図データ利用により事故、損害、トラブル等が生じても、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

・ MAPPLE、マップル、まっぷる、まっぷるコード、MGコード、マップルナビは、株式会社昭文社の登録商標または商標です。
・「Bellemax」は、日本ソフト販売株式会社の登録商標です。

市街地収録エリア一覧

※本機では、東名阪地区の市街図を収録しています。
※一部でも収録されている市区町村名を列挙しています。
※市区町村役場など中心地が収録されてない箇所があります。

都道府県	収録都市
茨城県	古河市、常総市、取手市、守谷市、坂東市、つくばみらい市、猿島郡五霞町、猿島郡境町
埼玉県	さいたま市西区、さいたま市北区、さいたま市大宮区、さいたま市見沼区、さいたま市中央区、さいたま市桜区、さいたま市浦和区、さいたま市南区、さいたま市緑区、さいたま市岩槻区、川越市、川口市、所沢市、飯能市、春日部市、狭山市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、北足立郡伊奈町、入間郡三芳町、比企郡川島町、南埼玉郡宮代町、南埼玉郡白岡町、北葛飾郡杉戸町、北葛飾郡松伏町
千葉県	千葉市中央区、千葉市花見川区、千葉市稲毛区、千葉市若葉区、千葉市緑区、千葉市美浜区、市川市、船橋市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、八街市、印西市、白井市、山武郡大網白里町、長生郡長柄町
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、西多摩郡瑞穂町、西多摩郡日の出町
神奈川県	横浜市鶴見区、横浜市神奈川区、横浜市西区、横浜市中区、横浜市南区、横浜市保土ケ谷区、横浜市磯子区、横浜市金沢区、横浜市港北区、横浜市戸塚区、横浜市港南区、横浜市旭区、横浜市緑区、横浜市瀬谷区、横浜市栄区、横浜市泉区、横浜市青葉区、横浜市都筑区、川崎市川崎区、川崎市幸区、川崎市中原区、川崎市高津区、川崎市多摩区、川崎市宮前区、川崎市麻生区、相模原市緑区、相模原市中央区、相模原市南区、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、三浦郡葉山町、高座郡寒川町、愛甲郡愛川町、愛甲郡清川村
愛知県	名古屋市千種区、名古屋市東区、名古屋市北区、名古屋市西区、名古屋市中村区、名古屋市中区、名古屋市昭和区、名古屋市瑞穂区、名古屋市熱田区、名古屋市中川区、名古屋市港区、名古屋市南区、名古屋市守山区、名古屋市緑区、名古屋市名東区、名古屋市天白区、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、刈谷市、豊田市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、愛知郡東郷町、西春日井郡豊山町、海部郡大治町、海部郡蟹江町、海部郡飛島村、知多郡東浦町
滋賀県	大津市
京都府	京都市北区、京都市上京区、京都市左京区、京都市中京区、京都市東山区、京都市下京区、京都市南区、京都市右京区、京都市伏見区、京都市山科区、京都市西京区、宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、乙訓郡大山崎町、久世郡久御山町、綴喜郡宇治田原町、相楽郡精華町
大阪府	大阪市都島区、大阪市福島区、大阪市此花区、大阪市西区、大阪市港区、大阪市大正区、大阪市天王寺区、大阪市浪速区、大阪市西淀川区、大阪市東淀川区、大阪市東成区、大阪市生野区、大阪市旭区、大阪市城東区、大阪市阿倍野区、大阪市住吉区、大阪市東住吉区、大阪市西成区、大阪市淀川区、大阪市鶴見区、大阪市住之江区、大阪市平野区、大阪市北区、大阪市中央区、堺市堺区、堺市中区、堺市東区、堺市西区、堺市南区、堺市北区、堺市美原区、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、三島郡島本町、豊能郡豊能町、豊能郡能勢町、泉北郡忠岡町、南河内郡太子町、南河内郡河南町
兵庫県	神戸市東灘区、神戸市灘区、神戸市兵庫区、神戸市長田区、神戸市須磨区、神戸市垂水区、神戸市北区、神戸市中央区、神戸市西区、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、川西市、三田市、淡路市、川辺郡猪名川町、加古郡稲美町、加古郡播磨町
奈良県	奈良市、生駒市、生駒郡平群町、生駒郡三郷町

クラリオン株式会社
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心７番地２
Clarion ホームページ　**http://www.clarion.com**

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル　**0120-112-140**
（土・日・祝・祭日を除く　9:30〜12:00、13:00〜17:00）

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	 TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

TX-1138A
Printed in China　2012/10